

大磯小学校特別教室等空調設備整備工事



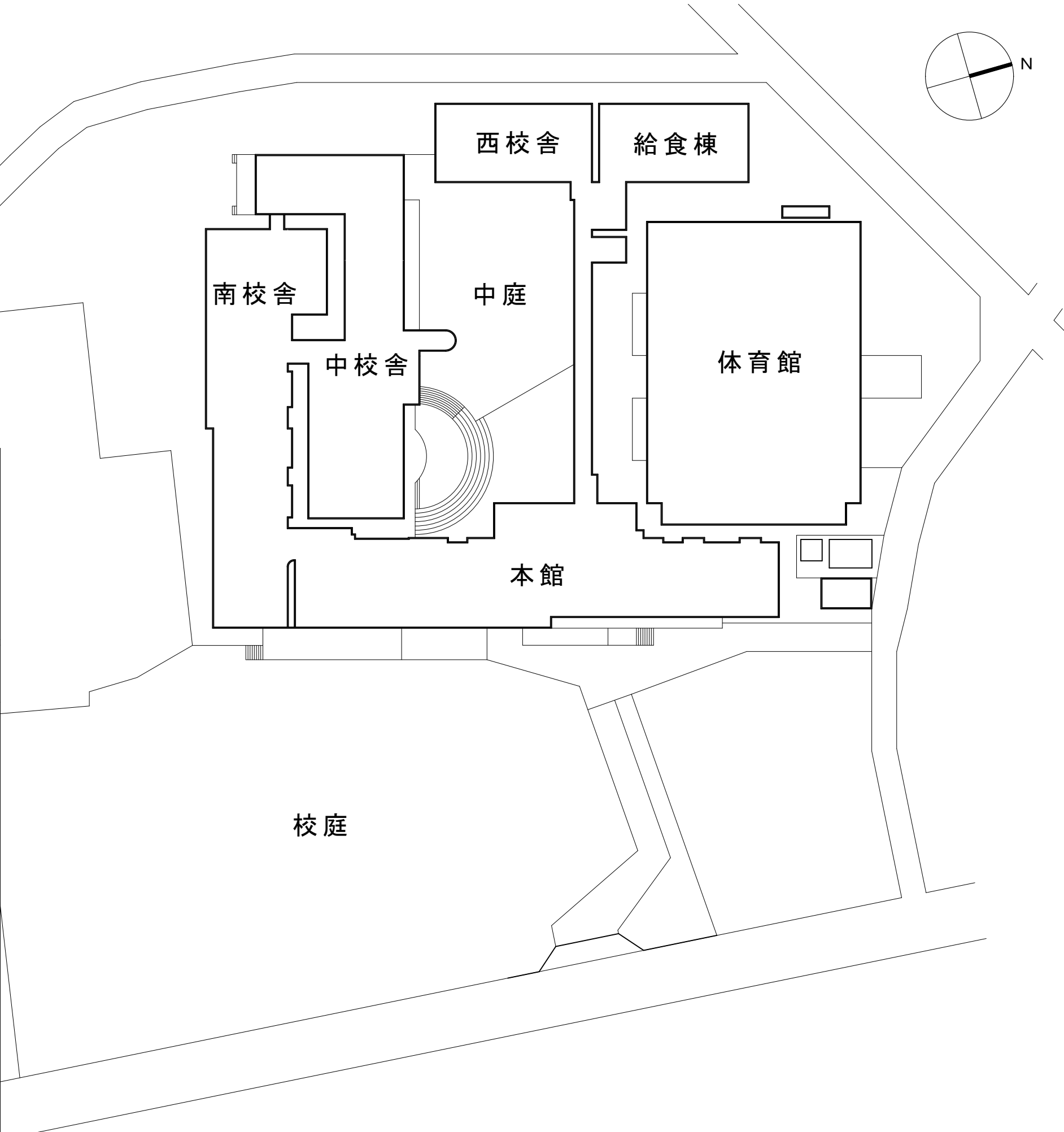
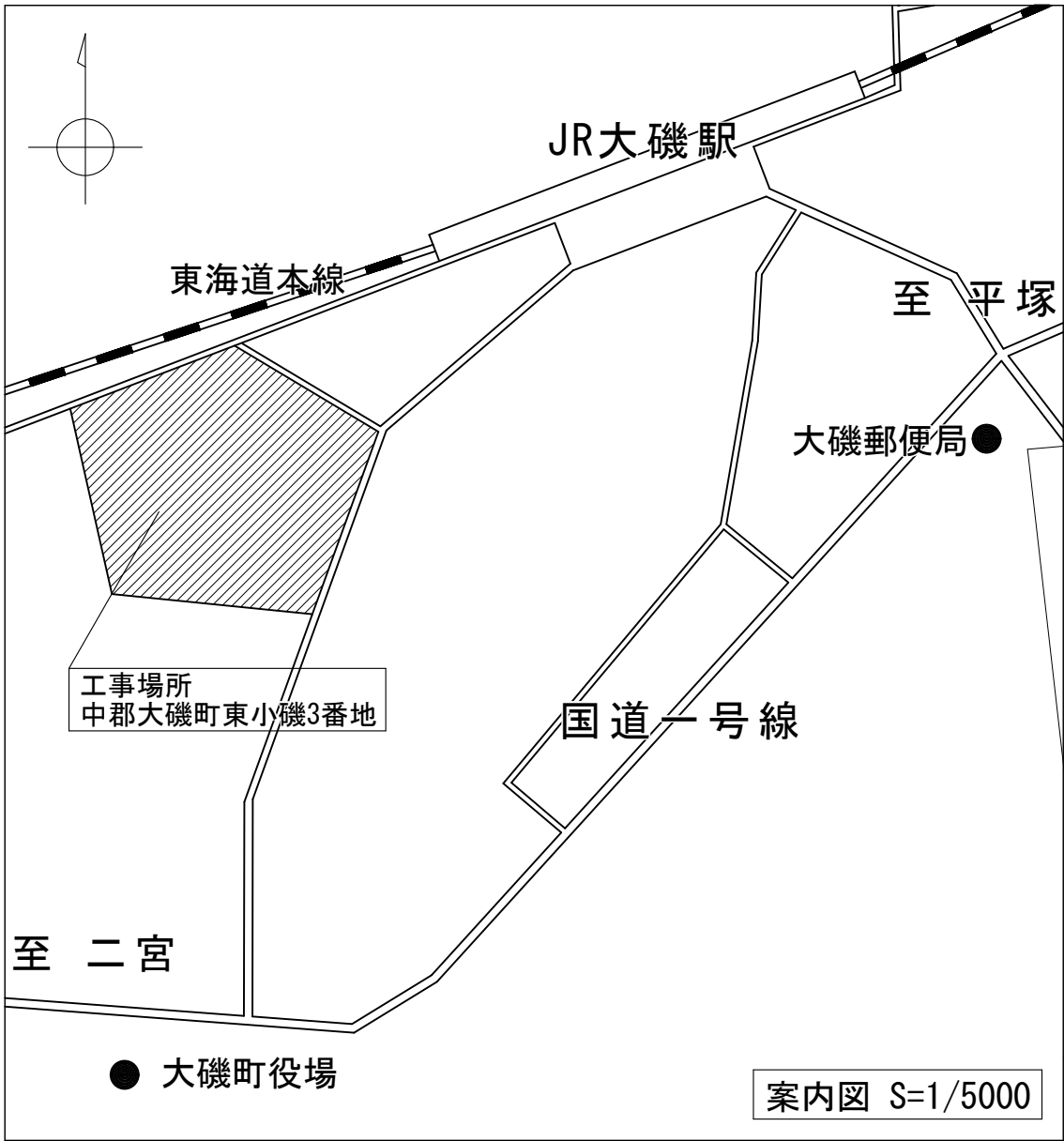
I 建築改修工事仕様			章	項 目	特 記 事 項																																																
1 質問回答書、現場説明書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（最新版）」（以下「改標仕」という。）、「公共建築工事標準仕様書（最新版）」（以下「標仕」という。）及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書（最新版）」（以下「解体共仕」という。）による。				9 化学物質の濃度測定	工事完成前に、ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の室内濃度の測定を行い、測定結果報告書を監督員に提出すること。（1.5.9） また、測定の結果が、厚生労働省が設定した化学物質の室内濃度の指針値を超えた場合は、監督員と協議すること。 1. 測定対象化学物質 2. 測定対象室・測定箇所数 3箇所 ※ 図示 3. 測定方法 1) 空気の採取 ※ 拡散方式（※ 測定パッチ ○ パッシブサンプラー ・ パッシブガステューブ） ・ 吸引方式 2) 測定・分析は、厚生労働省が室内空気中化学物質の濃度を測定するための標準的方法として示した以下の方法によって行う。または、以下と相関の高い方法によって行うこともできる。 ホルムアルデヒド 高速液体クロマトグラフ法 揮発性有機化合物 ガスクロマトグラフィー質量分析法 工事施工途中における技術検査（「中間検査」）は下表を原則とし、監督職員と協議すること。（1.6.2） 工事写真等を電子データにより検査する際に必要となる機器の準備及び操作は受注者が行う。																																																
2 特 記 事 項 1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印が付いている場合は、共に適用する。 3) 特記事項欄の行末に記載の（ ）内表示番号は、本標仕の該当事項又は該当表を示す。				10 技術検査	1)新営工事 <table><tr><td>構 造</td><td>検 査 工 程</td></tr><tr><td>※延べ面積が5 0 0 m<sup>2</sup>を超えるもの</td><td>1.軸組完了時</td></tr></table> 2)改修工事 ・ 躯体の改修及び補修が工事に含まれ、仕上げ工事により品質の確認が困難と予想される場合は、改修・補修工法の施工完了時に行う。 ・ 屋根等の主要な工事部分について、工事施工中の仮設足場がなければ確認困難と予想される場合は、仮設足場撤去前に新営工事に準じて行う。 ・ 発注者が必要と認めた工程（別途指示による） 3. 受注者は、下請負に付する場合には、次の各号に掲げる要件をすべて満たさなければならない。 1) 受注者が、工事の施工につき総合的に企画、指導及び調整するものであること。 2) 下請負者が大磯町の工事指名競争参加資格者である場合には、指名停止期間中でないこと。 3) 下請負者は、当該下請負工事の施工能力を有すること。 2. 受注者は、工事を下請負に付する場合には、可能な限り地元建設業者を使用することとする。 1. 施工体制台帳及び施工体系図 本工事を施工するために下請負契約を締結したものは、下請負業者と契約締結後全ての下請契約を2週間以内に監督員に一部を提出する。また、施工体台帳及び施工体系図は工事現場に備えるものとし、現場表示も併せて行うものとする。 2. 主要機器資材メーカー報告書 本工事において使用する主要機器資材メーカー報告書 1 通を監督員に提出し、通知する。 3. 技能士報告書 本特記仕様書第1章第6項で技能士が適用された場合は、報告書 1 通を監督員に提出し通知する。 4. 再生資源利用計画書(実施書)、再生資源利用促進計画書(実施書) 工事完了後「建設副産物情報交換システム」(COBRIS入力システム)により、入力したデータを提出する。 なお、データの提出が困難な場合は、監督職員の承諾を得た上で、紙による提出とする。 5. 施工計画書(監督職員の承諾を受けたもの) 工事期間中に提出した施工計画書をとりまとめ、完成時に成果品の一部として監督職員へ提出する。提出方法については監督職員の指示による。 1) 工事の一時中止に係る計画の作成 契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画「基本計画書」を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。 なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労働者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に關すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に關すること及び工事現場の維持・管理に關する基本的事項を明らかにする。 2) 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。	構 造	検 査 工 程	※延べ面積が5 0 0 m <sup>2</sup> を超えるもの	1.軸組完了時																																												
構 造	検 査 工 程																																																				
※延べ面積が5 0 0 m <sup>2</sup> を超えるもの	1.軸組完了時																																																				
章	項 目	特 記 事 項		⑪ 工事の下請負																																																	
1 一 般 共 通 事 項	① 適用基準等	○ 建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（最新版） ※ 工事写真の撮り方 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（最新版） ○ 公共建築工事標準仕様書 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（最新版） ○ 公共建築改修工事標準仕様書 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（最新版） 工事期限より_____日前 (1.1.2) (1.2.1) ・ 電気主任技術者 ※ 監督職員の承諾を受けた者 (1.3.3)		⑫ 報告書																																																	
	2 概成工期			⑬ 工事の一時中止																																																	
	3 電気保安技術者			⑭ 完成時の提出図書等	<table><tr><td colspan="2">提出図書等</td><td>部数</td><td>備 考</td></tr><tr><td colspan="2">完成写真(改修工事の場合は着工前を左、完成写真を右に入れたもの)</td><td>※2部</td><td></td></tr><tr><td rowspan="5">工事写真</td><td></td><td>※1部</td><td></td></tr><tr><td>※ 二つ折り製本</td><td>※2部</td><td></td></tr><tr><td>※ A 4 判二つ折り製本</td><td>※1部</td><td></td></tr><tr><td>・ 縦表紙製本(折りたたみーA4)</td><td>※1部</td><td></td></tr><tr><td>※ JWCAD形式、及びPDF形式</td><td>※1部</td><td>CD-Rにて提出</td></tr><tr><td></td><td>※ 原図</td><td>※1部</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">施工計画書(工事期間中に監督職員の承諾を受けたものをとりまとめたもの)</td><td>※1部</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">承認図</td><td>※1部</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">保全に関する資料(標仕(1.7.3)(a)に示す内容)</td><td>※1部</td><td>関係部署に1部</td></tr><tr><td colspan="2">工事関係資料</td><td>※1部</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">その他監督職員が指示する書類</td><td colspan="2">監督職員の指示による</td></tr></table>	提出図書等		部数	備 考	完成写真(改修工事の場合は着工前を左、完成写真を右に入れたもの)		※2部		工事写真		※1部		※ 二つ折り製本	※2部		※ A 4 判二つ折り製本	※1部		・ 縦表紙製本(折りたたみーA4)	※1部		※ JWCAD形式、及びPDF形式	※1部	CD-Rにて提出		※ 原図	※1部		施工計画書(工事期間中に監督職員の承諾を受けたものをとりまとめたもの)		※1部		承認図		※1部		保全に関する資料(標仕(1.7.3)(a)に示す内容)		※1部	関係部署に1部	工事関係資料		※1部		その他監督職員が指示する書類		監督職員の指示による	
	提出図書等		部数	備 考																																																	
完成写真(改修工事の場合は着工前を左、完成写真を右に入れたもの)		※2部																																																			
工事写真		※1部																																																			
	※ 二つ折り製本	※2部																																																			
	※ A 4 判二つ折り製本	※1部																																																			
	・ 縦表紙製本(折りたたみーA4)	※1部																																																			
	※ JWCAD形式、及びPDF形式	※1部	CD-Rにて提出																																																		
	※ 原図	※1部																																																			
施工計画書(工事期間中に監督職員の承諾を受けたものをとりまとめたもの)		※1部																																																			
承認図		※1部																																																			
保全に関する資料(標仕(1.7.3)(a)に示す内容)		※1部	関係部署に1部																																																		
工事関係資料		※1部																																																			
その他監督職員が指示する書類		監督職員の指示による																																																			
④ 発生材の処理等	<table><tr><th>種 別</th><th>対 象 品 目</th></tr><tr><td>○ 発注者へ引渡しを要するもの</td><td>※ PCB含有機器類 ※ PCB含有「シ」リ「ン」グ材 ※ 微量PCB ・ 協議が必要な場合</td></tr><tr><td>○ 再利用を図るもの</td><td>※ コンクリート塊 ※ 建設混合廃棄物 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管・継手</td></tr><tr><td>・ 再資源化を図るもの(注1)</td><td>※ 757mm・コンクリート塊 ※ 金属類 ・ ガラス ※ 建設発生木材 ※ 小形二次電池 ※ 建設汚泥 ・ 蛍光ランプ・HIDランプ</td></tr><tr><td>・ 処理に注意を要するもの</td><td>・ ひ素・カドミウム含有せっこうボード ・ せっこうボード ・ 0.1%を超えて石綿を含有するもの ・ CCA処理木材</td></tr><tr><td>・ 特別管理産業廃棄物</td><td>・ 廃石棉(除去作業に使用した保護具及び養生材を含む) ・ 廃酸、廃アルカリ ・ ダイオキシン含有廃棄物 ・ 廃油</td></tr><tr><td>・ 特殊な建設副産物</td><td>・ フロン ・ ハロン ・ 特定化学物質（ ） ・ 煙感知器(イオン化式) ・ 六フ化硫黄(SF6)ガス ・ PFOS</td></tr></table> (注1) 上記以外の廃棄物についても、可能な限り再資源化に努めること。	種 別	対 象 品 目	○ 発注者へ引渡しを要するもの	※ PCB含有機器類 ※ PCB含有「シ」リ「ン」グ材 ※ 微量PCB ・ 協議が必要な場合	○ 再利用を図るもの	※ コンクリート塊 ※ 建設混合廃棄物 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管・継手	・ 再資源化を図るもの(注1)	※ 757mm・コンクリート塊 ※ 金属類 ・ ガラス ※ 建設発生木材 ※ 小形二次電池 ※ 建設汚泥 ・ 蛍光ランプ・HIDランプ	・ 処理に注意を要するもの	・ ひ素・カドミウム含有せっこうボード ・ せっこうボード ・ 0.1%を超えて石綿を含有するもの ・ CCA処理木材	・ 特別管理産業廃棄物	・ 廃石棉(除去作業に使用した保護具及び養生材を含む) ・ 廃酸、廃アルカリ ・ ダイオキシン含有廃棄物 ・ 廃油	・ 特殊な建設副産物	・ フロン ・ ハロン ・ 特定化学物質（ ） ・ 煙感知器(イオン化式) ・ 六フ化硫黄(SF6)ガス ・ PFOS		⑮ 設備工事との取合い	<table><tr><td>施工範囲</td><td></td></tr><tr><td>・ 図示された貫通孔・開口部の型枠及び補強筋</td><td></td></tr><tr><td>・ 図示された壁・天井の仕上材及び下地材の切込み並びに下地材の補強</td><td></td></tr><tr><td>・ 駆動装置が電動による建具の2次配線及び操作スイッチ</td><td></td></tr><tr><td>・ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強</td><td></td></tr><tr><td>施工図</td><td></td></tr><tr><td>※ 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。</td><td></td></tr></table>	施工範囲		・ 図示された貫通孔・開口部の型枠及び補強筋		・ 図示された壁・天井の仕上材及び下地材の切込み並びに下地材の補強		・ 駆動装置が電動による建具の2次配線及び操作スイッチ		・ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強		施工図		※ 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。																						
種 別	対 象 品 目																																																				
○ 発注者へ引渡しを要するもの	※ PCB含有機器類 ※ PCB含有「シ」リ「ン」グ材 ※ 微量PCB ・ 協議が必要な場合																																																				
○ 再利用を図るもの	※ コンクリート塊 ※ 建設混合廃棄物 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管・継手																																																				
・ 再資源化を図るもの(注1)	※ 757mm・コンクリート塊 ※ 金属類 ・ ガラス ※ 建設発生木材 ※ 小形二次電池 ※ 建設汚泥 ・ 蛍光ランプ・HIDランプ																																																				
・ 処理に注意を要するもの	・ ひ素・カドミウム含有せっこうボード ・ せっこうボード ・ 0.1%を超えて石綿を含有するもの ・ CCA処理木材																																																				
・ 特別管理産業廃棄物	・ 廃石棉(除去作業に使用した保護具及び養生材を含む) ・ 廃酸、廃アルカリ ・ ダイオキシン含有廃棄物 ・ 廃油																																																				
・ 特殊な建設副産物	・ フロン ・ ハロン ・ 特定化学物質（ ） ・ 煙感知器(イオン化式) ・ 六フ化硫黄(SF6)ガス ・ PFOS																																																				
施工範囲																																																					
・ 図示された貫通孔・開口部の型枠及び補強筋																																																					
・ 図示された壁・天井の仕上材及び下地材の切込み並びに下地材の補強																																																					
・ 駆動装置が電動による建具の2次配線及び操作スイッチ																																																					
・ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強																																																					
施工図																																																					
※ 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。																																																					
⑤ 材料の品質等	1. 本工事に使用する材料・機材等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の（1.4.2）ものとする。ただし、同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける。 2. 「評価名簿による」と特記されたものについては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(最新版)」による。 3. 本県に本社、支店、営業所を有するメーカー製品を使用すること。 4. 化学物質を放散する建築材料等 1) 建材・施工材の使用材料の選定においては、ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物を放散しないか、放散が十分少ないものをJISまたはJAS等を参考に適切に選択すること。ホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆を原則とし、該当する材料等がない場合は、施工面積に十分注意した上でF☆☆☆を使用する。 2) 接着剤はホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物を放散しないか、発散が極めて少ないもの、または含有量が少なく難揮発性の可塑剤を使用しているものとし、ホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆を原則とする。 3) 仕上塗材、塗料、シーリング材、接着剤その他の化学製品の選択及び取扱いに当たっては、当該製品の製造所が作成した化学物質等安全データシートの内容を把握するとともに、現場に常備し、記載内容の周知徹底を図ること。 4) 施工中、接着剤・塗料等の塗布に当たっては、使用方法や塗布量を十分に管理し、適切な乾燥時間をとること。また、施工時、施工後の通風、換気を十分に行い、室内に放散した溶剤成分等の希釈を図ること。 5. 本工事に使用する材料については、JIS Z 7253（GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS））による安全データシート（SDS）等により確認を行い、アスベスト含有建材を使用しない。		⑯ 設計GL	※ 図示 ・ 現状平均地盤高 ・ 監督員の指示による																																																	
6 技能士	<table><tr><th>工 事 種 別</th><th>技能検定職種</th><th>技能検定作業</th></tr><tr><td>・ 仮設工事</td><td>とび</td><td>とび作業</td></tr><tr><td>・ 防水改修工事</td><td>防水施工</td><td>アスファルト防水工事作業 ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 アクリルゴム系塗膜防水工事作業 合成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニル系シート防水工事作業 セメント系防水工事作業 シーリング防水工事作業 改質アスファルトシートーエ工法防水工事作業 FRP防水工事作業</td></tr><tr><td>・ 外壁改修工事</td><td></td><td>左官(左官作業) ・ タイル張り(タイル張り作業) 樹脂接着剤注入施工(樹脂接着剤注入工事作業) 塗装(建築塗装作業)</td></tr><tr><td>・ 建具改修工事</td><td></td><td>サッシ施工(ビル用サッシ施工作業) ガラス施工(ガラス工事作業) 自動ドア施工(自動ドア施工作業)</td></tr><tr><td>・ 内装改修工事</td><td></td><td>内装仕上施工( ・ プラスチック系床仕上工事作業 カーペット系床仕上作業 ・ ボード仕上工事作業 鋼製下地工事作業) 表装(壁装作業)</td></tr><tr><td>・ 塗装改修工事</td><td></td><td>塗装(建築塗装作業)</td></tr><tr><td>・ 排水工事</td><td>配管</td><td>建築配管作業</td></tr><tr><td>・ 舗装工事</td><td>路面表示施工</td><td>溶融ペイントハンドマーカー工事作業 加熱ペイントマシンマーカー作業</td></tr><tr><td>・ 植栽工事</td><td>造園</td><td>造園工事作業</td></tr></table>	工 事 種 別	技能検定職種	技能検定作業	・ 仮設工事	とび	とび作業	・ 防水改修工事	防水施工	アスファルト防水工事作業 ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 アクリルゴム系塗膜防水工事作業 合成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニル系シート防水工事作業 セメント系防水工事作業 シーリング防水工事作業 改質アスファルトシートーエ工法防水工事作業 FRP防水工事作業	・ 外壁改修工事		左官(左官作業) ・ タイル張り(タイル張り作業) 樹脂接着剤注入施工(樹脂接着剤注入工事作業) 塗装(建築塗装作業)	・ 建具改修工事		サッシ施工(ビル用サッシ施工作業) ガラス施工(ガラス工事作業) 自動ドア施工(自動ドア施工作業)	・ 内装改修工事		内装仕上施工( ・ プラスチック系床仕上工事作業 カーペット系床仕上作業 ・ ボード仕上工事作業 鋼製下地工事作業) 表装(壁装作業)	・ 塗装改修工事		塗装(建築塗装作業)	・ 排水工事	配管	建築配管作業	・ 舗装工事	路面表示施工	溶融ペイントハンドマーカー工事作業 加熱ペイントマシンマーカー作業	・ 植栽工事	造園	造園工事作業	(1.5.2)																					
工 事 種 別	技能検定職種	技能検定作業																																																			
・ 仮設工事	とび	とび作業																																																			
・ 防水改修工事	防水施工	アスファルト防水工事作業 ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 アクリルゴム系塗膜防水工事作業 合成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニル系シート防水工事作業 セメント系防水工事作業 シーリング防水工事作業 改質アスファルトシートーエ工法防水工事作業 FRP防水工事作業																																																			
・ 外壁改修工事		左官(左官作業) ・ タイル張り(タイル張り作業) 樹脂接着剤注入施工(樹脂接着剤注入工事作業) 塗装(建築塗装作業)																																																			
・ 建具改修工事		サッシ施工(ビル用サッシ施工作業) ガラス施工(ガラス工事作業) 自動ドア施工(自動ドア施工作業)																																																			
・ 内装改修工事		内装仕上施工( ・ プラスチック系床仕上工事作業 カーペット系床仕上作業 ・ ボード仕上工事作業 鋼製下地工事作業) 表装(壁装作業)																																																			
・ 塗装改修工事		塗装(建築塗装作業)																																																			
・ 排水工事	配管	建築配管作業																																																			
・ 舗装工事	路面表示施工	溶融ペイントハンドマーカー工事作業 加熱ペイントマシンマーカー作業																																																			
・ 植栽工事	造園	造園工事作業																																																			
⑦ 特別な材料の工法	本標仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。																																																				
⑧ 施工中の環境保全等	施工に使用する建設機械は、低騒音型・低振動型及び排ガス対策型建設機械とすること。																																																				

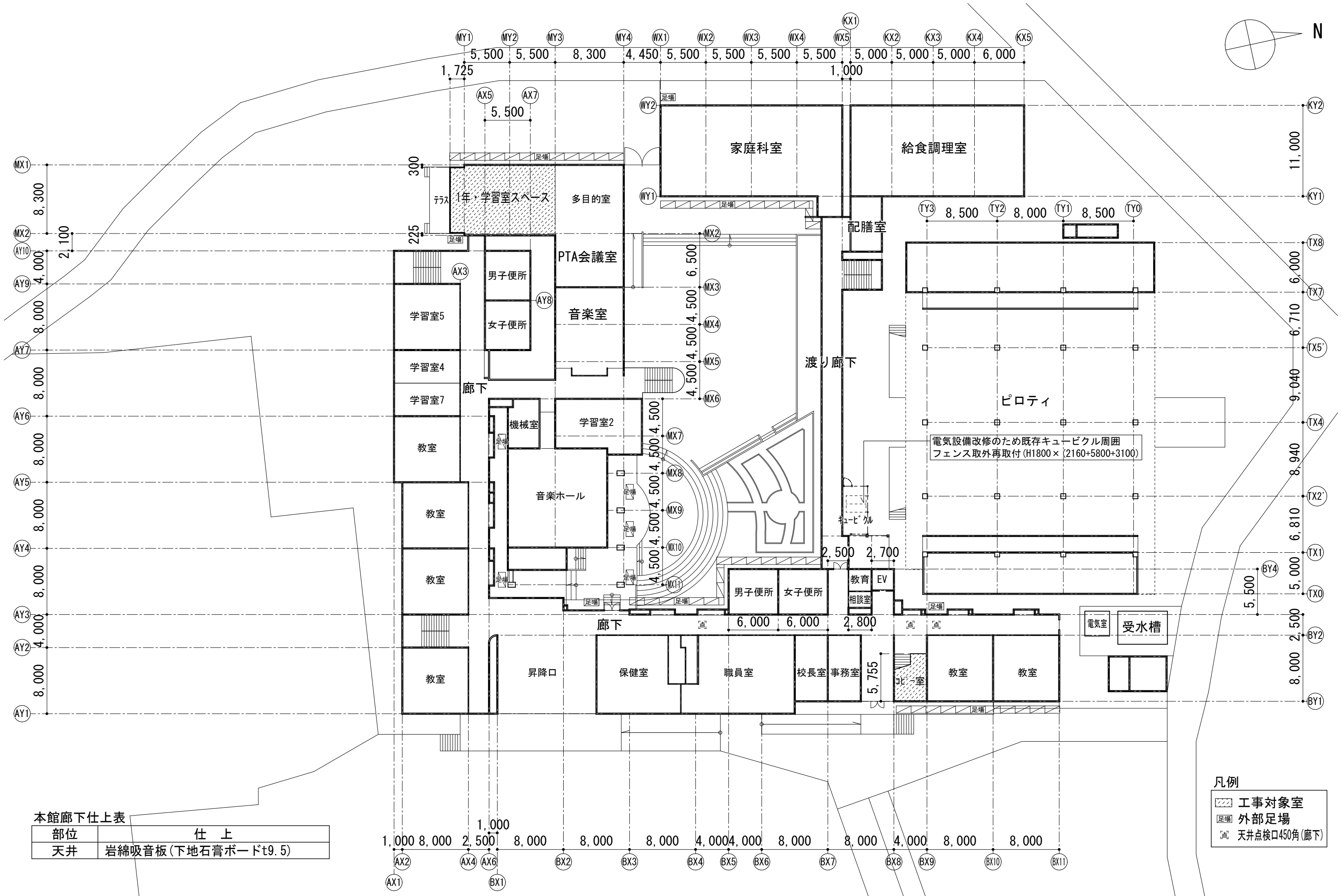
章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項				
2	仮設	①	仮囲い	仮囲いの位置及び延長は図示による。 ・ガードフェンス (H=1800) ・波形鉄板 (H= ) ・単管シート (H= ) ・キタダゲート (H= , W= ) × 箇所 ※ 配置する ・ 配置しない ※ 設置する				4	環境配慮改修工事	①	一般事項			石綿等の取扱については、石綿障害予防規則 (平成17年2月24日厚生労働省令第21号) (以下、「石綿則」という。) を遵守すること。 <9.1.1> 施工調査 ・ 行わない。 ※ 行う (調査結果は図面等に記録し、監督職員に提出すること。調査の結果、設計図書と異なる場合は監督職員と協議する。) 調査箇所 ※ 図示 ・ ( ) 調査事項 ※ 石綿含有建材等の使用部位 ※ 石綿含有建材等の種類、厚さ ※ 施工範囲と工事範囲区分 ※ 廃棄物などの搬出方法 ・ ・			
		②	交通誘導員														
		③	工事表示板														
		④	足場その他	内部足場 ※ 脚立、足場板等 <2.2.1> 防護シート○ 設ける ・ 設けない 材料の運搬 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 <表2.2.2>													
	工事			足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン (厚生労働省)」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。													
		⑤	養生	家具の移動 ・ 行う (図示) ○ 行わない <2.3.1> 既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管 ・ 行う ・ 行わない 養生の方法 保管場所										石綿含有分析 <9.1.1> ○ 行わない ・ 行う (分析結果は監督職員に提出する。) 分析方法 ※ JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有測定法」による。			
		6	仮設間仕切り	・ 設ける (図示) ・ A種 ・ B種 ※ C種 <2.3.2><表2.3.1>										石綿粉じん濃度測定 <9.1.1> ・ 行わない。			
		7	監督職員事務所	※ 設けない (請負者事務所と打合せ会議室を確保する) ・ 設ける (規模 m程度 請負者事務所と同様 ・ 可 ・ 否) <2.4.1>						②	除去工事共通事項			専門工事業者 <9.1.2> 石綿含有建材の除去を直接行う専門業者については、工事に相応した技術を有することを証明する書類を監督員に提出する。 作業主任者の選出 <9.1.2> 石綿作業主任者技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を終了したものの中から、「石綿作業主任者」を選任しなければならない。 除去作業者の教育 <9.1.2> 作業者は、就業時に石綿則に基づく教育を受けた者とする。また、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常のない者とする。 特別管理産業廃棄物管理責任者の選出 <9.1.2> 排出業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを配置しなければならない。			
		⑧	工事用水	構内既存の施設 ○ 利用できる (※有償 ・ 無償) ※ 利用できない													
		⑨	工事用電力	構内既存の施設 ○ 利用できる (※有償 ・ 無償) ※ 利用できない													
		⑩	工事用通路	※ 指定しない ・ 指定する (図示)						③	石綿含有成形板の処理			石綿含有成形板の除去工事 <9.1.5> ・ 行う (適用範囲 ・ 図示 ・ ) ・ 行わない			
3	内装改修工事													養生 <9.1.5> ※ 作業場は、養生シート等を用いて区画する。			
			改修範囲	既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 <6.1.3> ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ・ 図示の範囲 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ・ 図示の範囲 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※ 既存のまま ・ 図示の範囲										除去工法 <9.1.5> ※ 作業場は、散水等により湿潤化し、手ばらしによること。 ※ やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した状態で行うこと。 ※ 除去物については、粉じんの飛散防止に努め、特に破砕された石綿含有成形板については、湿潤化の上、丈夫なプラスチック袋に入れる等の飛散防止措置を講ずること。			
		1	石こうボードその他ボード張り	<6.13.2～3><表6.13.1><表6.13.5>						④	その他			石綿含有材除去について 石綿含有する吹付材及び塗装材の面に設備用のアンカー等を設置する場合 粉じん飛散抑制剤を吹付し該当部を除去し粉じん飛散防止抑制剤を吹付すること。 除去物については、粉じんの飛散防止に努め、丈夫なプラスチック袋に入れる等の飛散防止措置を講ずること。			

[illegible]

建物概要

建物名称	大磯町立大磯小学校
所在地	中郡大磯町東小磯3番地
主要用途	小学校
敷地面積	14,058㎡
床面積	本館2,434㎡ 南校舎2,100㎡ 中校舎2,148㎡ 西校舎510㎡
規模・構造	鉄筋コンクリート造、地上3階建て
工事概要表	特別教室等空調設備改修に係わる建築改修工事 電気設備改修工事、機械設備改修工事



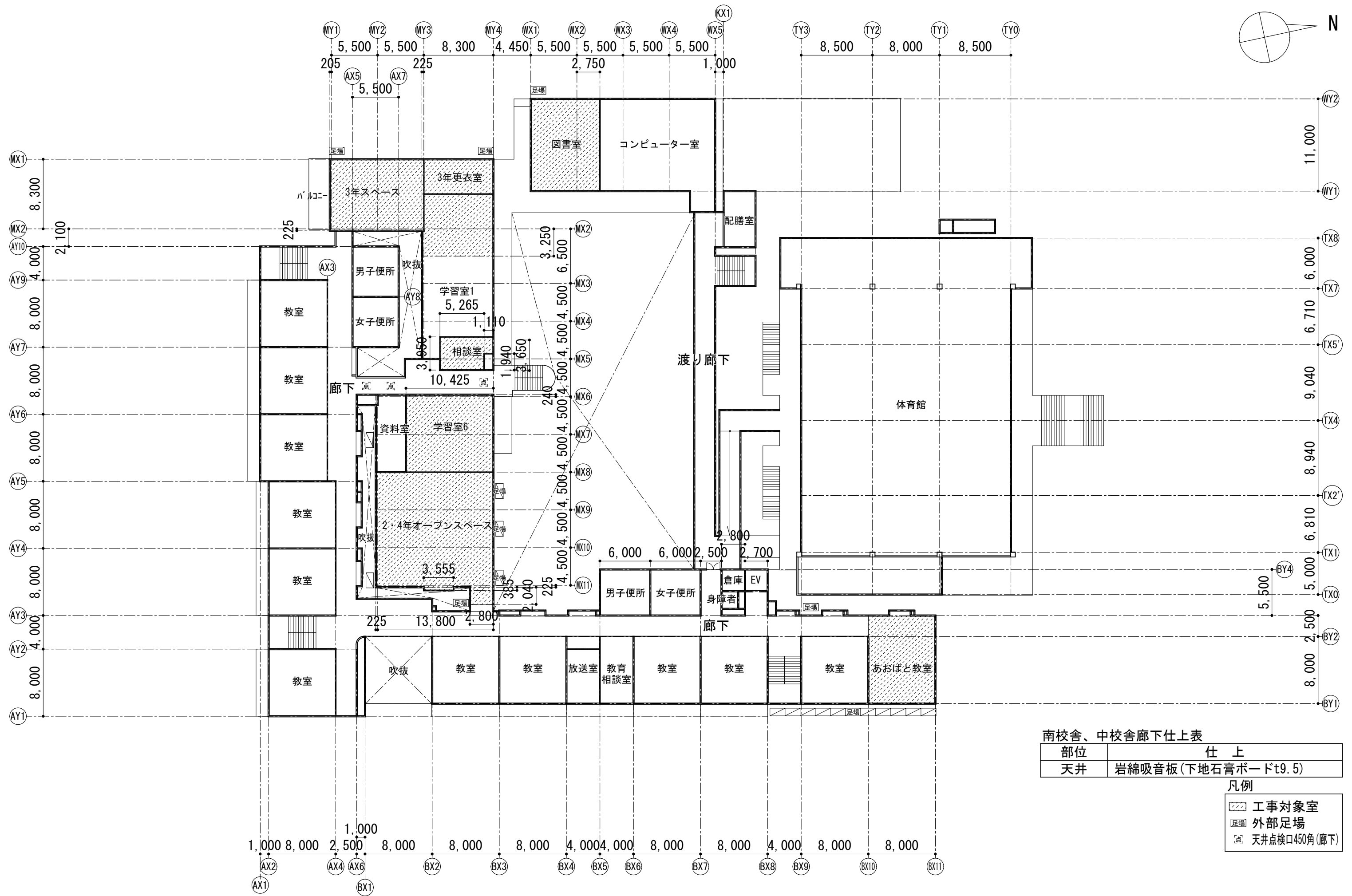


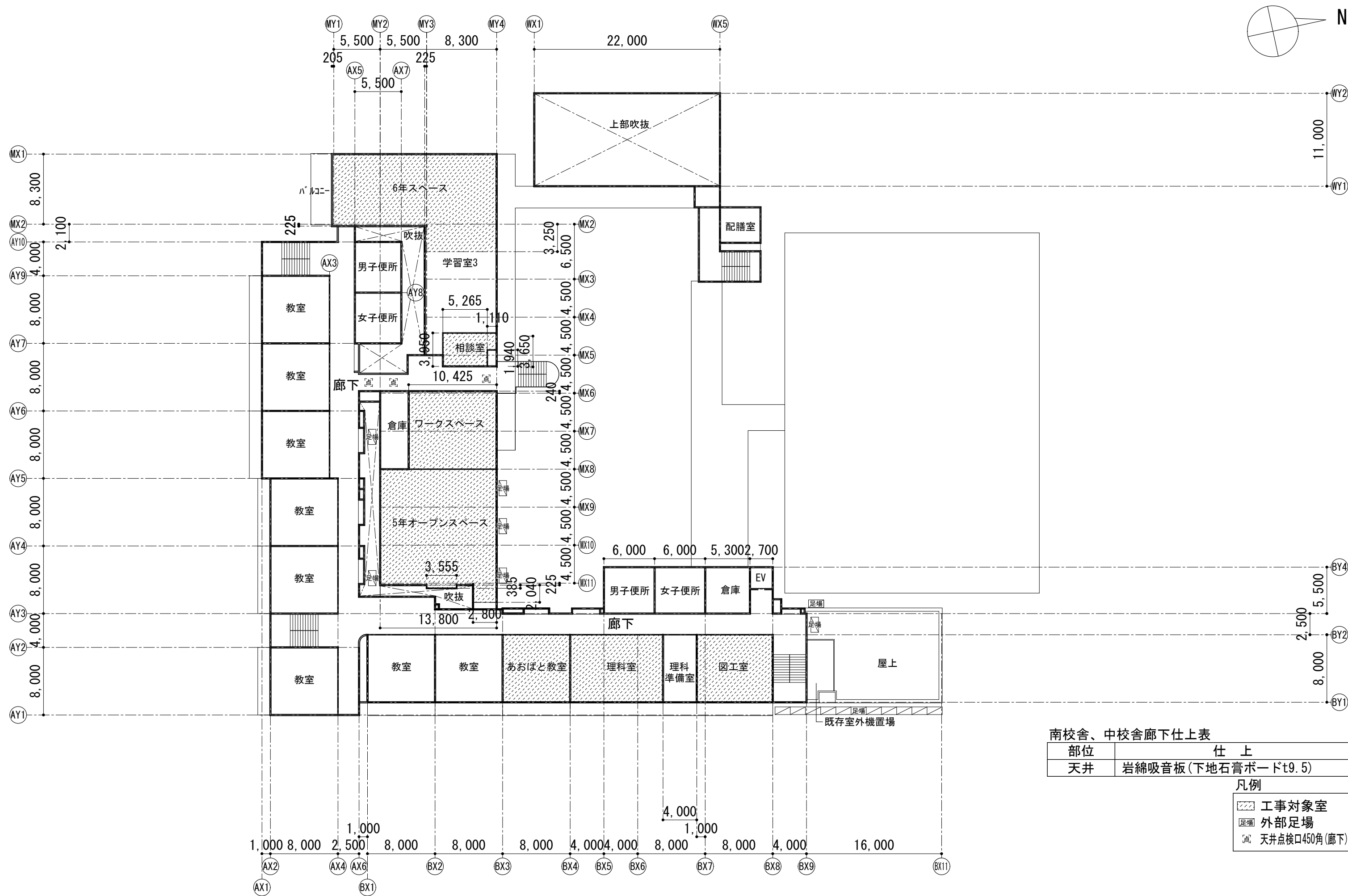
本館廊下仕上表

部位	仕 上
天井	岩綿吸音板(下地石膏ボードt9.5)

凡例

- 工事対象室
- 外部足場
- 天井点検口450角 (廊下)



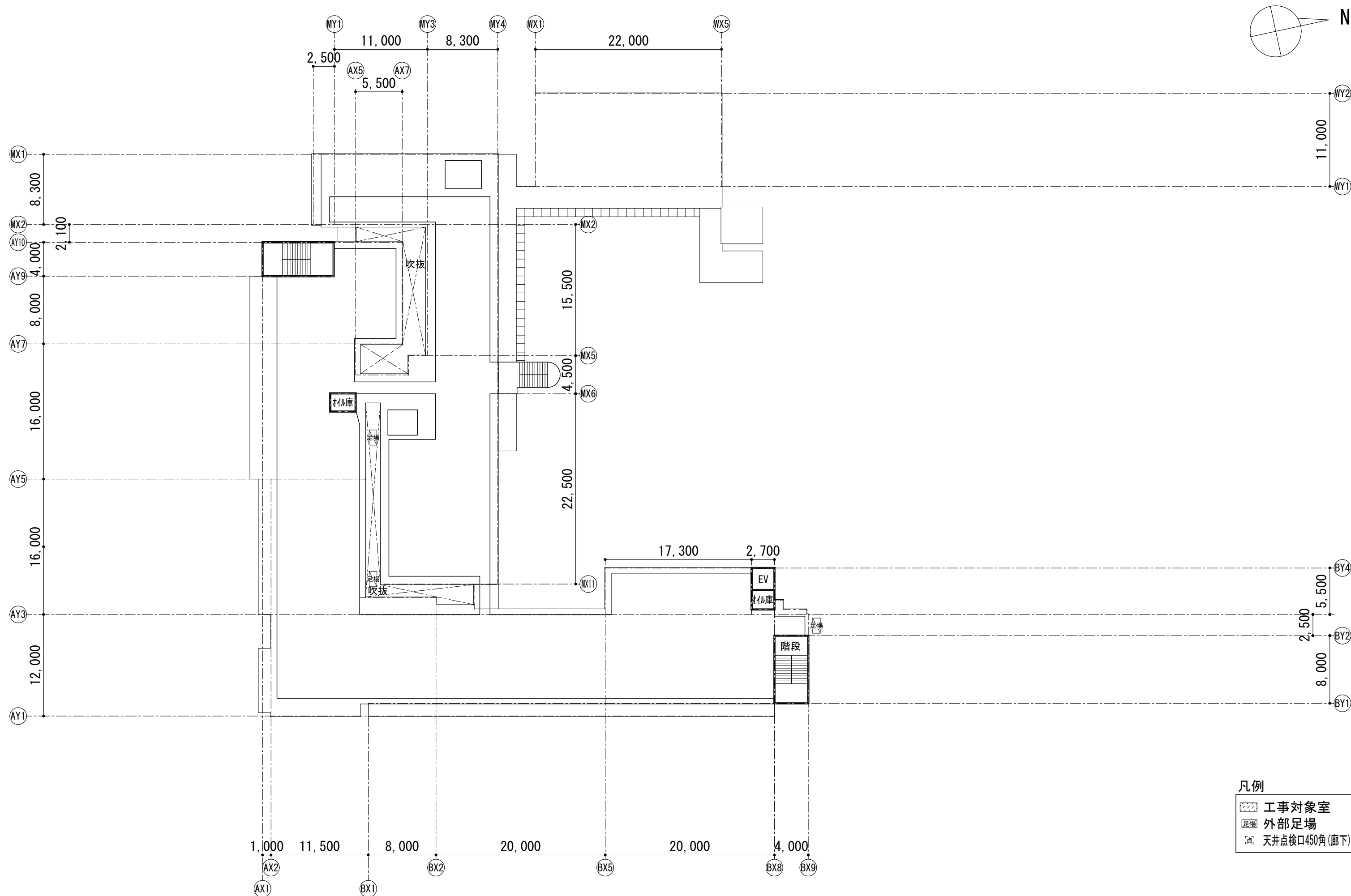


南校舎、中校舎廊下仕上表	
部位	仕 上
天井	岩綿吸音板(下地石膏ボードt9.5)

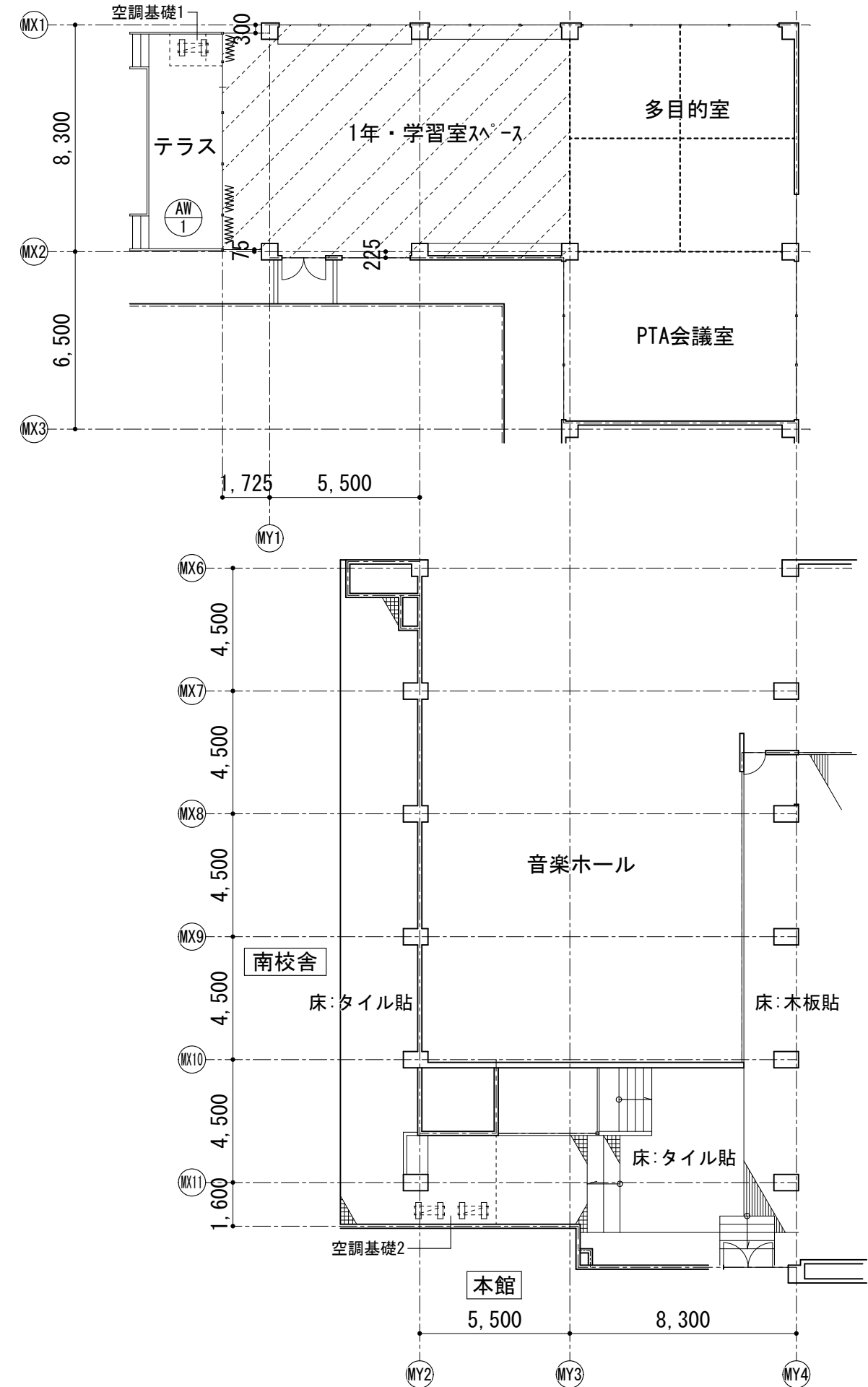
凡例

	工事対象室
	外部足場
	天井点検口450角(廊下)

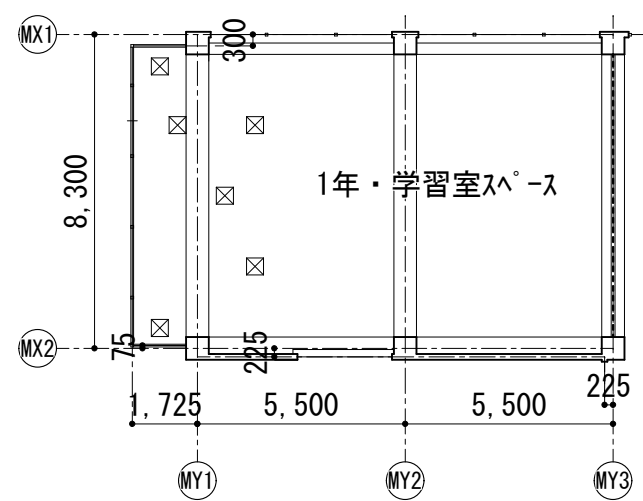




## 凡例



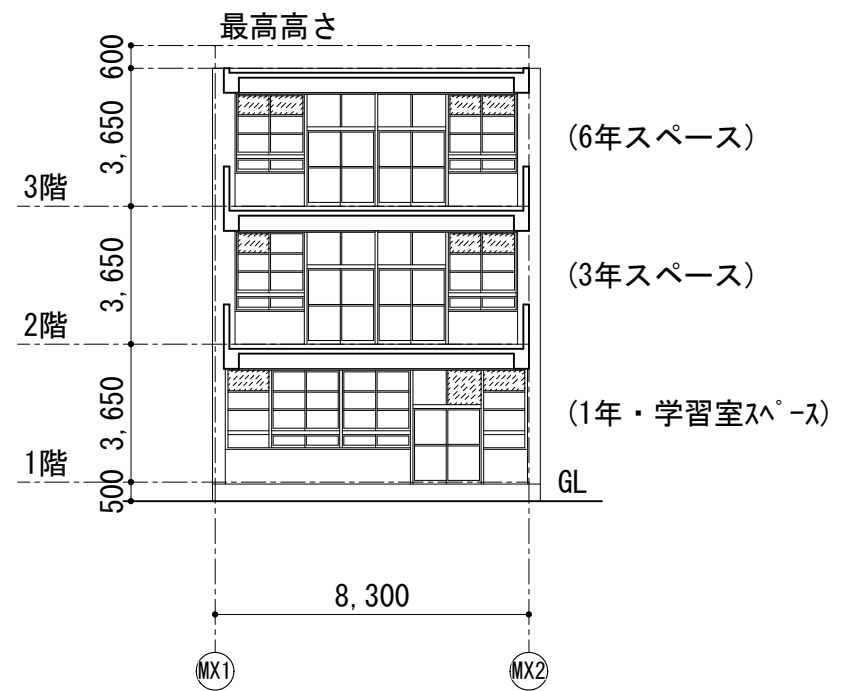
中校舎 1 階部分平面図1/200



中校舎 1 階部分天井伏図1/200

1年・学習室スペース 仕上表	
部位	仕 上
壁	複層仕上塗材
天井	岩綿吸音板(下地石膏ボードt9.5)

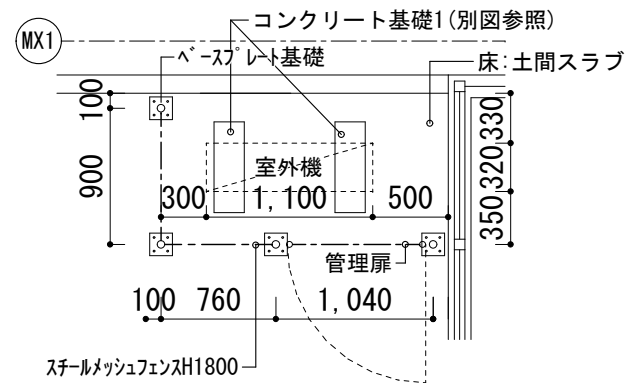
凡例  
は石綿含有材料(レベル3)を示す。撤去する場合は適切な撤去処分を施す。



中校舎南部分立面図1/200

中校舎外部仕上表	
部位	仕 上
外壁	吹付材
軒天	ケイ酸カルシウム板EP

凡例  
は石綿含有材料(レベル3)を示す。撤去する場合は適切な撤去処分を施す。  
また外壁に関しては石綿含有みなしとして同様の撤去処分を施す。

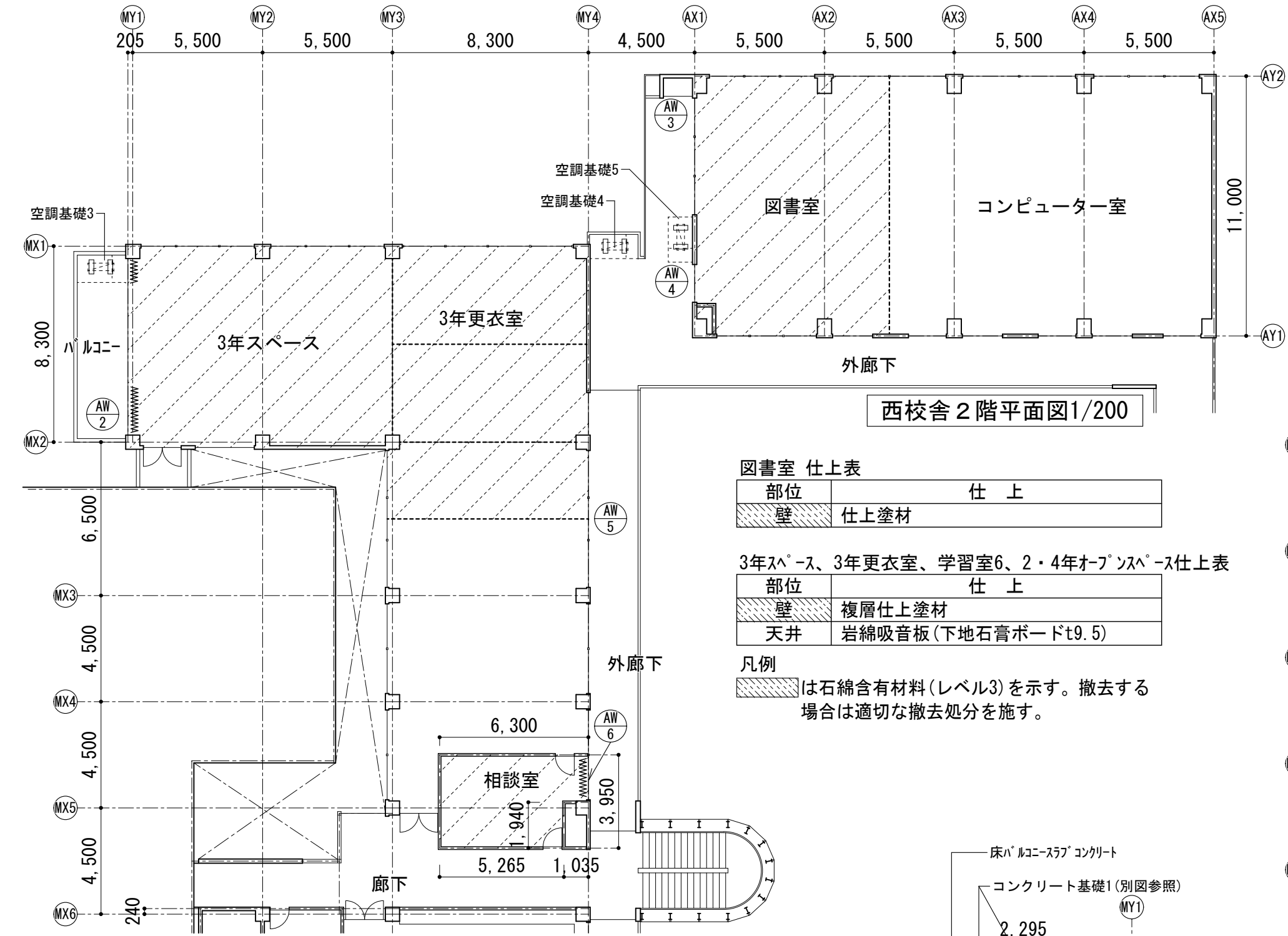


空調基礎1部分詳細図1/50

各寸法は参考とし現地状況を確認・協議したもので進める。

凡例	
☒	天井点検口450角
www	カーテン及びカーテンレール設置
■	ガラス撤去の上アルミパネル設置

工事対象室



西校舎 2階平面図1/200


図書室 仕上表

部位	仕 上
壁	仕上塗材

3年スペース、3年更衣室、学習室6、2・4年オープンスペース仕上表




部位	仕 上
壁	複層仕上塗材
天井	岩綿吸音板(下地石膏ボードt9.5)


凡例

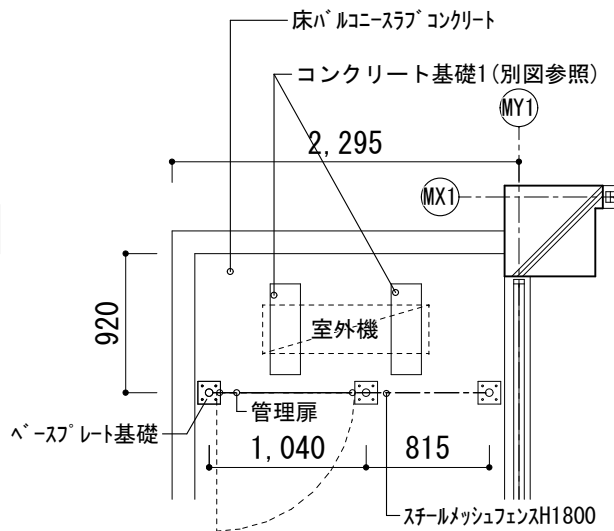
 は石綿含有材料(レベル3)を示す。撤去する場合は適切な撤去処分を施す。

中校舎 2階部分平面図1/200

凡例

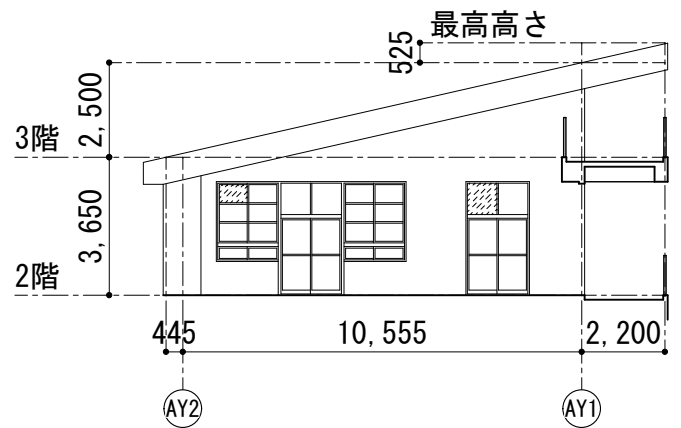
-  天井点検口450角
-  カーテン及びカーテンレール設置
-  ガラス撤去の上アルミパネル設置

 工事対象室

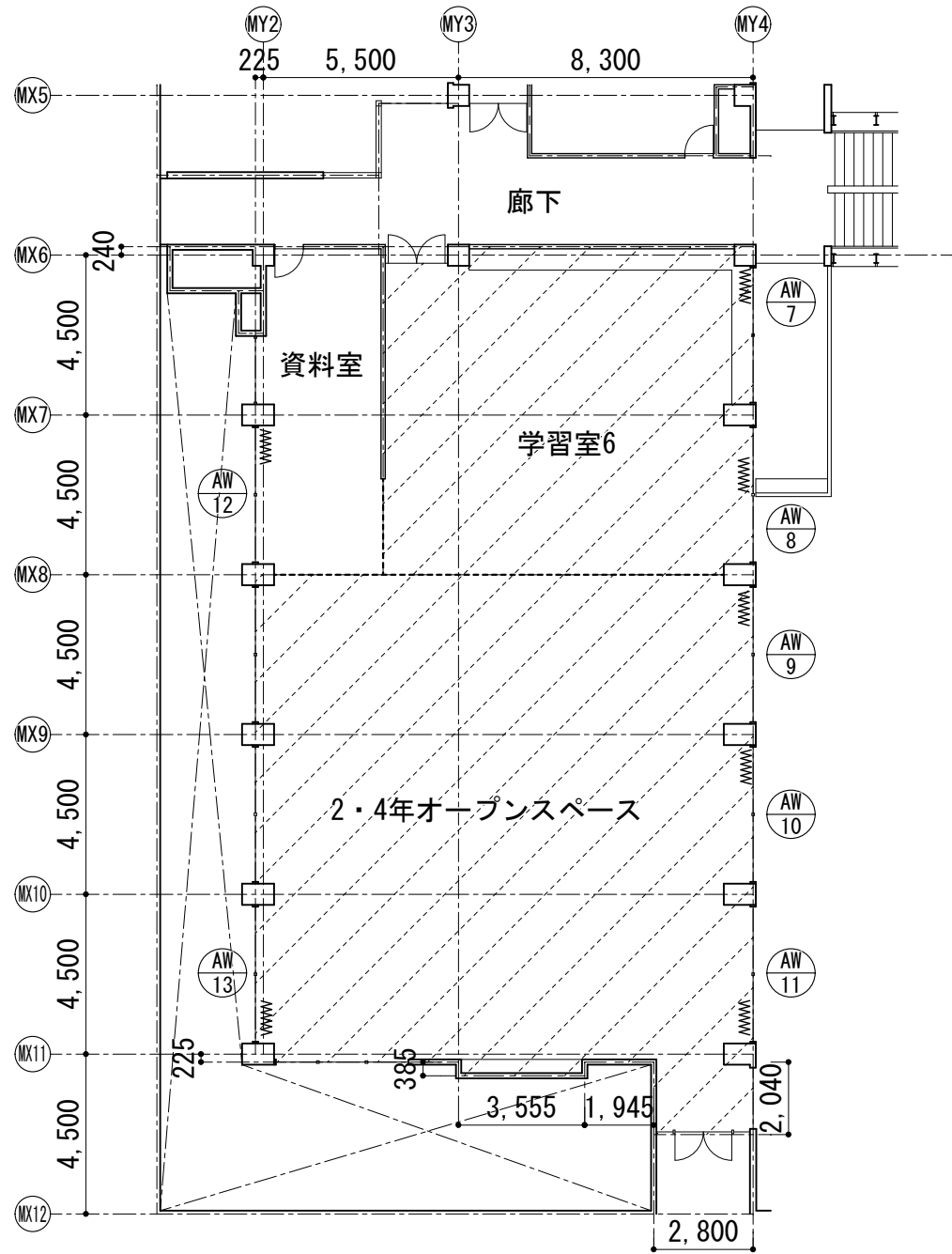


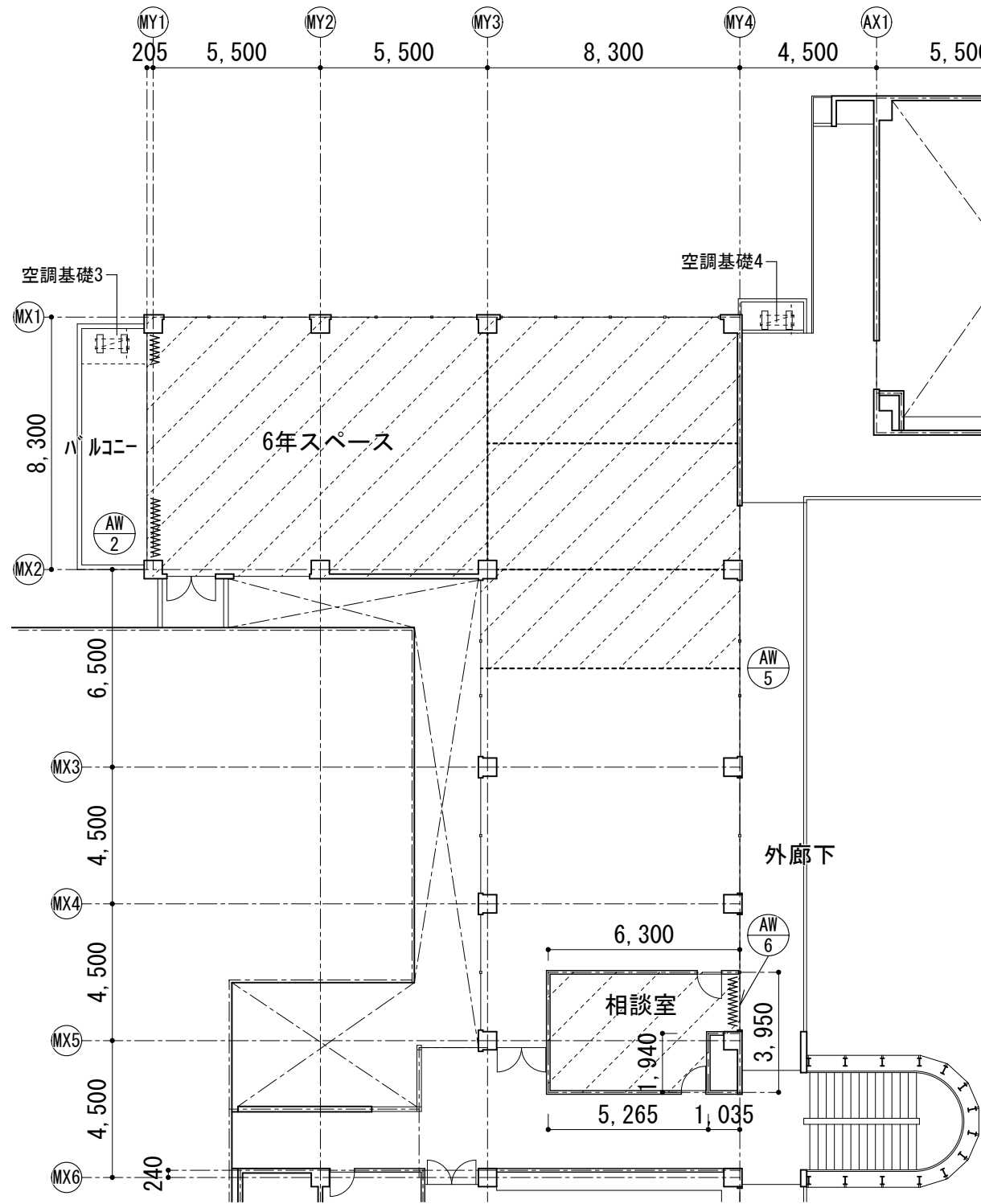
空調基礎3部分詳細図1/50

各寸法は参考とし現地状況を確認・協議したもので進める。

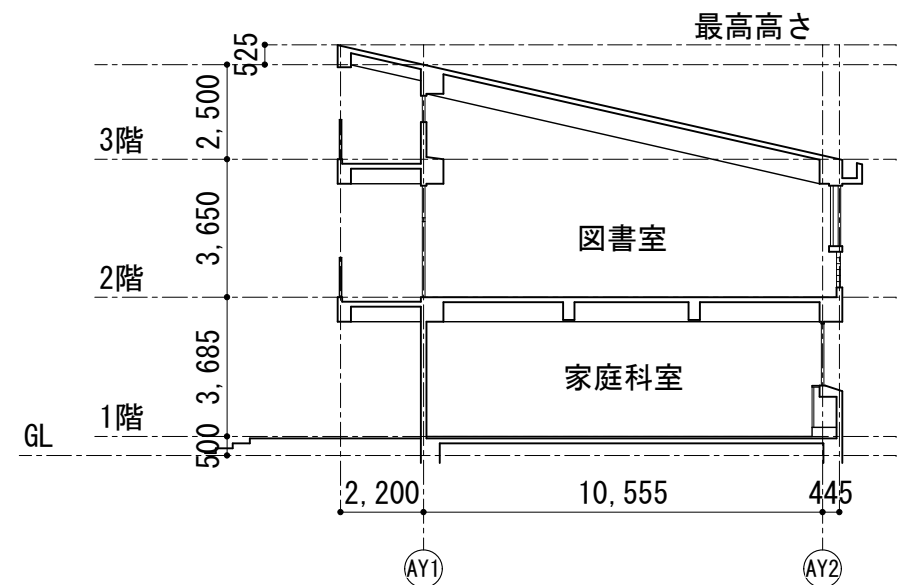


西棟南部分立面図 1/200





西校舎 3階平面図1/200



西校舎断面図 1/200

凡例

- ☒ 天井点検口450角
- www カーテン及びカーテンレール設置
- ▨ ガラス撤去の上アルミパネル設置

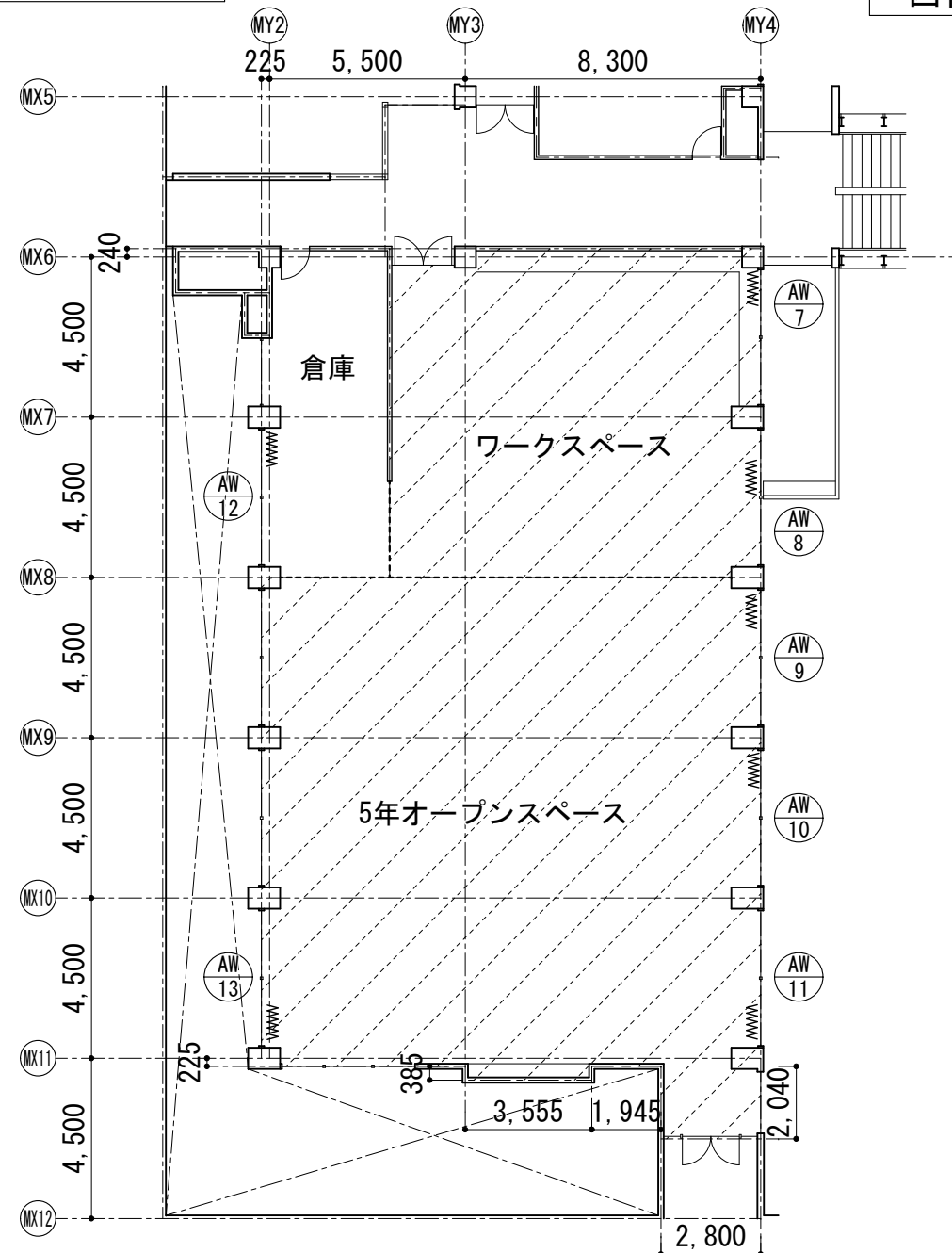
▨ 工事対象室

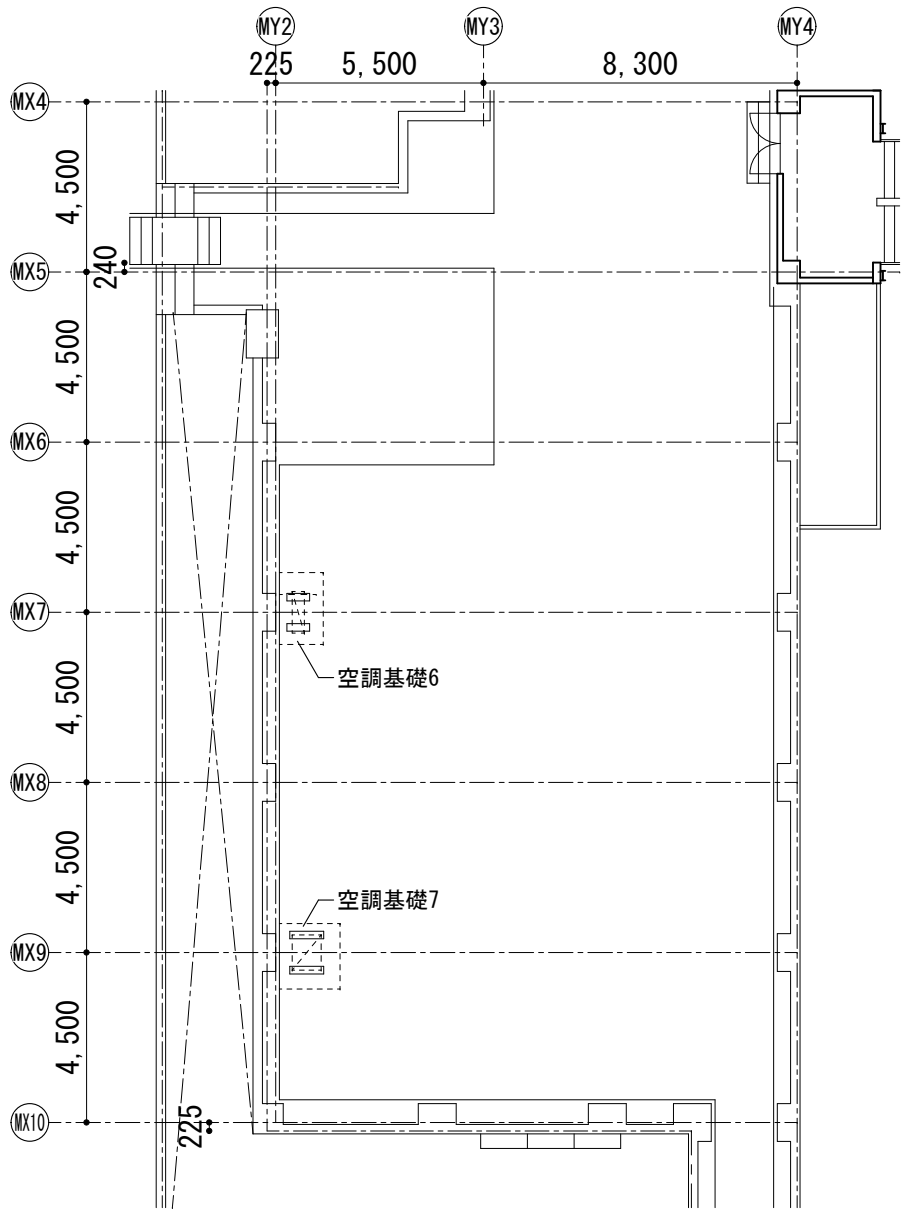
6年スペース、ワークスペース、5年オープンスペース仕上表

部位	仕上
壁	複層仕上塗材
天井	岩綿吸音板(下地石膏ボードt9.5)

凡例

▨ は石綿含有材料(レベル3)を示す。撤去する場合は適切な撤去処分を施す。





中校舎屋上部分平面図1/200

屋上 仕上表

部位	仕 上
床	ｱｽﾌｧﾙﾄ防水の上ｼﾝｸﾞﾙ-ｺﾝｸﾘｰﾄt80

3年ｽﾍﾟｰｽ、6年ｽﾍﾟｰｽ、学習室、2・4年ｵｰﾌﾟﾝｽﾍﾟｰｽ  
ワｰｸｽﾍﾟｰｽ、5年ｵｰﾌﾟﾝｽﾍﾟｰｽ、相談室仕上表

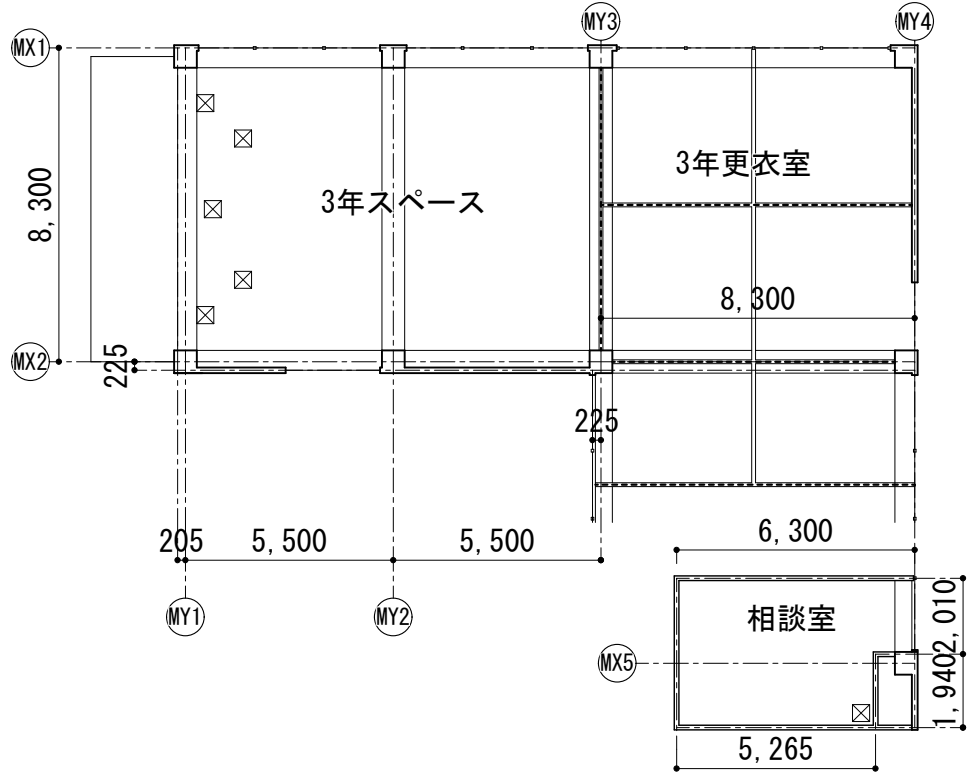
部位	仕 上
壁	複層仕上塗材
天井	岩綿吸音板(下地石膏ボードt9.5)

凡例

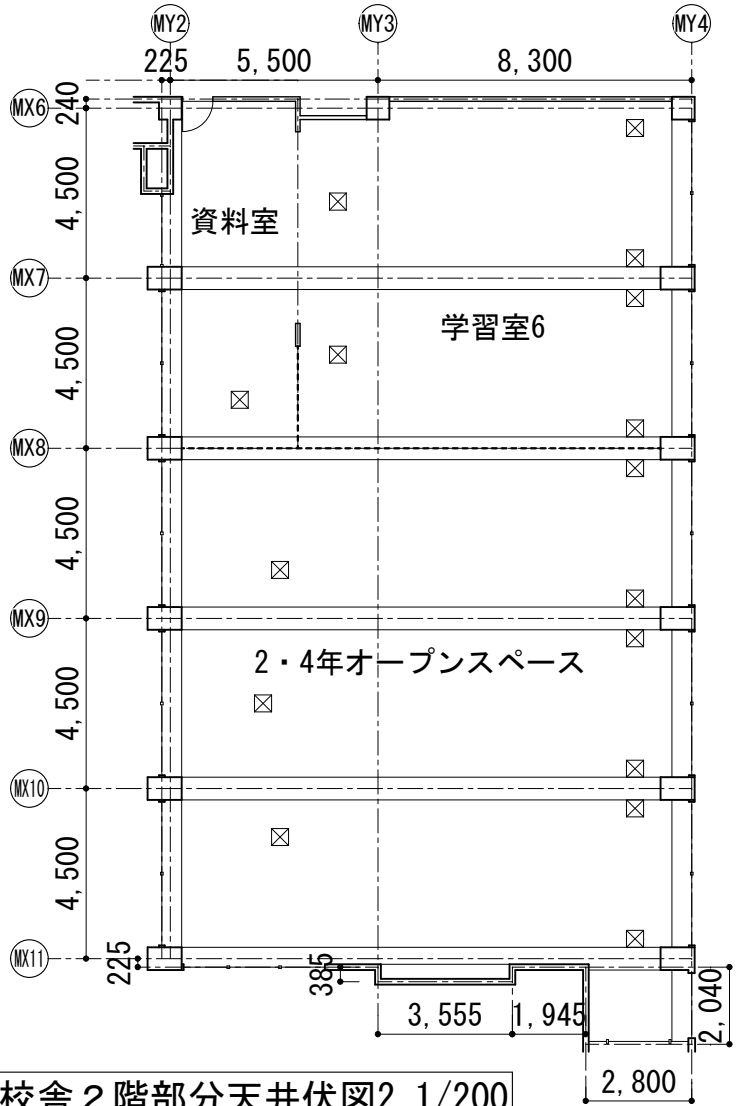
は石綿含有材料(レベル3)を示す。撤去する場合は適切な撤去処分を施す。

凡例

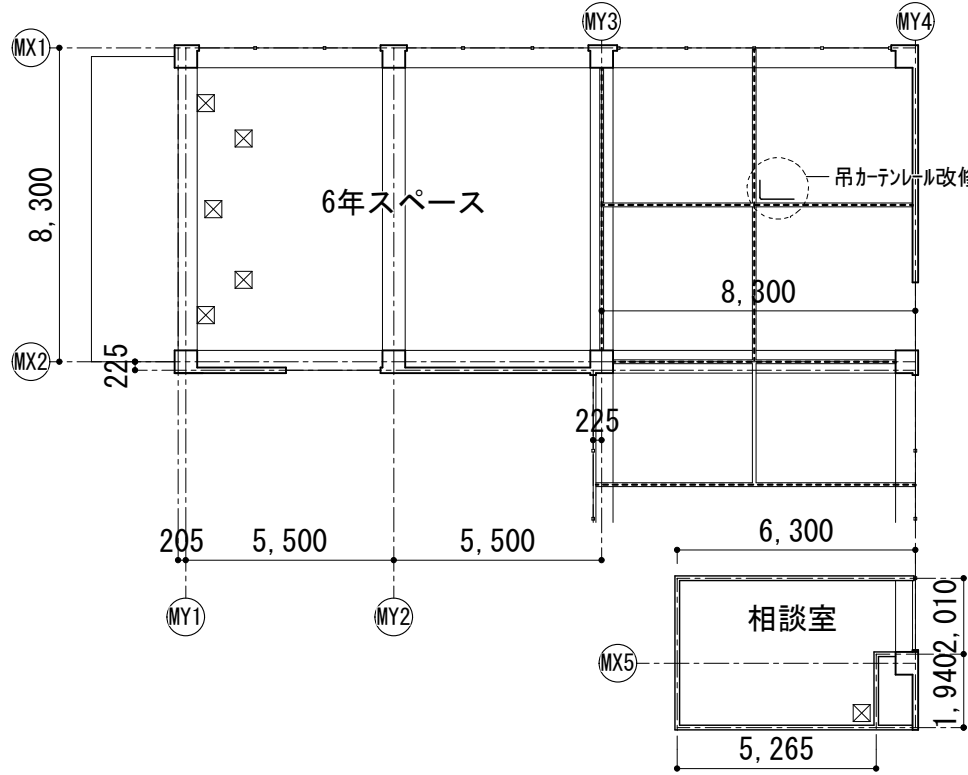
	天井点検口450角
	カーテン及びカーテンレール設置
	ガラス撤去の上アルミパネル設置



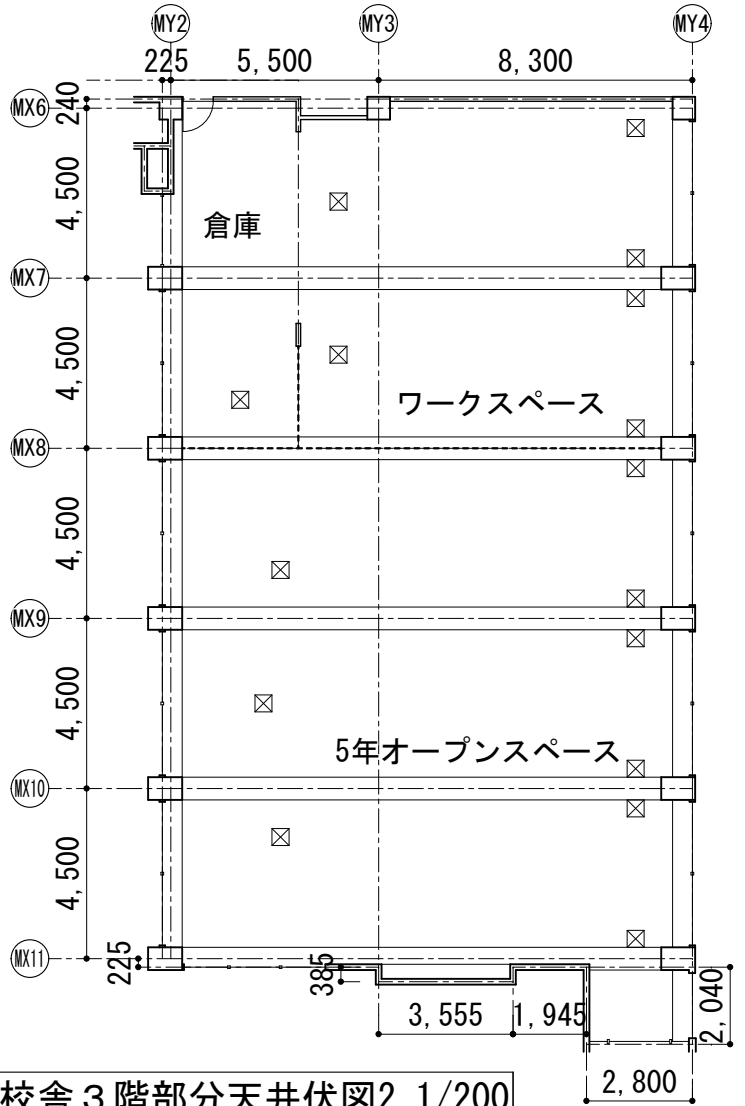
中校舎 2 階部分天井伏図1 1/200



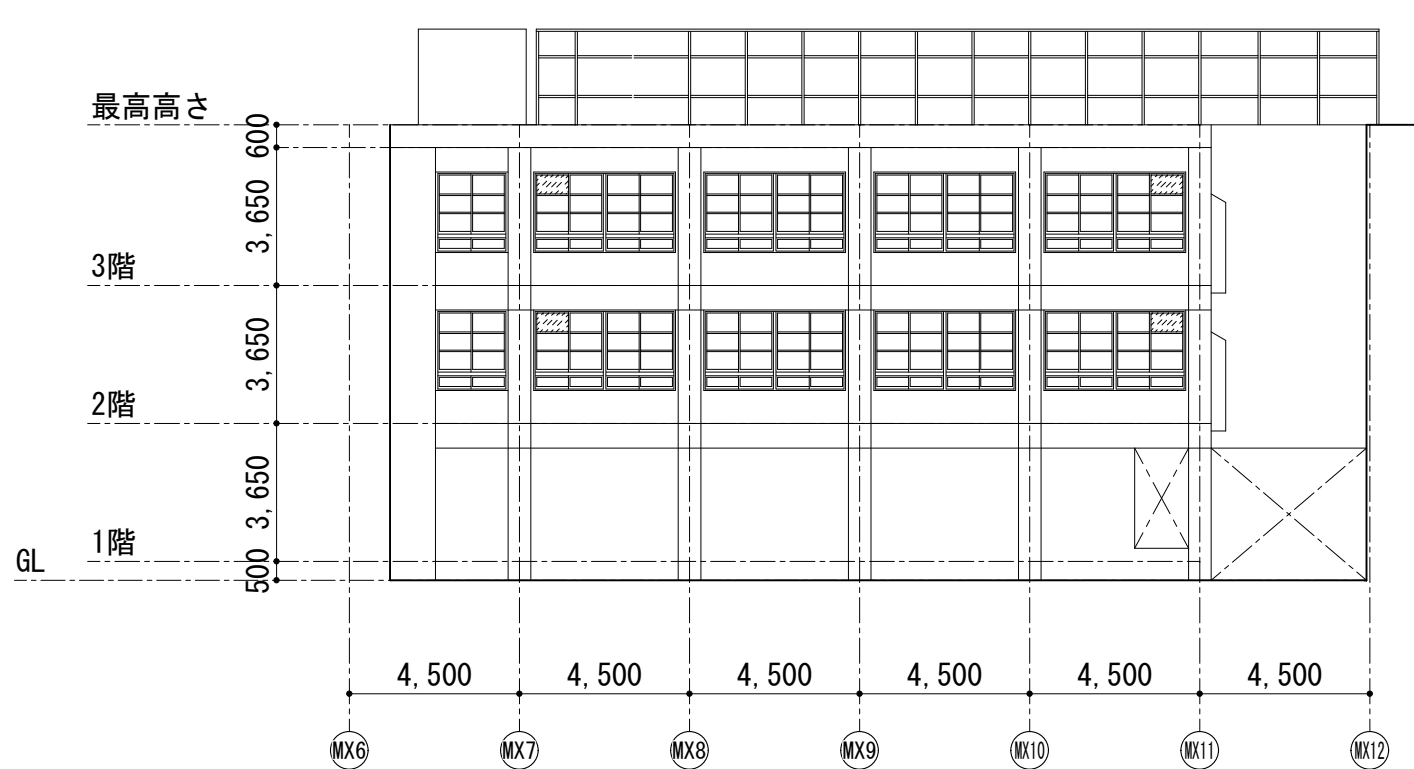
中校舎 2 階部分天井伏図2 1/200



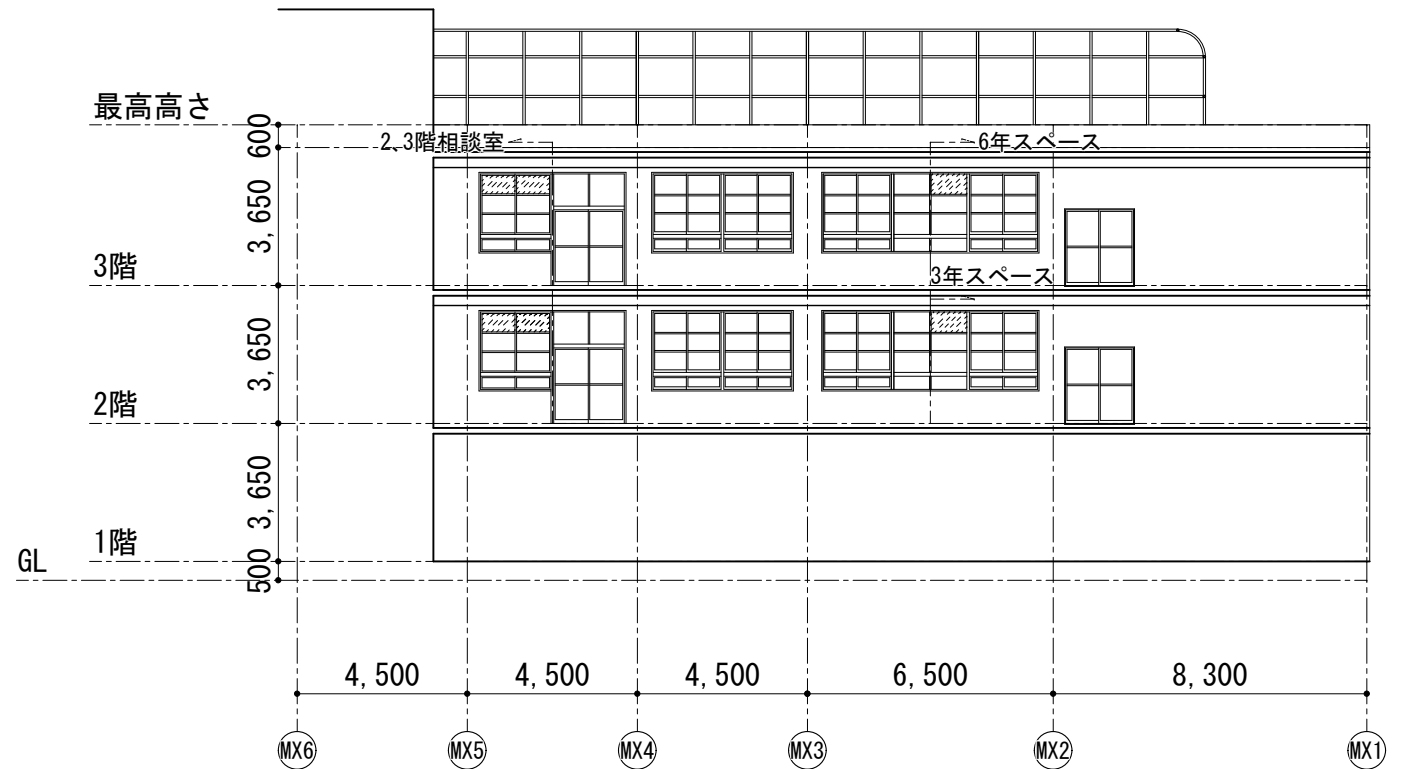
中校舎 3 階部分天井伏図1 1/200



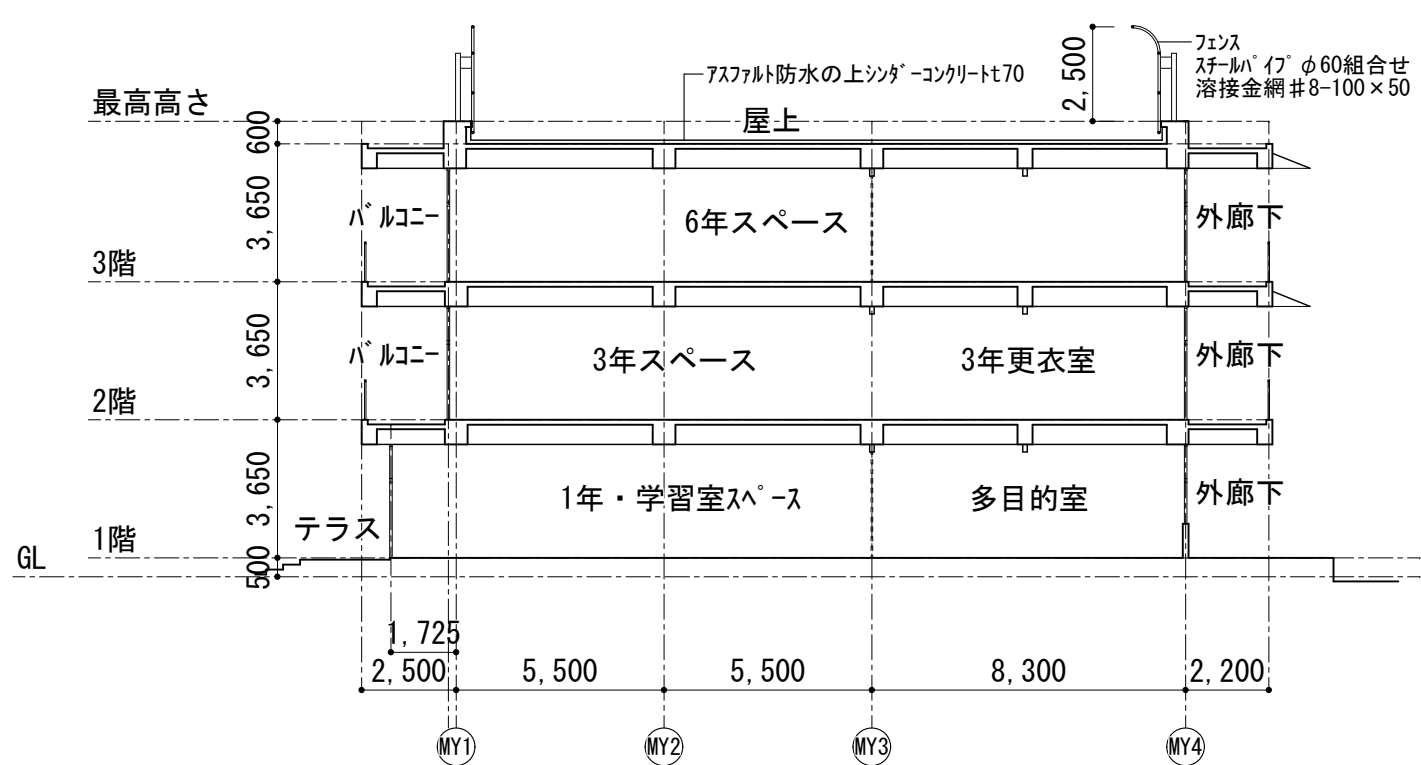
中校舎 3 階部分天井伏図2 1/200



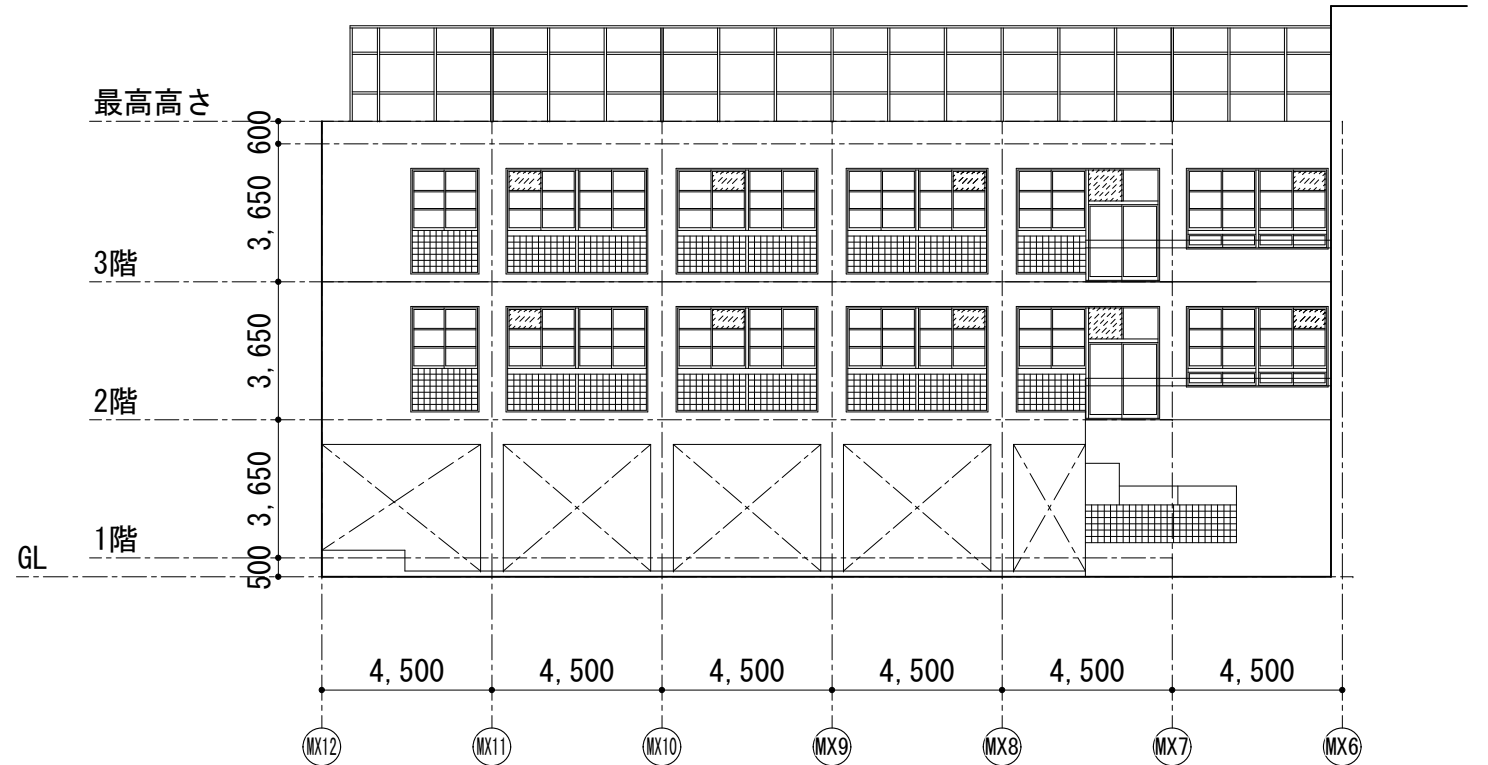
中校舎南部分立面図1/200



中校舎北部分立面図1/200



中校舎断面図 1/200



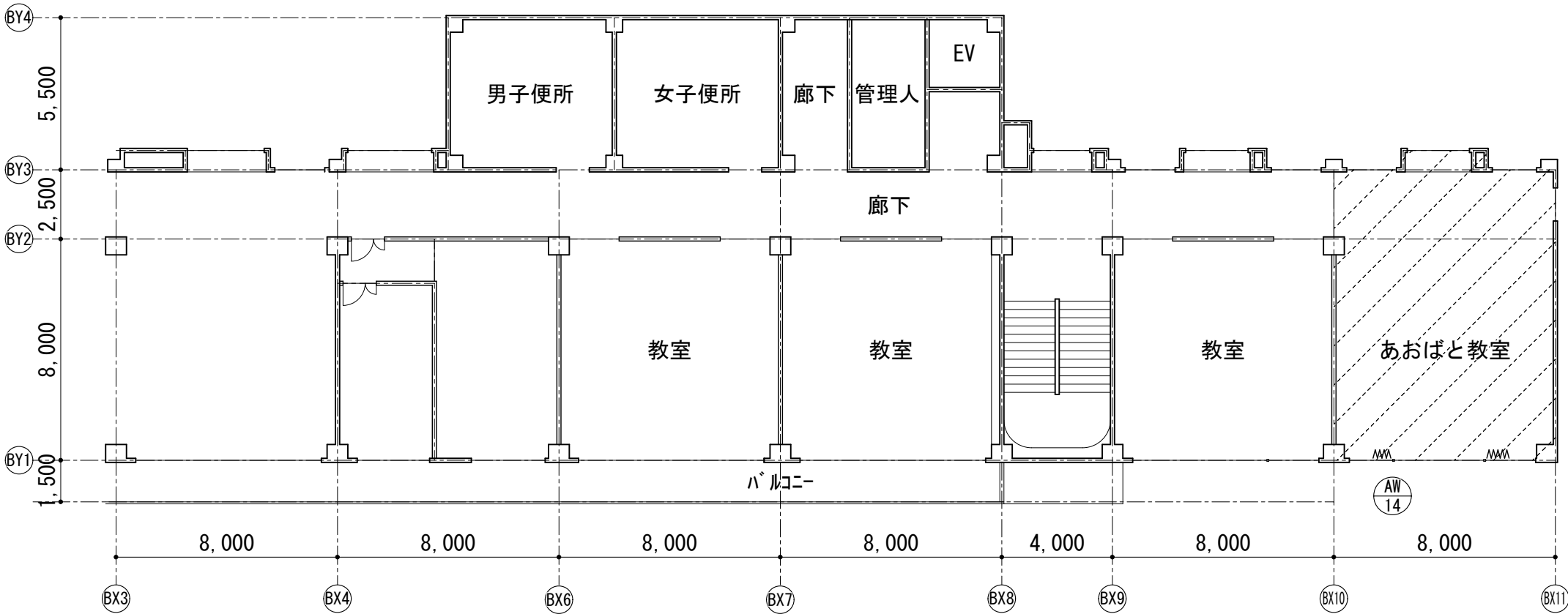
中校舎北部分立面図1/200

中校舎外部仕上表

部位	仕 上
外壁	吹付材
軒天	ケイ酸カルシウム板EP

凡例

は石綿含有材料(レベル3)を示す。撤去する場合は適切な撤去処分を施す。



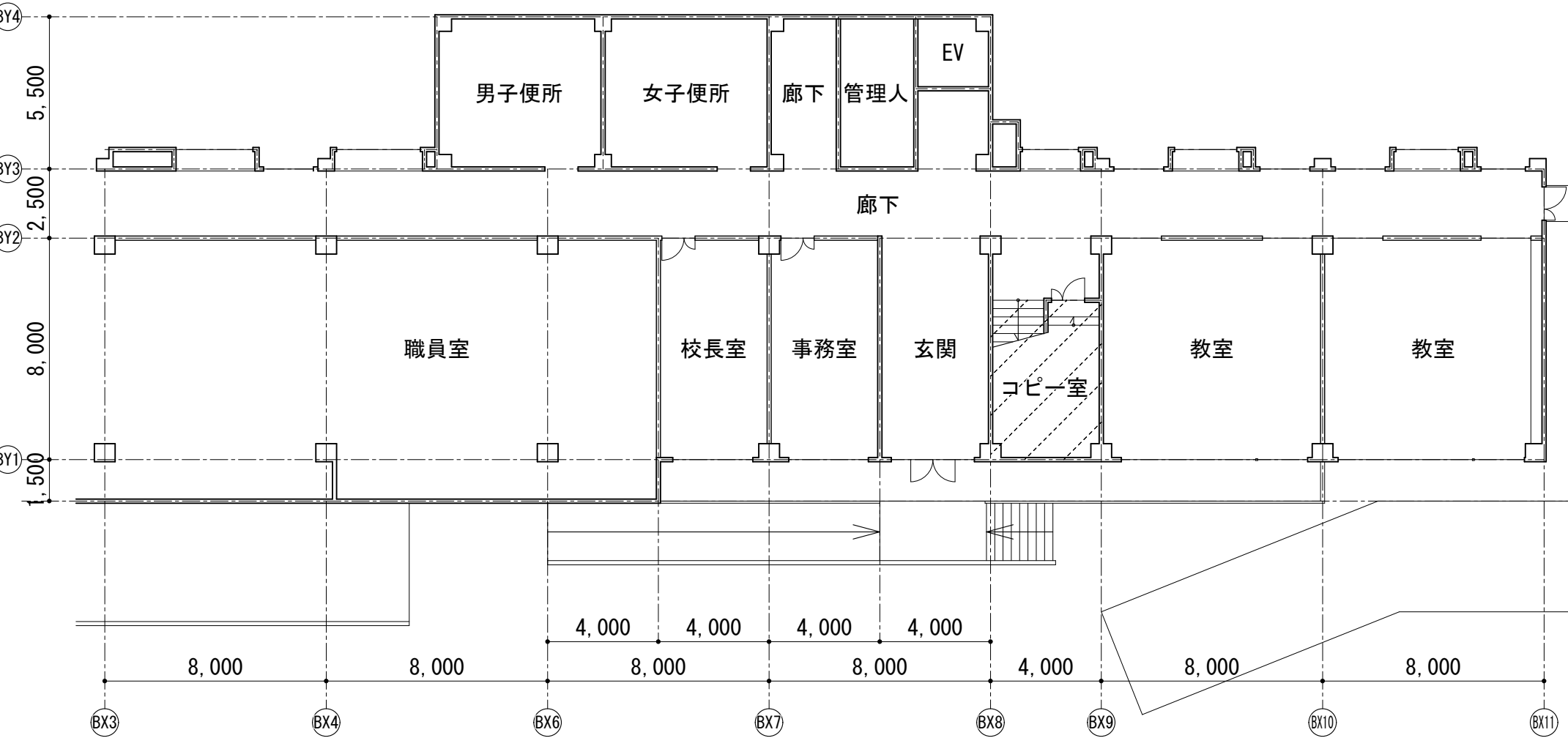
本館 2 階平面図1/200

あおばと教室仕上表

部位	仕 上
壁	複層仕上塗材
天井	岩綿吸音板(下地石膏ボードt9.5)

凡例

は石綿含有材料(レベル3)を示す。撤去する場合は適切な撤去処分を施す。



本館 1 階平面図1/200

印刷室仕上表

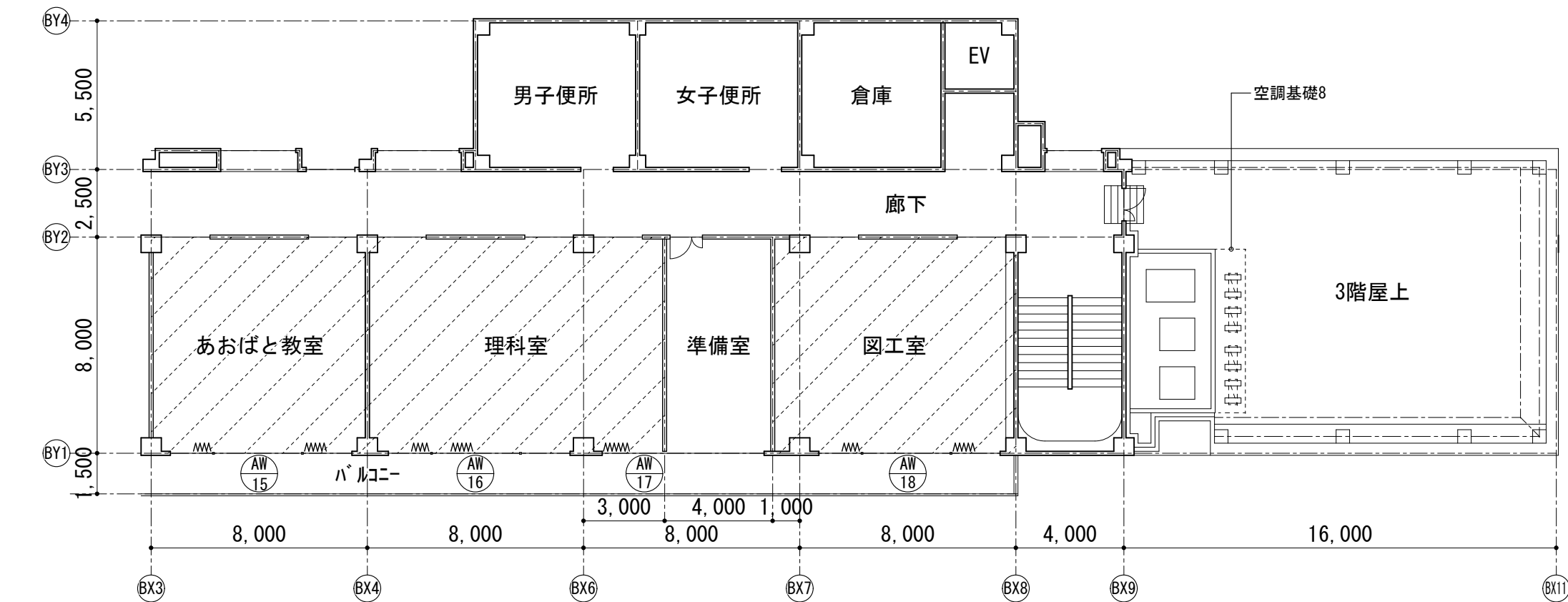
部位	仕 上
壁	複層仕上塗材
天井	岩綿吸音板(下地石膏ボードt9.5)

凡例

は石綿含有材料(レベル3)を示す。撤去する場合は適切な撤去処分を施す。

凡例

- 天井点検口450角
- カーテン及びカーテンレール設置
- ガラス撤去の上アルミパネル設置
- 工事対象室



あおばと教室、理科室、図工室仕上表

部位	仕 上
壁	複層仕上塗材
天井	岩綿吸音板(下地石膏ボードt9.5)

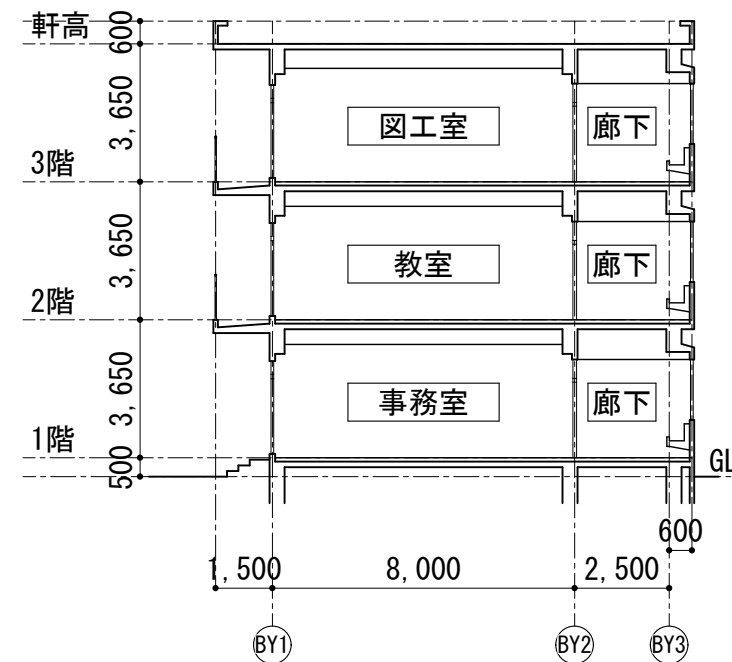
凡例

は石綿含有材料(レベル3)を示す。撤去する場合は適切な撤去処分を施す。

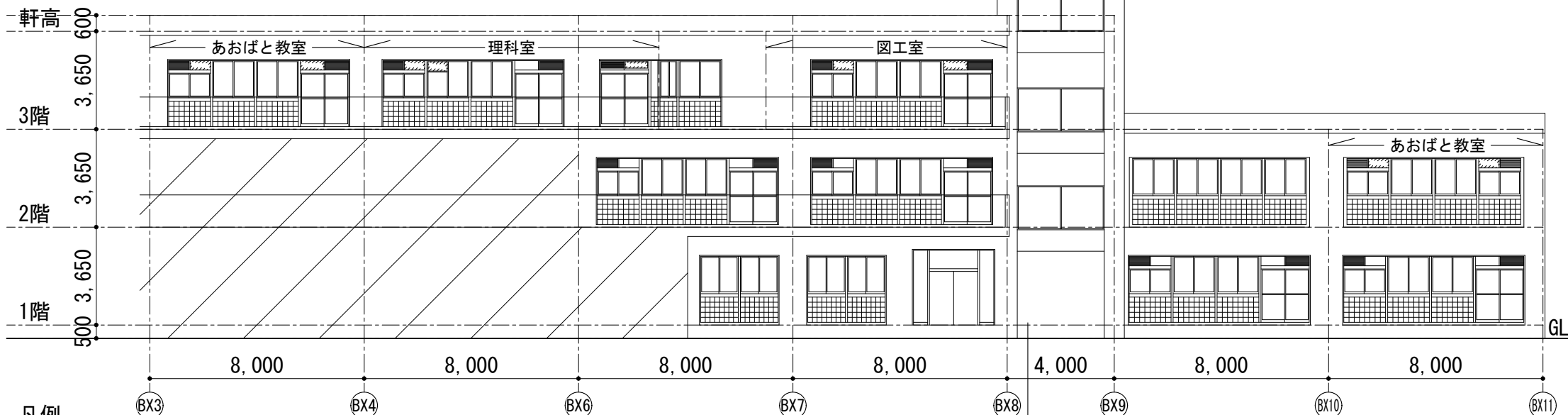
本館3階平面図1/200

3階屋上 仕上表

部位	仕 上
床	アスファルト防水の上シタ-コンクリートt80



本館断面図1 1/200

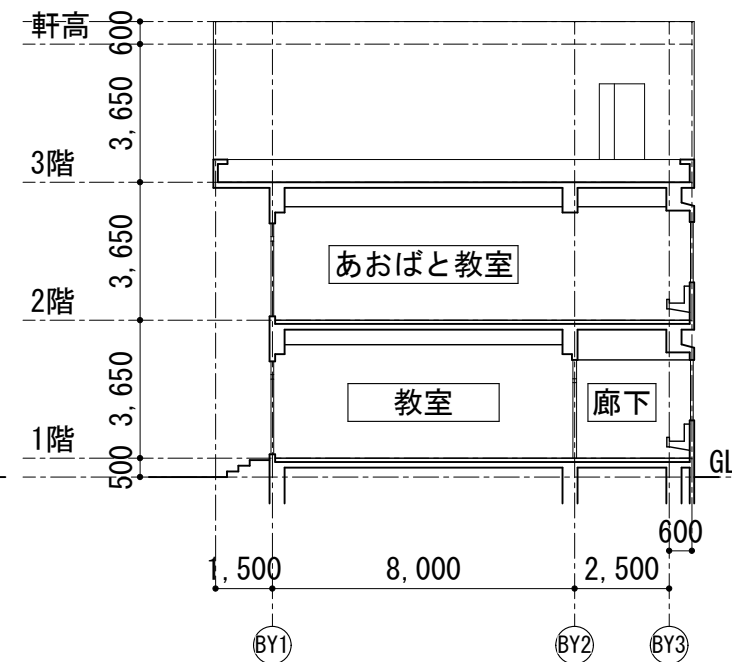


凡例

- 天井点検口450角
- カーテン及びカーテンレール設置
- ガラス撤去の上アルミパネル設置

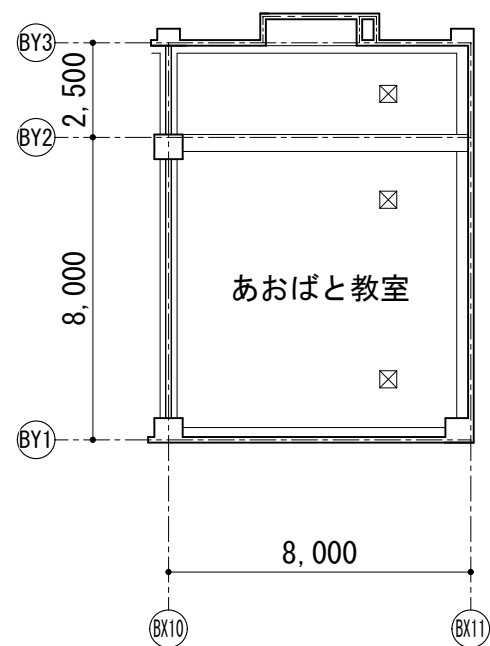
工事対象室

本館南部分立面図1/200

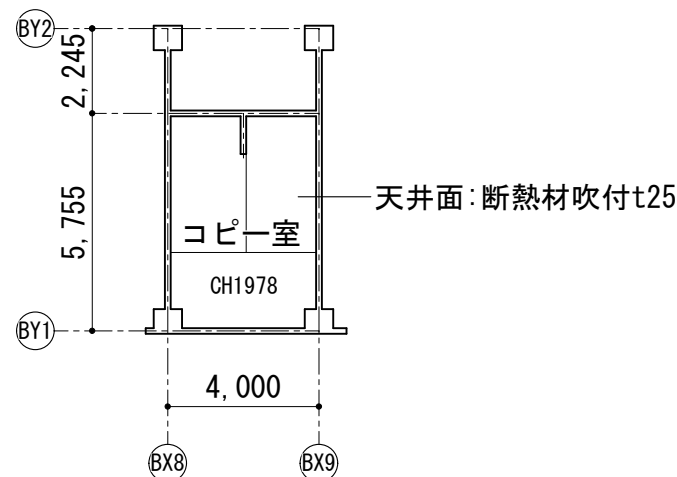


本館断面図2 1/200

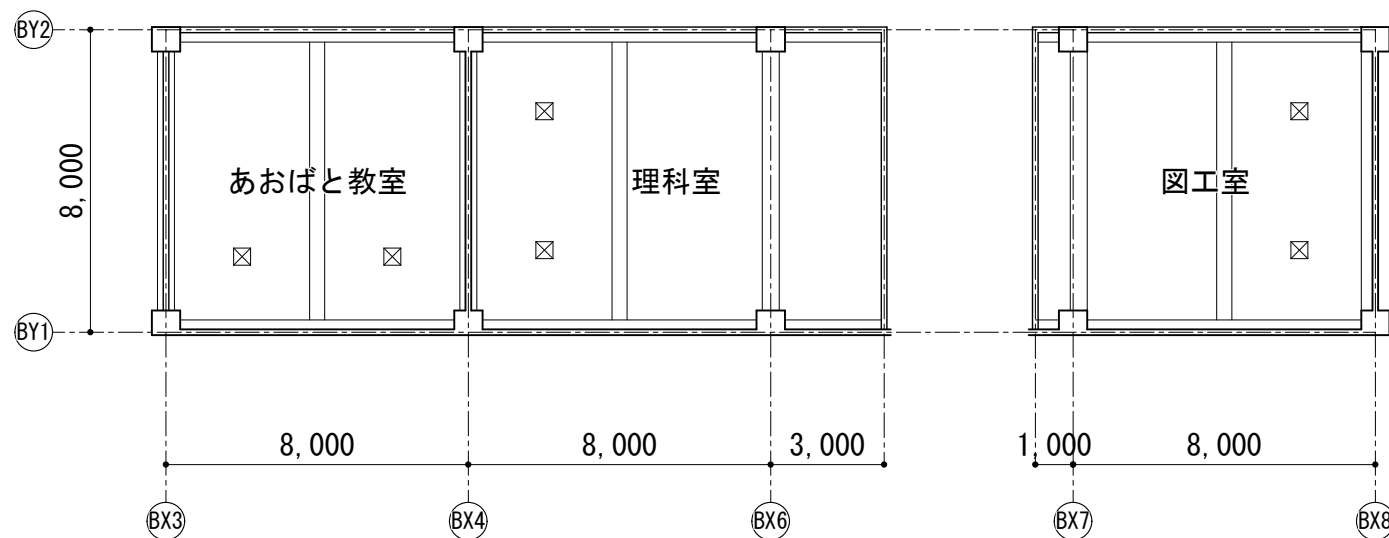




本館 2 階あおばと教室天井伏図1/200

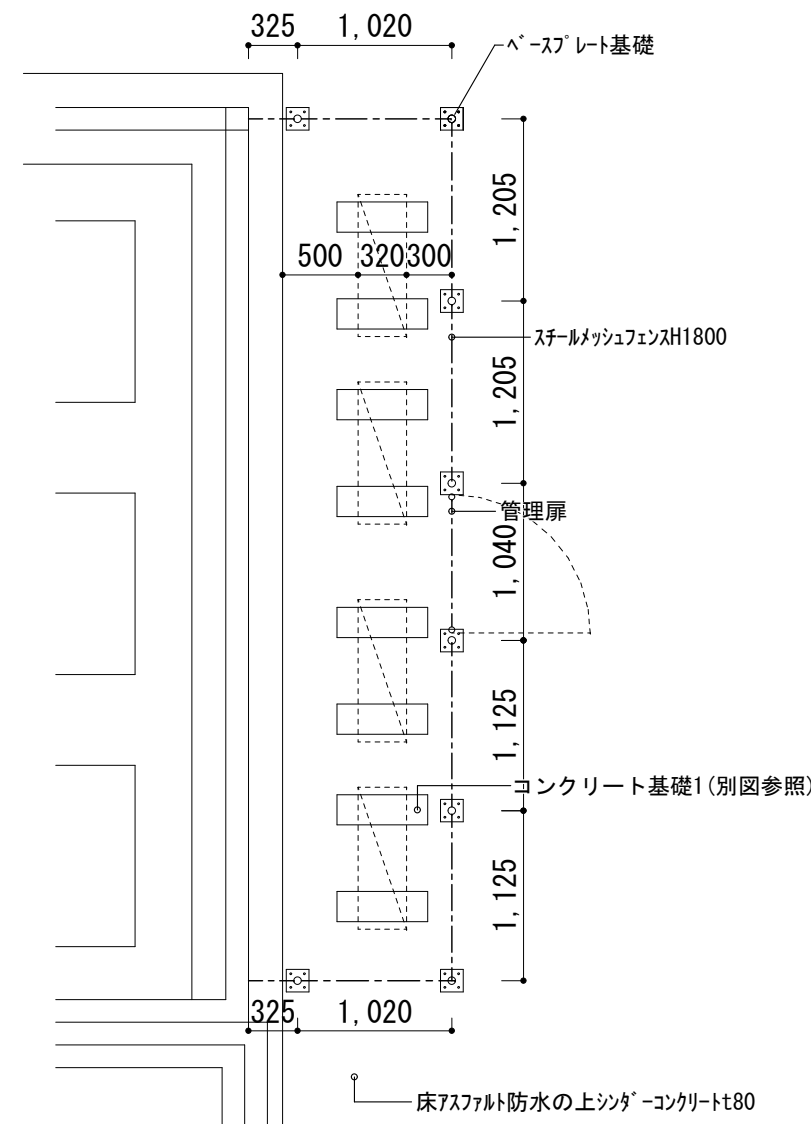


本館 1 階印刷室天井伏図1/200



凡例

- ☒ 天井点検口450角
- www カーテン及びカーテンレール設置
- ▨ ガラス撤去の上アルミパネル設置



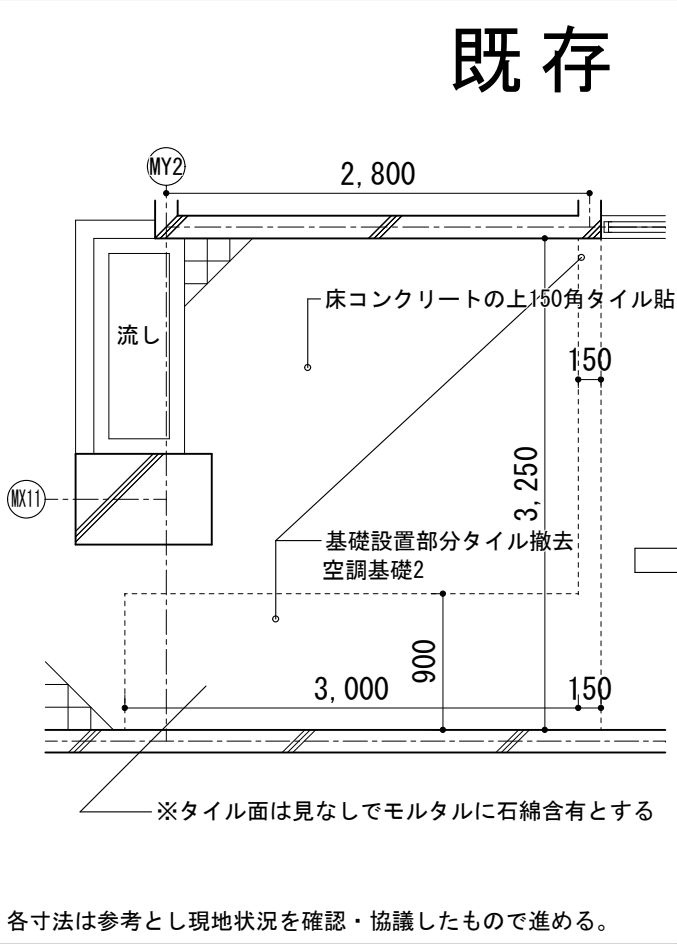
空調基礎8部分詳細図1/50

各寸法は参考とし現地状況を確認・協議したもので進める。

凡例

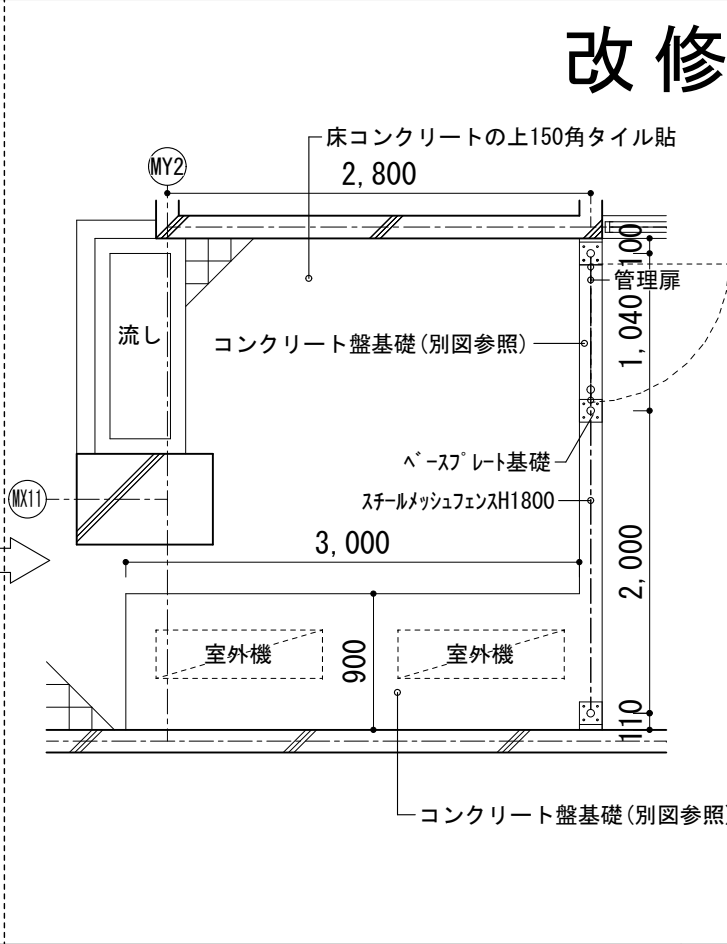
- ☒ 天井点検口450角
- www カーテン及びカーテンレール設置
- ▨ ガラス撤去の上アルミパネル設置

空調基礎2部分詳細図1/50

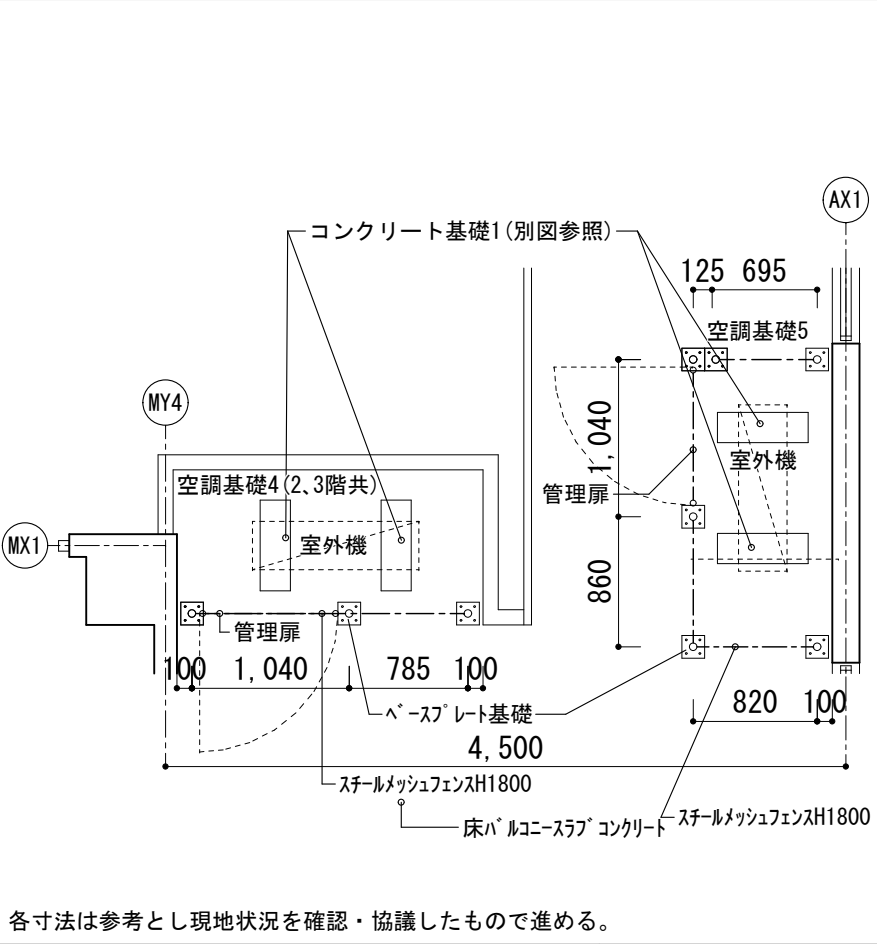


各寸法は参考とし現地状況を確認・協議したもので進める。

改修

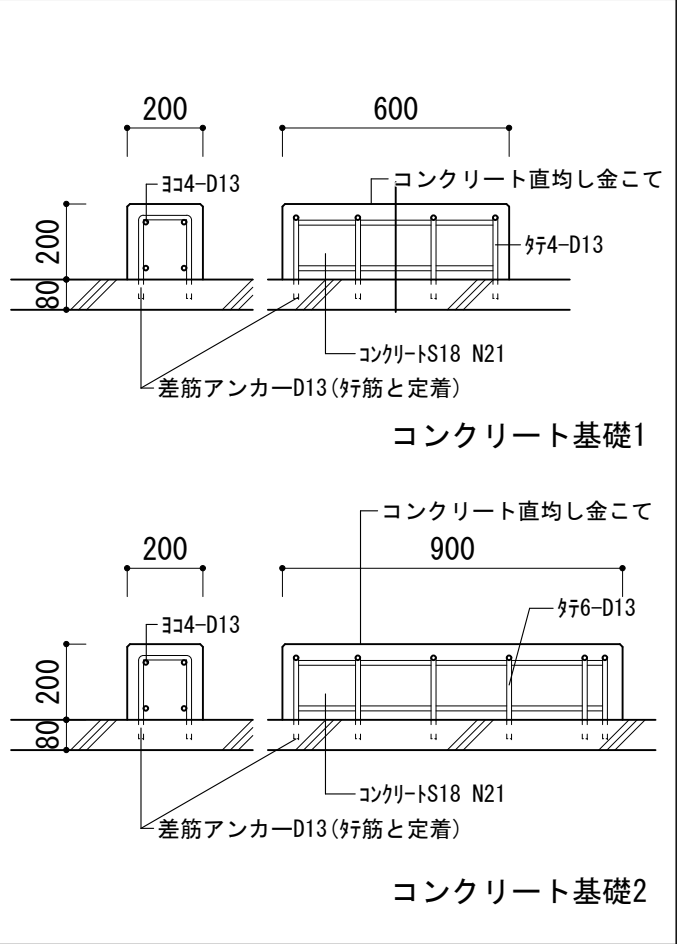


空調基礎4、5部分詳細図1/50

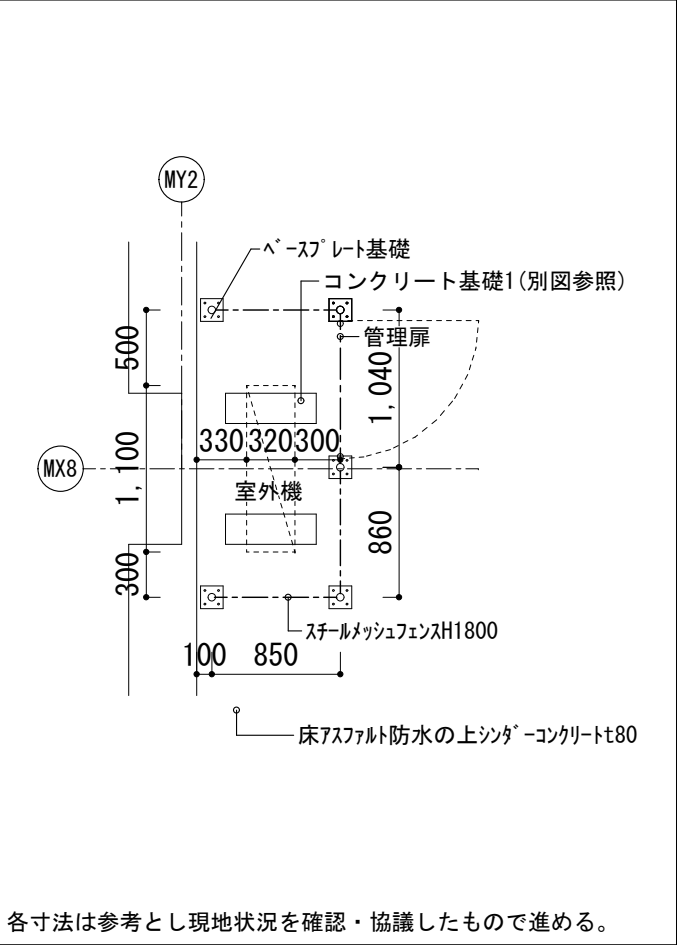


各寸法は参考とし現地状況を確認・協議したもので進める。

コンクリート基礎詳細図1/20

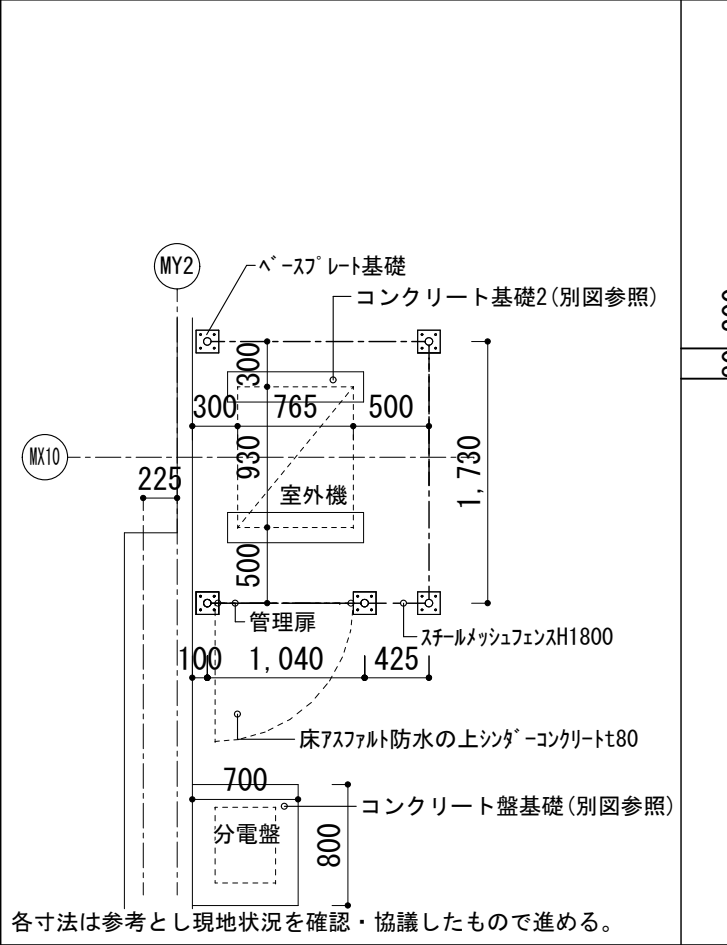


空調基礎6部分詳細図1/50



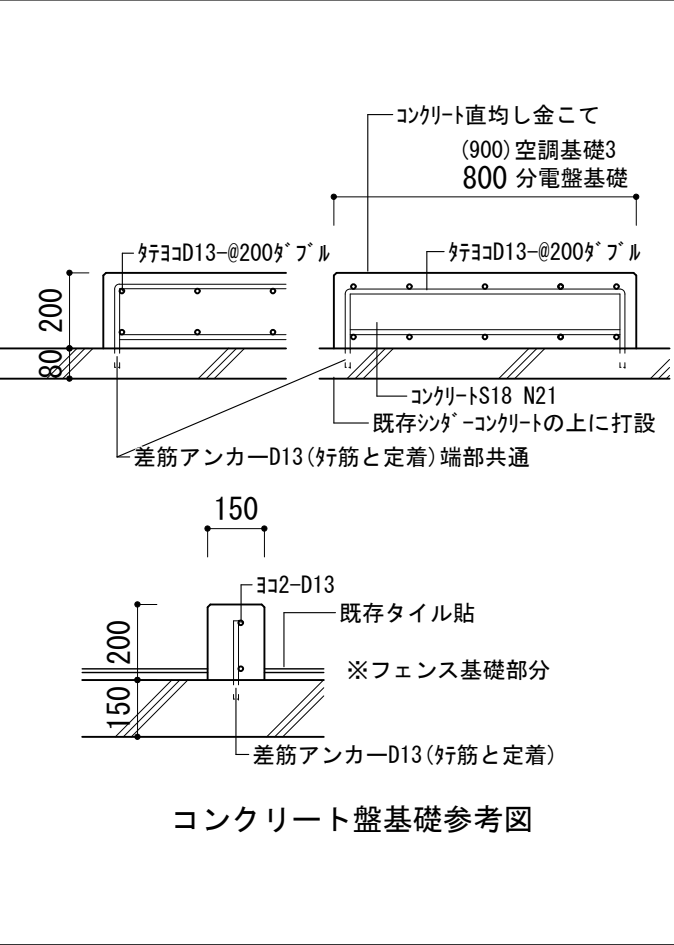
各寸法は参考とし現地状況を確認・協議したもので進める。

空調基礎7部分詳細図1/50

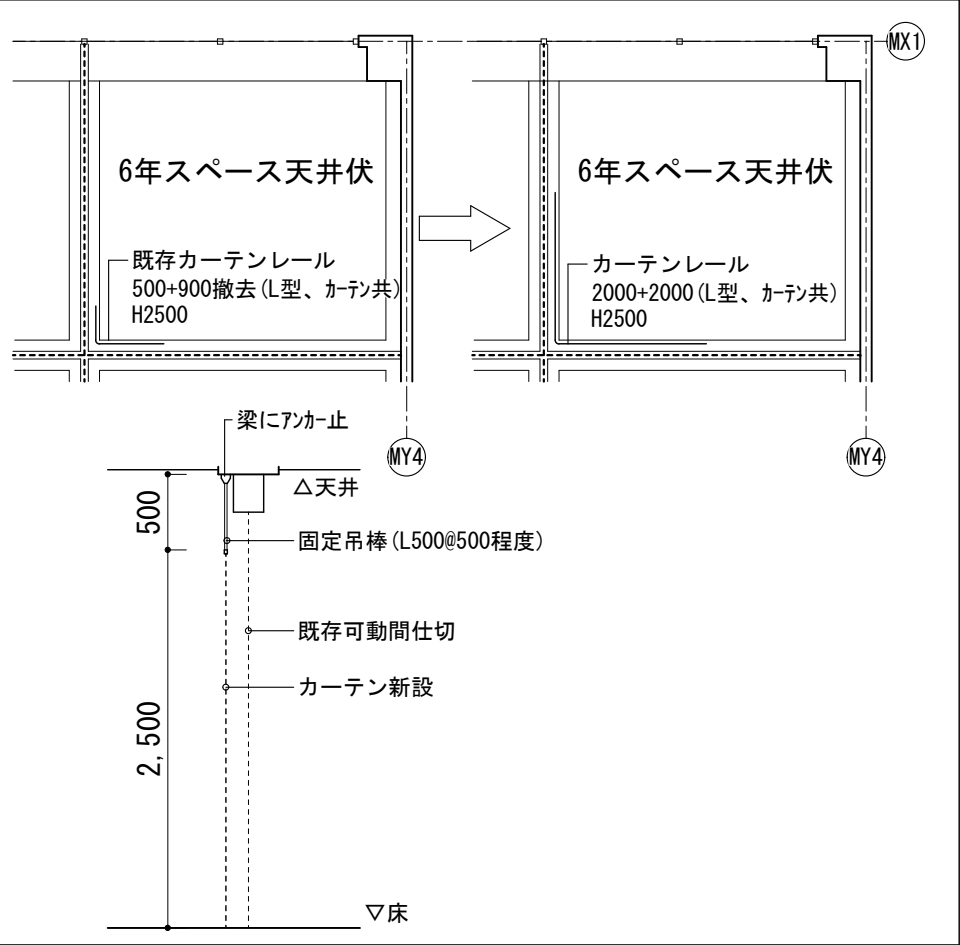


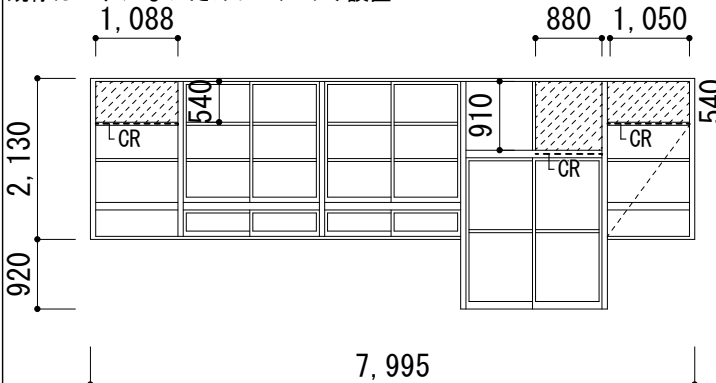
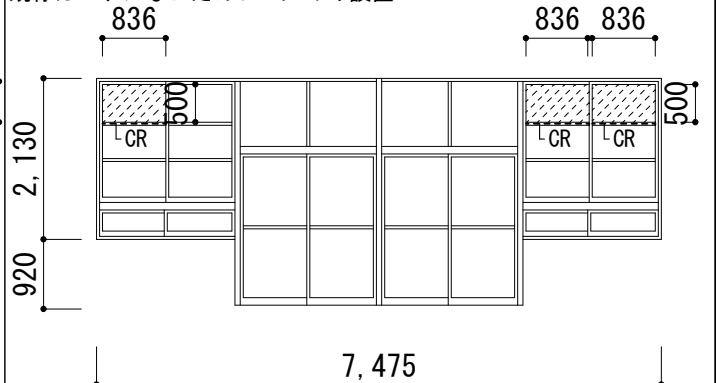
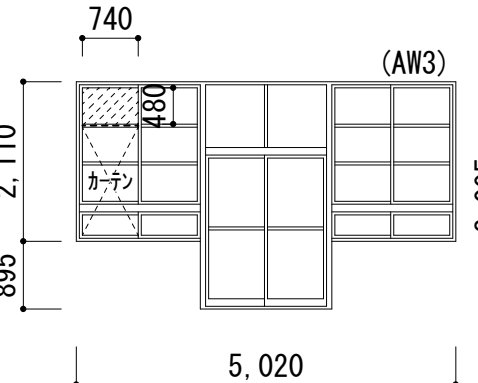
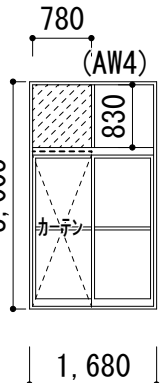
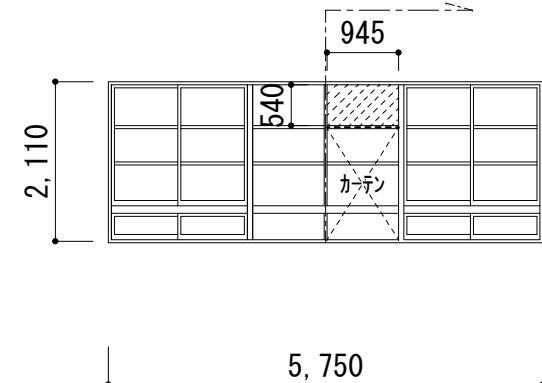












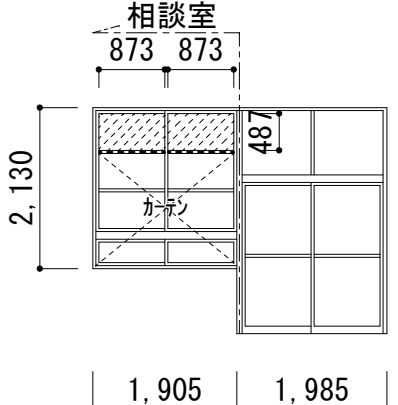
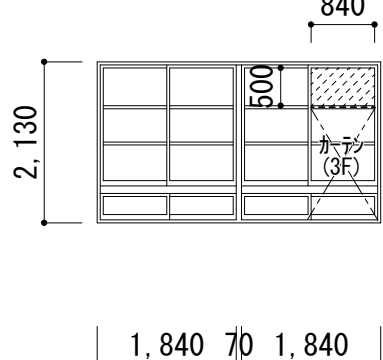
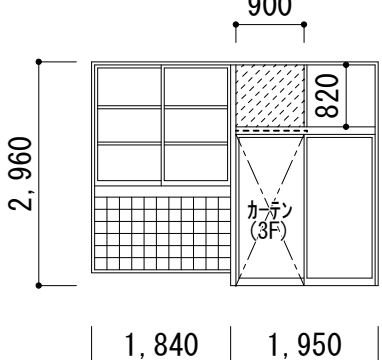
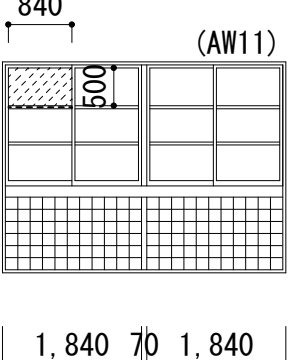
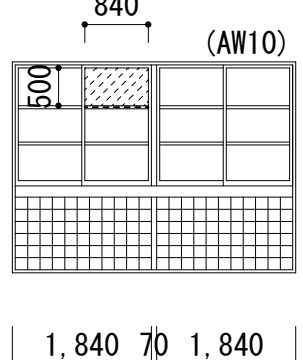
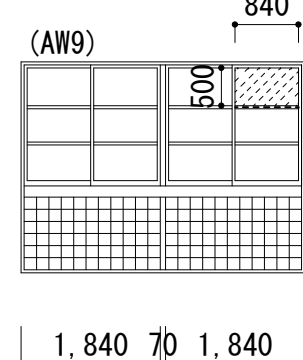












各寸法は参考とし現地状況を確認・協議したもので進める。

コンクリート盤基礎詳細図1/20



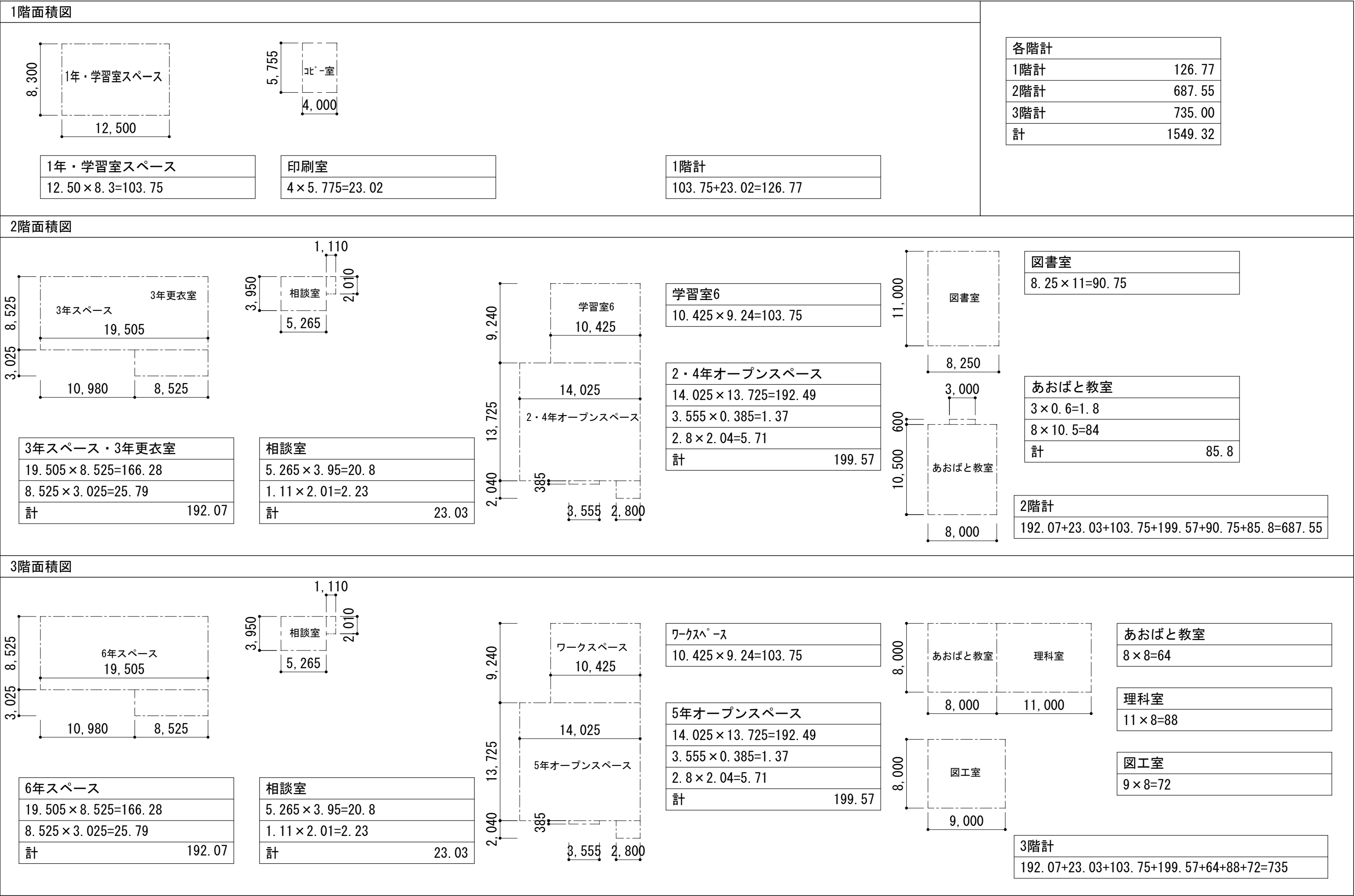
3階6年スペースカーテン詳細図1/50



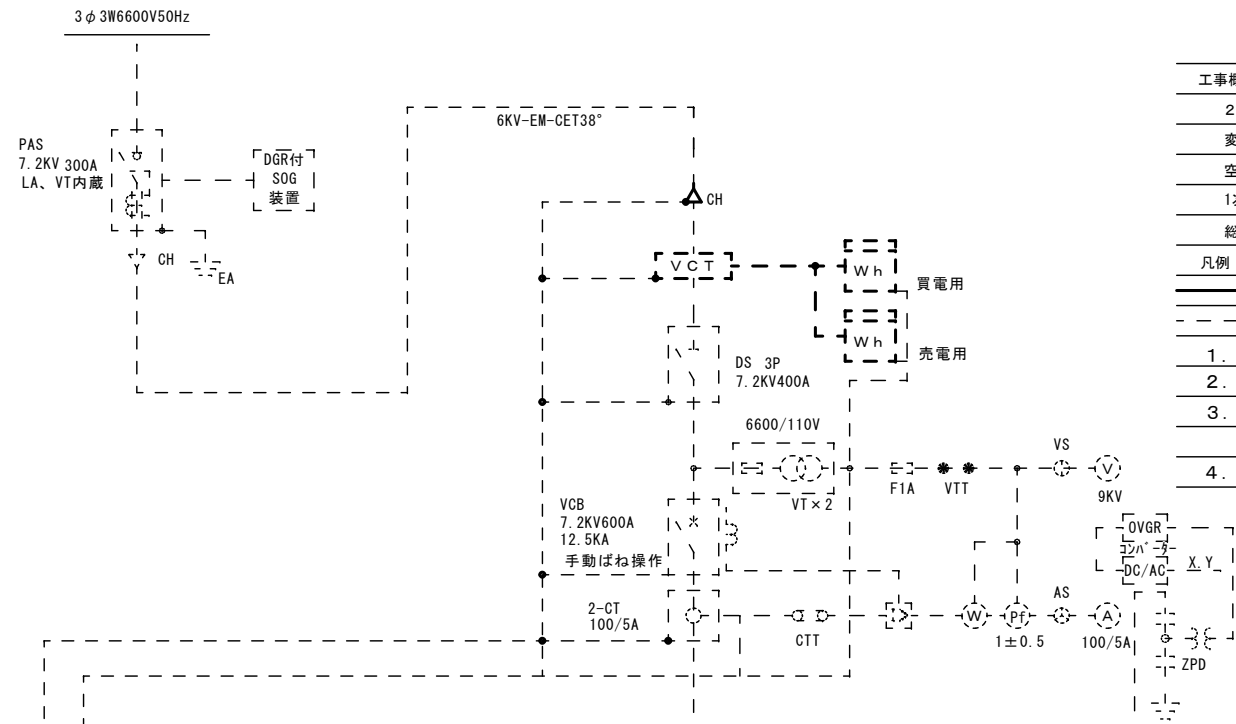
符号	<div><div>AW1</div>アルミ製建具（一部改修）</div>		1か所	<div><div>AW2</div>アルミ製建具（一部改修）</div>		2か所	<div><div>AW3</div><div>AW4</div>アルミ製建具（一部改修）</div>		1か所	<div><div>AW5</div>アルミ製建具（一部改修）</div>		2か所
姿図	<div>既存カーテンないためレールのみ設置</div> 			<div>既存カーテンないためレールのみ設置</div> 			 			<div>3年スペース、6年スペース</div> 		
材料	アルミ製			アルミ製			アルミ製			アルミ製		
場所	1年・学習室スペース			3年スペース、6年スペース			図書室			図書室		
ガラス	 部分既存ガラス撤去			 部分既存ガラス撤去			 部分既存ガラス撤去			 部分既存ガラス撤去		
金物												
備考	 部分アルミパネルt3.0設置			 部分アルミパネルt3.0設置			 部分アルミパネルt3.0設置			 部分アルミパネルt3.0設置		
	----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置			----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置			----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置			----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置		
	 部分カーテン及び遮光カーテン設置			 部分カーテン及び遮光カーテン設置			 部分カーテン及び遮光カーテン設置			 部分カーテン及び遮光カーテン設置		
符号	<div><div>AW6</div>アルミ製建具（一部改修）</div>	2か所	<div><div>AW7</div>アルミ製建具（一部改修）</div>	2か所	<div><div>AW8</div>アルミ製建具（一部改修）</div>	2か所	<div><div>AW9</div><div>AW10</div><div>AW11</div>アルミ製建具（一部改修）</div>			各2か所		
姿図	<div>相談室</div> 			<div>2階は既存カーテンないためレールのみ設置</div> 			<div>2階は既存カーテンないためレールのみ設置</div> 			<div>既存カーテンないためレールのみ設置</div>   		
材料	アルミ製			アルミ製			アルミ製			アルミ製		
場所	相談室（2階、3階）			学習室6、ワークスペース			学習室6、ワークスペース			2・4年オープンスペース、5年オープンスペース		
ガラス	 部分既存ガラス撤去			 部分既存ガラス撤去			 部分既存ガラス撤去			 部分既存ガラス撤去		
金物												
備考	 部分アルミパネルt3.0設置			 部分アルミパネルt3.0設置			 部分アルミパネルt3.0設置			 部分アルミパネルt3.0設置		
	----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置			----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置			----- 部分アルミパネルt3.0設置			----- 部分アルミパネルt3.0設置		
	 部分カーテン及び遮光カーテン設置			 部分カーテン及び遮光カーテン設置			 部分カーテン及び遮光カーテン設置			 部分カーテン及び遮光カーテン設置		

共通事項：パネル位置及び寸法はすべて既存図参考のため現地確認を優先する。

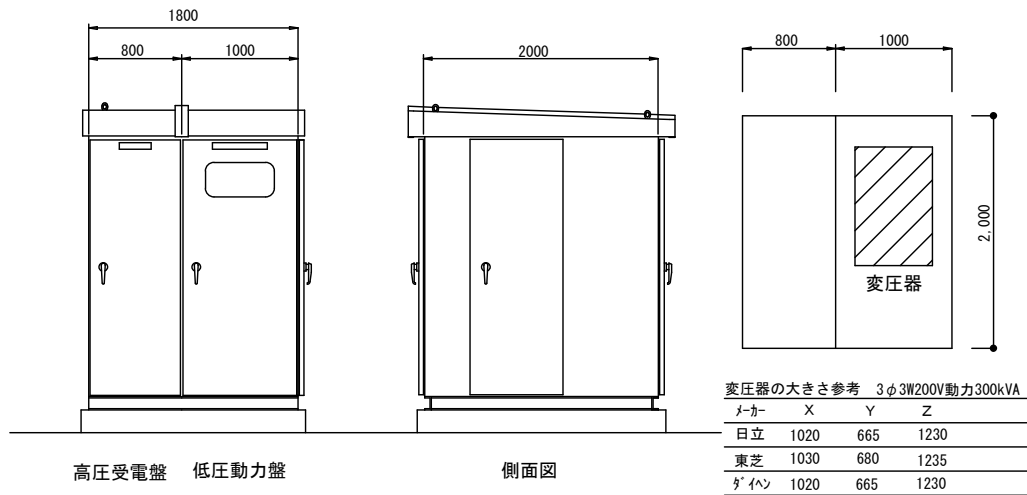
符号	<div><div><div>AW</div><div>12</div></div><div><div>AW</div><div>13</div></div></div> アルミ製建具（一部改修）	各2か所	<div><div><div>AW</div><div>14</div></div></div> アルミ製建具（一部改修）	1か所	<div><div><div>AW</div><div>15</div></div></div> アルミ製建具（一部改修）	1か所	<div><div><div>AW</div><div>16</div></div></div> アルミ製建具（一部改修）	1か所
姿図								
材料	アルミ製		アルミ製 見込100		アルミ製		アルミ製	
場所	2・4年オープンスペース、5年オープンスペース、資料室、倉庫		2階あおばと教室		3階あおばと教室		理科室	
ガラス	部分既存ガラス撤去		部分既存ガラス撤去→一部強化ガラスt4改修		部分既存ガラス撤去		部分既存ガラス撤去→一部強化ガラスt4改修	
金物								
備考	部分アルミパネルt3.0設置		部分アルミパネルt3.0設置		部分アルミパネルt3.0設置		部分アルミパネルt3.0設置	
	----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置		----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置		----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置		----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置	
	部分カーテン及び遮光カーテン設置		部分カーテン及び遮光カーテン設置		部分カーテン及び遮光カーテン設置		部分カーテン及び遮光カーテン設置	
符号	<div><div><div>AW</div><div>17</div></div></div> アルミ製建具（一部改修）	1か所	<div><div><div>AW</div><div>18</div></div></div> アルミ製建具（一部改修）	1か所				
姿図								
材料	アルミ製		アルミ製					
場所	相談室（2階、3階）		図工室					
ガラス	部分既存ガラス撤去		部分既存ガラス撤去					
金物								
備考	部分アルミパネルt3.0設置		部分アルミパネルt3.0設置					
	----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置		----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置					
	部分カーテン及び遮光カーテン設置		部分カーテン及び遮光カーテン設置					



工 事 名 称		特記仕様書								
大磯小学校特別教室等空調設備整備工事		(令和 8年 1月作成)								
I 工 事 概 要		1 工 事 場 所								
		中郡大磯町東小磯3番地								
2 建 物 名 称		構 造	階数（地下・塔屋）							
大磯町立大磯小学校		R C	地上3階建て							
3 延面積（㎡）		消防令別表第1								
		7 項								
4 備 考										
3 工 事 種 目		1) 屋内電気設備								
		●受変電設備 ○発電設備 ○静止電源設備 ●動力設備 ●電灯設備 ○構内交換設備 ○時計・拉声設備 ●自動火災報知設備 ○雷保護設備 ○誘導支援設備 ○呼出設備 ○テレビ共同受信設備 ○監視カメラ設備 ○中央監視制御設備 ○ ○ ○								
		2) 屋外電気設備								
		○屋外配電線路設備○屋外通信線路設備○発電設備工事 ●接地								
II 工 事 仕 様		1 共通仕様								
		1) 現場説明書、図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、次の仕様書を適用する。 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（最新版） 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（最新版） 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（最新版） 2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの 工事仕様書を適用する。								
		2 特記仕様								
		次の表のとおりとし、章は●印の付いたもの、特記事項は●印の付いたものを適用する。								
章 項 目		特 記 事 項								
● 一 般	1 機 材	●本工事に使用する機材は、設計図書で規定されている仕様を満足し、環境負荷を配慮したものとする。								
	2 監督員事務所	○別途工事に設ける ○設けない								
	3 工事用電力、給水、その他	○本工事に要する工事用電力、給水等の費用は、完成引き渡しまで基本料金を含め請負者の負担とする。								
	4 官庁手続き	●官公署等への諸手続き、各種検査などの費用は請負者の負担とする。								
	5 本設電気の基本料金	工事完成引き渡しまでの工事に係る本設電気の基本料金は本工事に含まれていない ○含まれている								
	6 施 工 調 査	○改修工事の場合は、施工箇所の調査を行うものとし、その方法・範囲は改修工事標準仕様書によるほか、別途指示する。								
	7 工事用仮設物等	構内に設けることが ○できる ○できない								
	8 足場、さん橋類	●別契約の関係請負者が設置したものは、無償で使用できる。								
		○本工事で設置する。								
		○改修標準仕様書第1編2.1.2によるほか下記による。								
		○内部仮設足場等（○ 種 ○ 種）								
		○外部仮設足場等（○ 種 ○ 種）								
	9 発生材の処理	引き渡しを要するもの ○あり ○なし								
		特別管理産業廃棄物 ○あり ○なし								
		再資源化を図るもの ○あり ○なし								
共	10 再資源の利用	再資源の利用を行うもの ○あり ○なし								
	11 残 土 処 分	○構内敷きならし ○指定処分地へ搬入								
	12 工 事 写 真	●別途指示する。								
	13 引き渡し関係書類及び付属品	●別途指示する。								
	14 提出書類の様式	●別途指示する。								
	15 耐 震 処 理	●設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」（国土交通省国土技術政策総合 研究所・独立行政法人建築研究所監修）による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。								
		●地域係数（Z）は1、設計用標準震度（Ks）は下表とする。								
		<table border="1"> <tr> <th>設置場所</th><th>上層階、屋上及び塔屋</th><th>2階床以上</th><th>地階及び1階</th></tr> <tr> <td>標準震度</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td></tr> </table>		設置場所	上層階、屋上及び塔屋	2階床以上	地階及び1階	標準震度	2.0	1.5
設置場所	上層階、屋上及び塔屋	2階床以上	地階及び1階							
標準震度	2.0	1.5	1.5							
	●設計用垂直地震力は、設計用水平地震力に1／2を乗じたものとする。									
16 V O C 測 定	○本工事にて行う（ 箇所） ○別途工事にて行う									
17 電気工作物	●一般用電気工作物 ●自家用電気工作物									
18 電気管理体制	○委託主任技術者の管理 ○現場に配置しない									
19 電気保安技術者	○現場に配置して工事部分の保安業務を行う ○現場に配置しない									
20 施工従事者	●最大電力500KW以上の場合においても、第一種電気工事士により施工する。									
21 電線、ケーブル	●原則として全てエコ電線、エコケーブルを用いる。									
22 ボックス類	●ブルボックスの蓋で、一辺の長さが800mmを超えるものは、原則として両引きスライド式とする。									
事		●随べい部に設けるブルボックスの蓋のとめねじは、原則として蝶ねじとする。								
		●接地が必要なブルボックスには接地端子座を設ける。								
		●結露の恐れのある外壁にやむを得ずボックスを埋め込む場合は、結露防止断熱カバーを取り付け、電線入線部はシリコン系コーキング材を充填する。								
	23 P F 管	●P F管の場合、コンクリートに埋設する位置ボックス類は金属製とする。								
	24 プ レ ー ト 類	○特記の無いプレート類は（○新金属製 ○樹脂製 ○ステンレス製）とする。								
	25 表 示	●ブルボックス及びジョイントボックス等のカバープレートには印字テープ等で用途名を表示する。								
		●取り外し再使用機器は、清掃、絶縁測定のうち取り付ける。								
	26 再使用機器	○屋外 ○屋内（○図面で指定する部分 ○機械室、E P S 以外の全ての部分）								
	27 塗装を行う	●全て塗装しない								

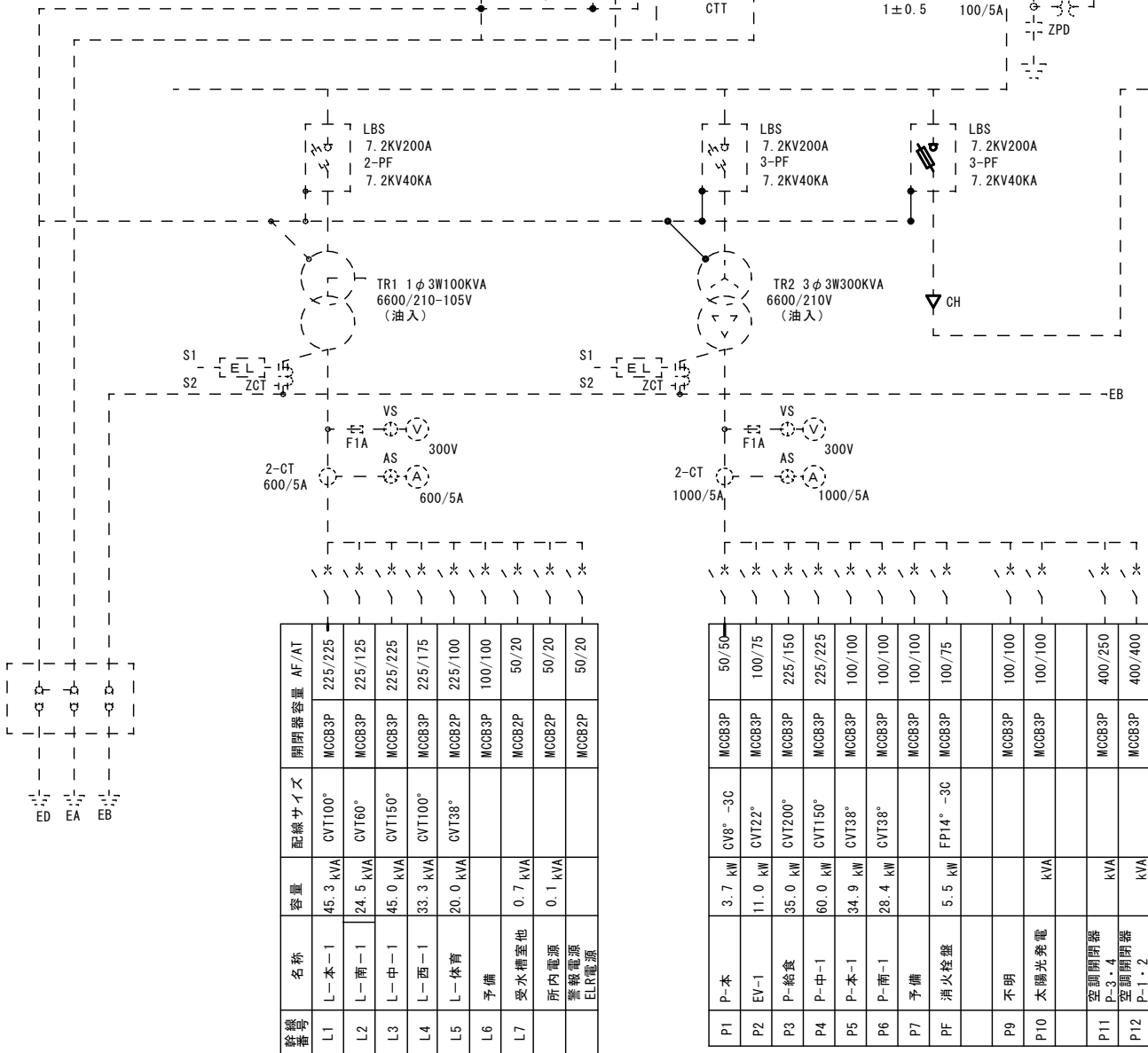


工事概要	
2次変電設備内	動力変圧器150kVAを撤去し 動力変圧器300kVAを新設する。
変圧器改修に伴い電線・変流器・電流計・限流ヒューズ等	取替を行う。
空調用配線用遮断器の新設を行う。	換気扇を取り付ける。
1次側変電設備内	変圧器改修に伴い機器等の 取替を行う。
総合試験一式を行う。	
凡例	
———	改修対象機器類を示す。
- - - - -	既設 対象外機器類を示す。
1. 耐震仕様は特記仕様書による	
2. 「高圧危険」等の表示板の取付をおこなう。	
3. 総容量 700kVA 東京電力 契約電力 385kW	
消防設備 申請設備容量 525kW	
4. 10形消火器（ステンレス箱入り）の設置を行う。	



既設箱体

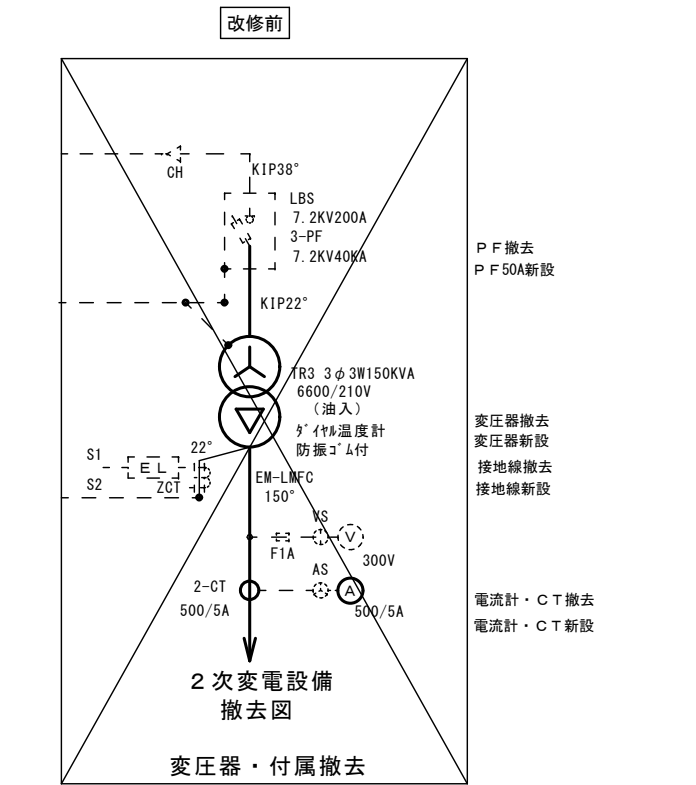
平面図



既設

受変電設備単線結線図

## 大磯小学校特別教室等空調設備整備工事



凡例

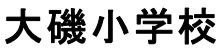
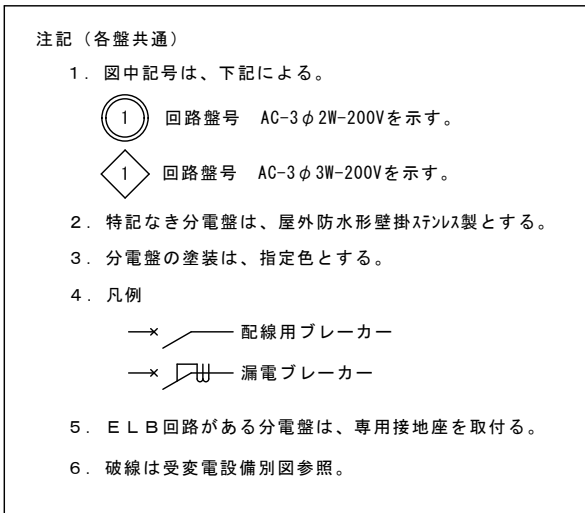
記号	名称	備考
PAS	高圧区分開閉器	
CH	ケーブルヘッド	
VCT	計器用変圧変流器	
DS	断路器	
PF	電力ヒューズ	
VCB	真空遮断器	手動操作
LBS	高圧気中負荷開閉器	相間バリアー付
CT	計器用変流器	
VT	計器用変圧器	
ZCT	零相変流器	
CTT	電圧試験用端子	
VTT	電圧試験用端子	
V	電圧計	

A	電流計	
W	電力計	
COS	力率計	
Wh	電力量計	
DGR	方向地絡継電器	
OCR	過電流継電器	
LGR	低圧地絡継電器	
TH	サーマルリレー	
t°	ダイヤル温度計	
T	変圧器	
C	進相コンデンサ	
SR	直列リアクトル	
ZPD	零相電圧検出コンデンサ	
MCCB	配線用遮断器	

変電設備単線結線図

E-02

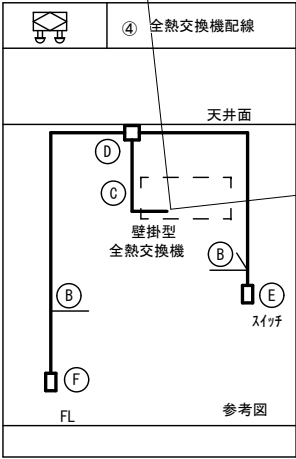
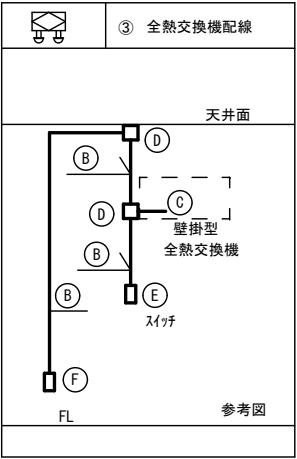
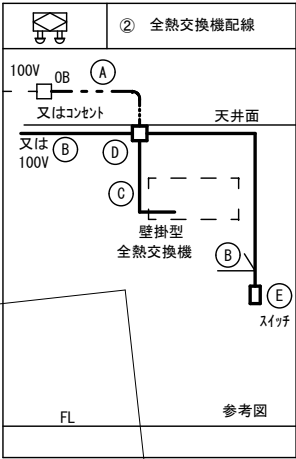
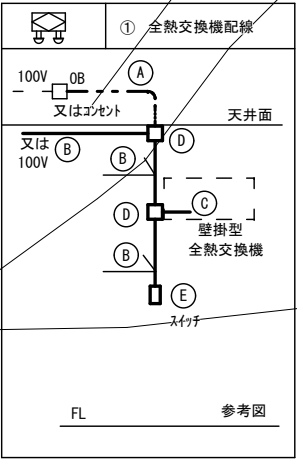
1/NS



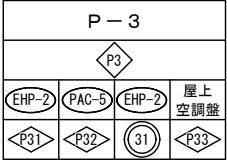
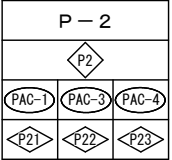
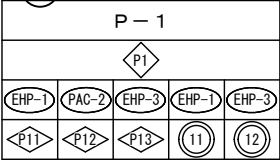
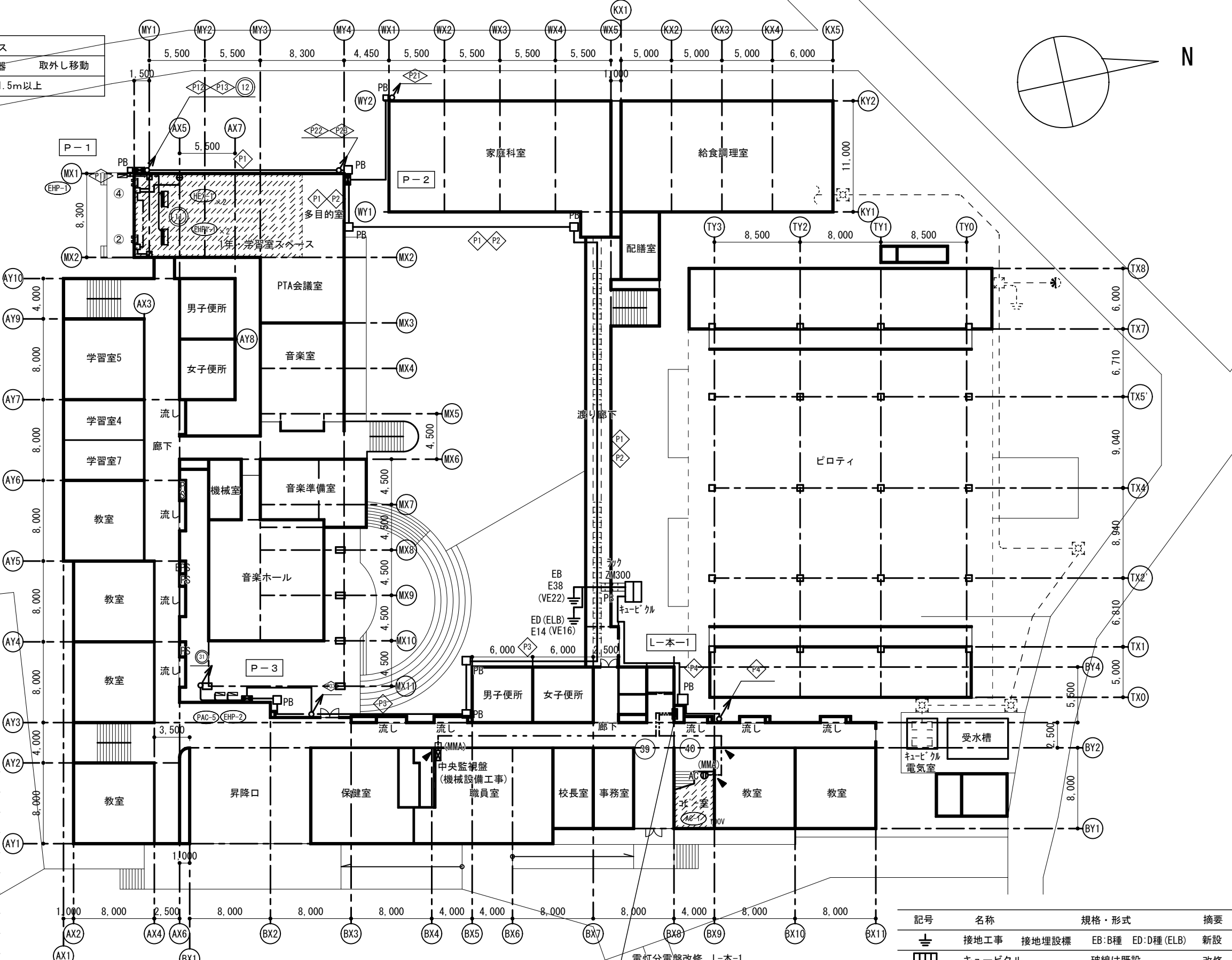


凡例		
記号	名称	規格・形式
(A)	EEF1.6-3C(天井内)	
(B)	EEF1.6-3C(MMA)	メタルA型
(C)	CE1.25°-3C(MMA)	メタルA型
(D)	□ コーナ・ジ'ヤンション'ックス	
(E)	☑ 全熱交換機スイッチ (1個用スイッチ'ックス)	
(F)	⊖ 既設コンセント撤去 壁	
	新設コンセント2P15A×2 (1個用スイッチ'ックス)	
	既設コンセント撤去 天井 新設コンセント2P15A抜止×1	

○1年・学習スペース	
火災報知熱感知器	取外し移動
空調機吹出より1.5m以上	



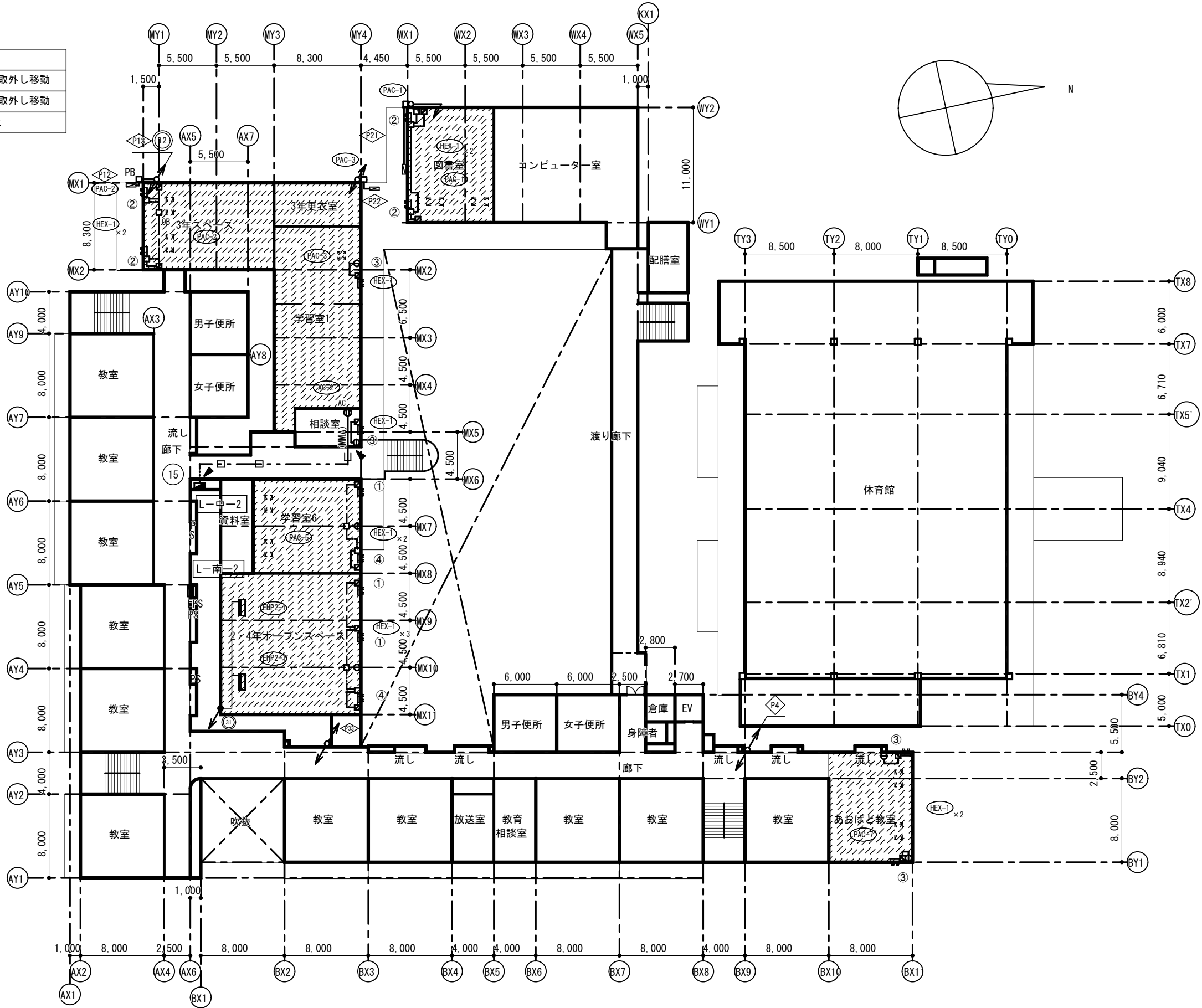
凡例		
記号	名称	規格・形式
■	電灯分電盤	
■	動力分電盤	
□ PB	フルボックス	屋外設置はステンレス防水形
▼	はつり補修	
Ⓜ AC	埋込コンセント2P15AEET	(MMA1個用スイッチ'ックス)
—	露出配管配線	
- - -	地中埋設配管配線	
- - -	天井隠蔽配線	二重天井内配線は、ケーブル工事とする。
—	ケーブル露出部分はメタルまたは鋼管で保護する。	
(EHP系統) 屋内機配線はEM-EEF1.6-3C冷媒共巻とする。		
EHP'ヤンション部分は保護管'カを使用する。		
室外機配線は分電盤結線図を参照		



電灯分電盤改修	L-本-1
37 電気温水器	ELCB2P50/20AT 撤去
38 電気温水器	ELCB2P50/20AT 撤去
37 電気温水器	ELCB2P50/20AT 新設
38 電気温水器	ELCB2P50/20AT 新設
39 中央監視	ELCB2P50/20AT 新設
40 AC-1空調機	ELCB2P50/20AT 新設

記号	名称	規格・形式	摘要
Ⓜ	接地工事	接地埋設標	EB:B種 ED:D種 (ELB) 新設
■	キュービクル	破線は既設	改修
□ HH	ハンドホール	破線は既設	既設

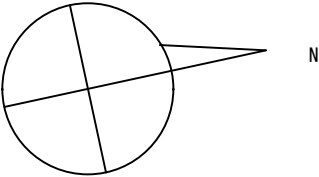
○3年スペース	
火災報知熱感知器×1	取外し移動
火災報知煙感知器×1	取外し移動
空調機吹出より1.5m以上	



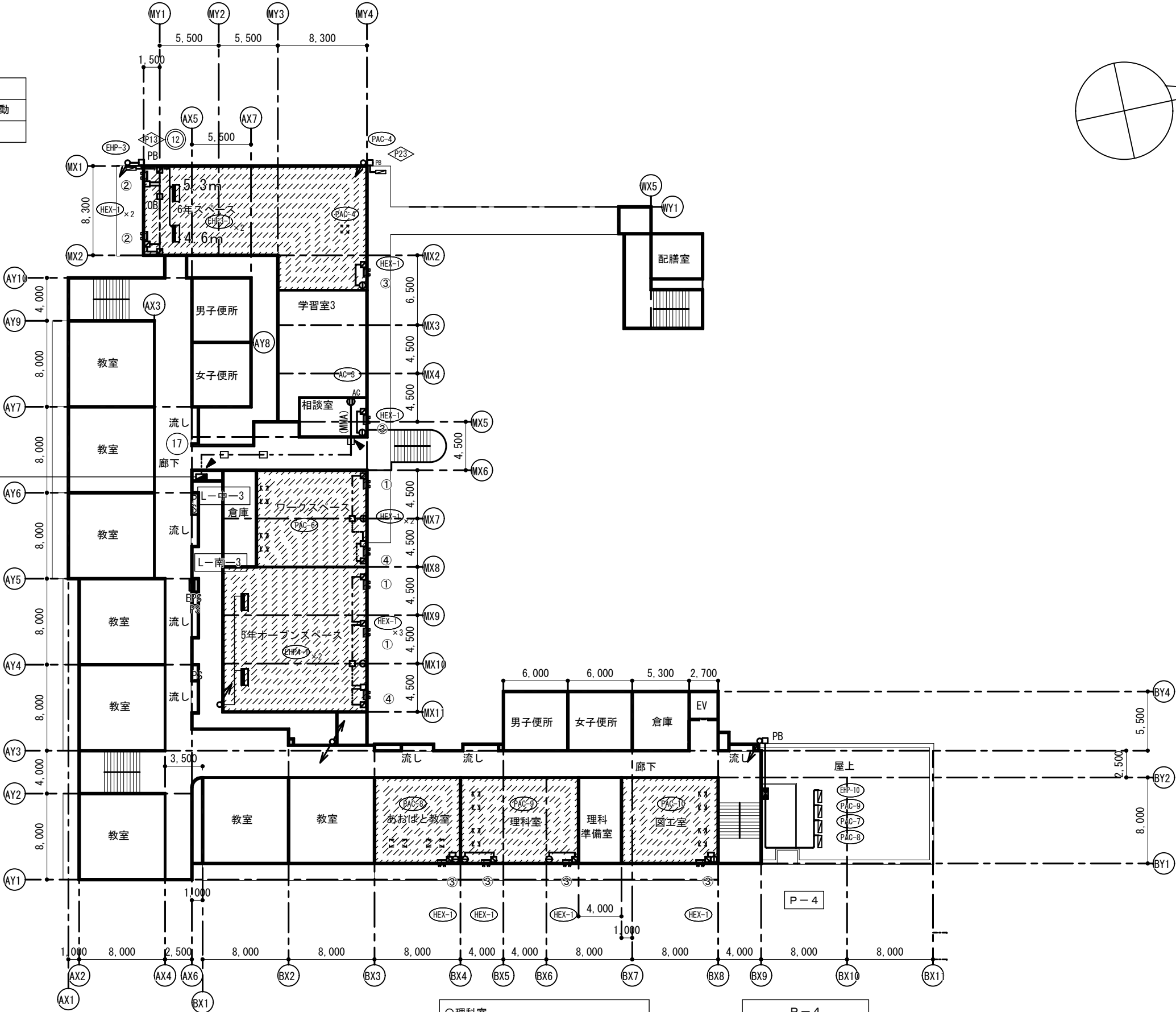

大磯小学校特別教室等空調設備整備工事

図面名称 2階平面図		図面番号 E-05	
縮尺 1/400	製図 ● ● ● ●	設計 ● ● ● ●	監査 ● ● ● ●

○6年スペース
火災報知熱感知器×1 取外し移動
空調機吹出より1.5m以上



電灯分電盤改修 L-中-3  
⑰ 中央監視 ELCB2P50/20AT 新設

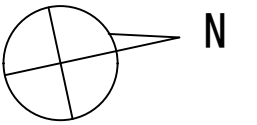
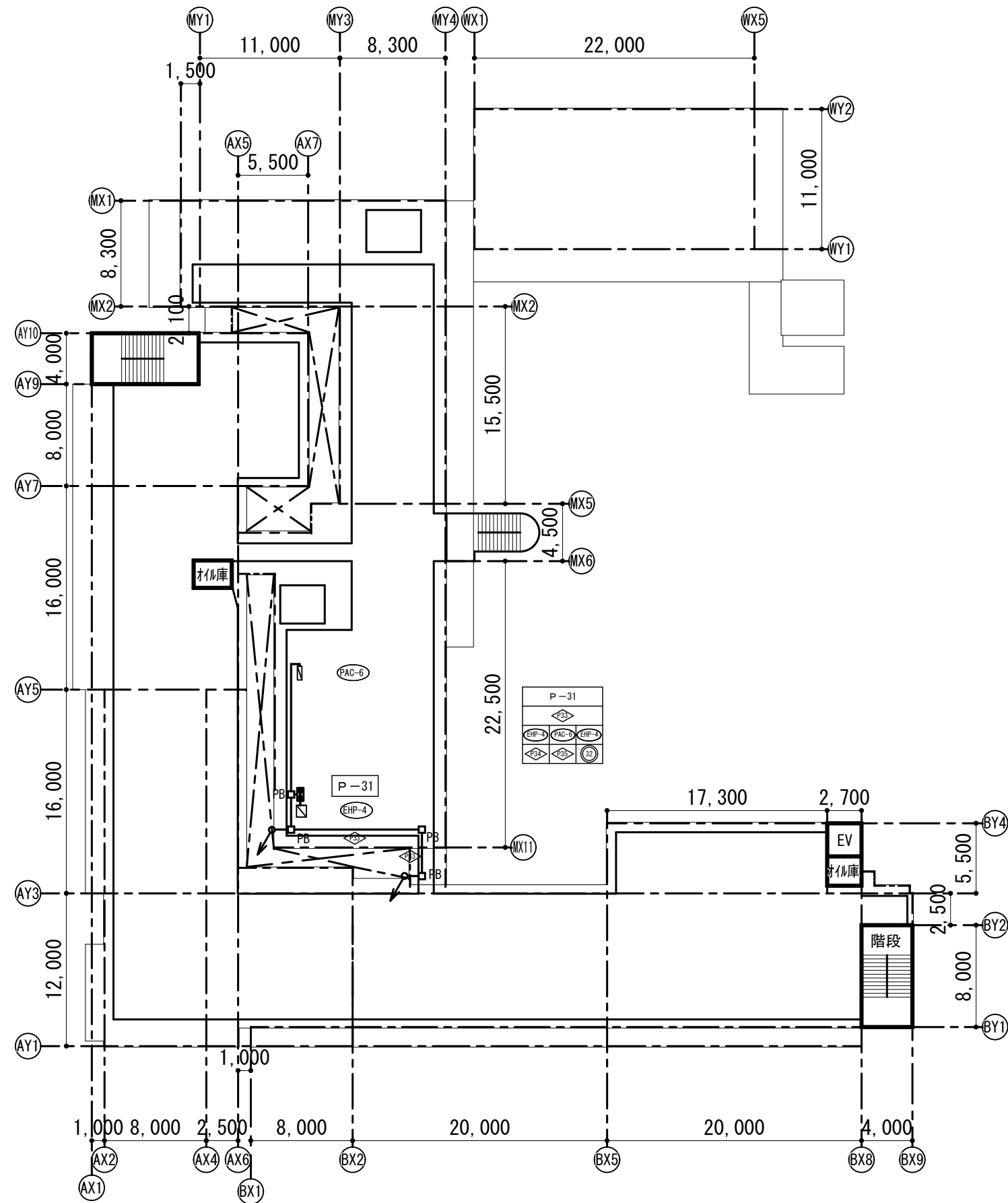


○理科室
火災報知熱感知器×1 取外し移動
空調機吹出より1.5m以上

P-4			
◇P4			
EHP-7	PAC-8	PAC-9	EHP-10
◇P41	◇P42	◇P43	◇P44


大磯小学校特別教室等空調設備整備工事

図面名称 3階平面図		設計		図面番号 E-06	
縮尺 1/400	製図	検閲		設計	





空調機器表

機器番号	機器名称 (系統名)	型式	室外機										室内機													非常電源	インターロック・連動	遠方			冷媒配管 ガス・液	コンクリート基礎	防振装置 G:ゴム S:スリット P:ゴム付	(型式)備考	
			設置階	台数	冷房能力 KW/H	吸込空気温度	暖房能力 KW/H	吸込空気温度	送風機 (下段ファン・ヒーター) KW	圧縮機	電源		起動方式	設置階	台数	冷房能力 KW/H	吸込空気温度	暖房能力 KW/H	吸込空気温度	送風機			ヒーター	電源				起動方式	外気量 m³/h	加湿量 kg/h					フィルター
											相φ	電圧V								送風量 m³/h	機外静圧 Pa	出力 W		相φ	電圧V										
EHP-1	南西オプンスペース系統空調機1	マチマルチ空調機屋外機 (塩害仕様・7タイプ・フィルター付)	屋外(1F)	1	31.5	JIS	31.5	JIS	0.26×2	9.87×1	3	200	直入	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.4φ-12.7φ	200	S	参考型番 (ﾀｲﾌﾟ): RXTA335A相当 1100W*360D*1615H 165kg		
EHP1-1	1階/1年学習室スペース空調機	天吊1方向屋内機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	14.0	JIS	16.0	JIS	1,710	-	300	-	1	200	直入	-	-	メーカー標準	-	-	15.88φ-9.52φ	-	G	参考型番 (ﾀｲﾌﾟ): FXYHA140AA相当 1550W*690D*235H 44kg	
EHP-2	南東オプンスペース系統空調機1	マチマルチ空調機屋外機 (塩害仕様・7タイプ・フィルター付)	屋外(1F)	1	31.5	JIS	31.5	JIS	0.26×2	9.87×1	3	200	直入	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.4φ-12.7φ	200	S	参考型番 (ﾀｲﾌﾟ): RXTA335A相当 1100W*360D*1615H 165kg		
EHP2-1	2階/2・4年スペース空調機1	天吊1方向屋内機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	14.0	JIS	16.0	JIS	1,710	-	300	-	1	200	直入	-	-	メーカー標準	-	-	15.88φ-9.52φ	-	G	参考型番 (ﾀｲﾌﾟ): FXYHA140AA相当 1550W*690D*235H 44kg	
EHP-3	南西オプンスペース系統空調機2	マチマルチ空調機屋外機 (塩害仕様・7タイプ・フィルター付)	屋外(3F)	1	31.5	JIS	31.5	JIS	0.26×2	9.87×1	3	200	直入	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.4φ-12.7φ	200	S	参考型番 (ﾀｲﾌﾟ): RXTA335A相当 1100W*360D*1615H 165kg		
EHP3-1	3階/6年スペース空調機1	天吊1方向屋内機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	14.0	JIS	16.0	JIS	1,710	-	300	-	1	200	直入	-	-	メーカー標準	-	-	15.88φ-9.52φ	-	G	参考型番 (ﾀｲﾌﾟ): FXYHA140AA相当 1550W*690D*235H 44kg	
EHP-4	南東オプンスペース系統空調機2	ビル用マルチ空調機屋外機 (塩害仕様・7タイプ・フィルター付)	屋外(RF)	1	33.5	JIS	37.5	JIS	1.03×1	11.1×1	3	200	直入	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22.2φ-12.7φ	200	S	参考型番 (ﾀｲﾌﾟ): RXYA335A相当 930W*765D*1660H 223kg		
EHP4-1	3階/5年学習スペース空調機	天吊1方向屋内機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	16.0	JIS	18.0	JIS	1,860	-	300	-	1	200	直入	-	-	メーカー標準	-	-	15.88φ-9.52φ	-	G	参考型番 (ﾀｲﾌﾟ): FXYHA160AA相当 1550W*690D*235H 44kg	
PAC-1	2階/図書室空調機 (ツイン型)	天吊1方向屋内機 (塩害仕様)	屋外(2F)	1	20.0	JIS	22.4	JIS	0.227+0.227	4.52	3	200	直入	2	2	10.0	JIS	11.2	JIS	1,440	-	150	-	-	-	-	-	メーカー標準	-	-	(15.9φ-9.5φ) ×2 25.4φ-9.52φ	200	P	参考型番 (ﾀｲﾌﾟ): SSRH224C (N)D相当 外)940W*320D*1,430H 123kg 内)1,590W*690D*235H 40kg	
PAC-2	2階/南西3年スペース空調機1 (ツイン型)	天吊1方向屋内機 (塩害仕様・7タイプ・フィルター付)	屋外(2F)	1	25.0	JIS	28.0	JIS	0.227+0.227	5.90	3	200	直入	2	2	12.5	JIS	14.0	JIS	1,680	-	150	-	-	-	-	-	メーカー標準	-	-	(15.9φ-9.5φ) ×2 25.4φ-12.7φ	200	P	参考型番 (ﾀｲﾌﾟ): SSRH280C (N)D相当 外)940W*320D*1,430H 123kg 内)1,590W*690D*235H 40kg	
PAC-3	2階/南西3年スペース空調機2 (ペア型)	天吊4方向屋内機 (塩害仕様)	屋外(2F)	1	12.5	JIS	14.0	JIS	0.11+0.11	2.36	3	200	直入	2	1	12.5	JIS	14.0	JIS	1,590	-	106	-	-	-	-	-	メーカー標準	-	-	15.9φ-9.5φ	200	P	参考型番 (ﾀｲﾌﾟ): SSRU140C (N)相当 外)940W*320D*1,430H 123kg 内)950W*950D*198H 40kg	
PAC-4	3階/南西6年スペース空調機2 (ペア型)	天吊4方向屋内機 (塩害仕様)	屋外(3F)	1	12.5	JIS	14.0	JIS	0.11+0.11	2.36	3	200	直入	3	1	12.5	JIS	14.0	JIS	1,590	-	106	-	-	-	-	-	メーカー標準	-	-	15.9φ-9.5φ	200	P	参考型番 (ﾀｲﾌﾟ): SSRU140C (N)相当 外)940W*320D*1,430H 123kg 内)950W*950D*198H 40kg	
PAC-5	2階/南東学習室6空調機 (ツイン型)	天吊1方向屋内機 (塩害仕様)	屋外(1F)	1	20.0	JIS	22.4	JIS	0.227+0.227	4.52	3	200	直入	2	2	10.0	JIS	11.2	JIS	1,440	-	150	-	-	-	-	-	メーカー標準	-	-	(15.9φ-9.5φ) ×2 25.4φ-9.52φ	200	P	参考型番 (ﾀｲﾌﾟ): SSRH224C (N)D相当 外)940W*320D*1,430H 123kg 内)1,590W*690D*235H 40kg	
PAC-6	3階/南東ワークスペース空調機 (ツイン型)	天吊1方向屋内機 (塩害仕様)	屋外(RF)	1	20.0	JIS	22.4	JIS	0.227+0.227	4.52	3	200	直入	3	2	10.0	JIS	11.2	JIS	1,440	-	150	-	-	-	-	-	メーカー標準	-	-	(15.9φ-9.5φ) ×2 25.4φ-9.52φ	200	P	参考型番 (ﾀｲﾌﾟ): SSRH224C (N)D相当 外)940W*320D*1,430H 123kg 内)1,590W*690D*235H 40kg	
PAC-7	2階/あおばと教室空調機 (ツイン型)	天吊1方向屋内機 (塩害仕様)	屋外(3F)	1	20.0	JIS	22.4	JIS	0.227+0.227	4.52	3	200	直入	2	2	10.0	JIS	11.2	JIS	1,440	-	150	-	-	-	-	-	メーカー標準	-	-	(15.9φ-9.5φ) ×2 25.4φ-9.52φ	200	P	参考型番 (ﾀｲﾌﾟ): SSRH224C (N)D相当 外)940W*320D*1,430H 123kg 内)1,590W*690D*235H 40kg	
PAC-8	3階/あおばと教室空調機 (ツイン型)	天吊1方向屋内機 (塩害仕様)	屋外(3F)	1	14.0	JIS	16.0	JIS	0.11+0.11	2.83	3	200	直入	3	2	7.1	JIS	8.0	JIS	1,080	-	91	-	-	-	-	-	メーカー標準	-	-	(15.9φ-9.5φ) ×2 15.9φ-9.52φ	200	P	参考型番 (ﾀｲﾌﾟ): SSRH160C (N)D相当 外)940W*320D*1,430H 90kg 内)1,270W*690D*235H 31kg	
PAC-9	3階/理科室空調機 (ツイン型)	天吊1方向屋内機 (塩害仕様)	屋外(3F)	1	20.0	JIS	22.4	JIS	0.227+0.227	4.52	3	200	直入	3	2	10.0	JIS	11.2	JIS	1,440	-	150	-	-	-	-	-	メーカー標準	-	-	(15.9φ-9.5φ) ×2 25.4φ-9.52φ	200	P	参考型番 (ﾀｲﾌﾟ): SSRH224C (N)D相当 外)940W*320D*1,430H 123kg 内)1,590W*690D*235H 40kg	
PAC-10	3階/図工室空調機 (ツイン型)	天吊1方向屋内機 (塩害仕様)	屋外(3F)	1	20.0	JIS	22.4	JIS	0.227+0.227	4.52	3	200	直入	3	2	10.0	JIS	11.2	JIS	1,440	-	150	-	-	-	-	-	メーカー標準	-	-	(15.9φ-9.5φ) ×2 25.4φ-9.52φ	200	P	参考型番 (ﾀｲﾌﾟ): SSRH224C (N)D相当 外)940W*320D*1,430H 123kg 内)1,590W*690D*235H 40kg	
AC-1	1Fコピー室空調機 (屋外機壁掛けラット付)	ルームエアコン 壁掛け型屋内機	屋外(1F)	1	2.2	JIS	2.5	JIS	-	0.60	-	-	-	1	1	2.2	JIS	2.5	JIS	-	-	-	-	1	100	コンセント	-	-	メーカー標準	-	-	9.52φ-6.35φ	200	G	参考型番 (ﾀｲﾌﾟ): S224ATGS相当 外)873W*300D*595H 38kg 内)798W*272D*295H 11kg
AC-2	2F相談室空調機 (屋外機壁掛けラット付)	ルームエアコン 壁掛け型屋内機	屋外(2F)	1	2.2	JIS	2.5	JIS	-	0.60	-	-	-	2	1	2.2	JIS	2.5	JIS	-	-	-	-	1	100	コンセント	-	-	メーカー標準	-	-	9.52φ-6.35φ	200	G	参考型番 (ﾀｲﾌﾟ): S224ATGS相当 外)873W*300D*595H 38kg 内)798W*272D*295H 11kg
AC-3	3F相談室空調機 (屋外機壁掛けラット付)	ルームエアコン 壁掛け型屋内機	屋外(3F)	1	2.5	JIS	2.6	JIS	-	0.75	-	-	-	3	1	2.5	JIS	2.8	JIS	-	-	-	-	1	100	コンセント	-	-	メーカー標準	-	-	9.52φ-6.35φ	200	G	参考型番 (ﾀｲﾌﾟ): S254ATGS相当 外)873W*300D*595H 38kg 内)798W*272D*295H 11kg
ITC-1	中央監視盤	インテリジェントタッチコントローラー											職員室	1												19w	1	100						参考型番 (ﾀｲﾌﾟ): DCL401B1相当	

換気機器表

機器番号	機 器 名 称 〔 系 統 名 〕	設 置 階	台 数	機器仕様					電動機（５０ＨＺ）					インター ロック・連動	遠 方			運 転 方 法 （電気工事）	防振装置 G：ゴム S：ｽﾘｯﾌﾟ P：ｺﾞﾑ付	備 考 （参考型番）		
				型 式	消音 ボックス 付	据 手	番 手	風量 m³／h	静圧 Pa	動力 （参考値） W	相 φ	電圧 V	極 数 P		起 動 方 式	非常 電源	発 停				連 転 故 障 表 示	警 報
HEX-1	空 調 換 気 扇	1	2	壁掛型全熱交換器	—	壁	75φ <sub>x2</sub>	75	30	33.0	1	100	—	直 入	—	—	○	○	○	㊦	—	（三菱：VL-16EU3相当） 24時間スイッチ付
			2	13																		
			3	13																		

(電気工事へ支給)  
⑦: ワイヤードリモコン ※HEXには1対1でワイヤードリモコン付とする。

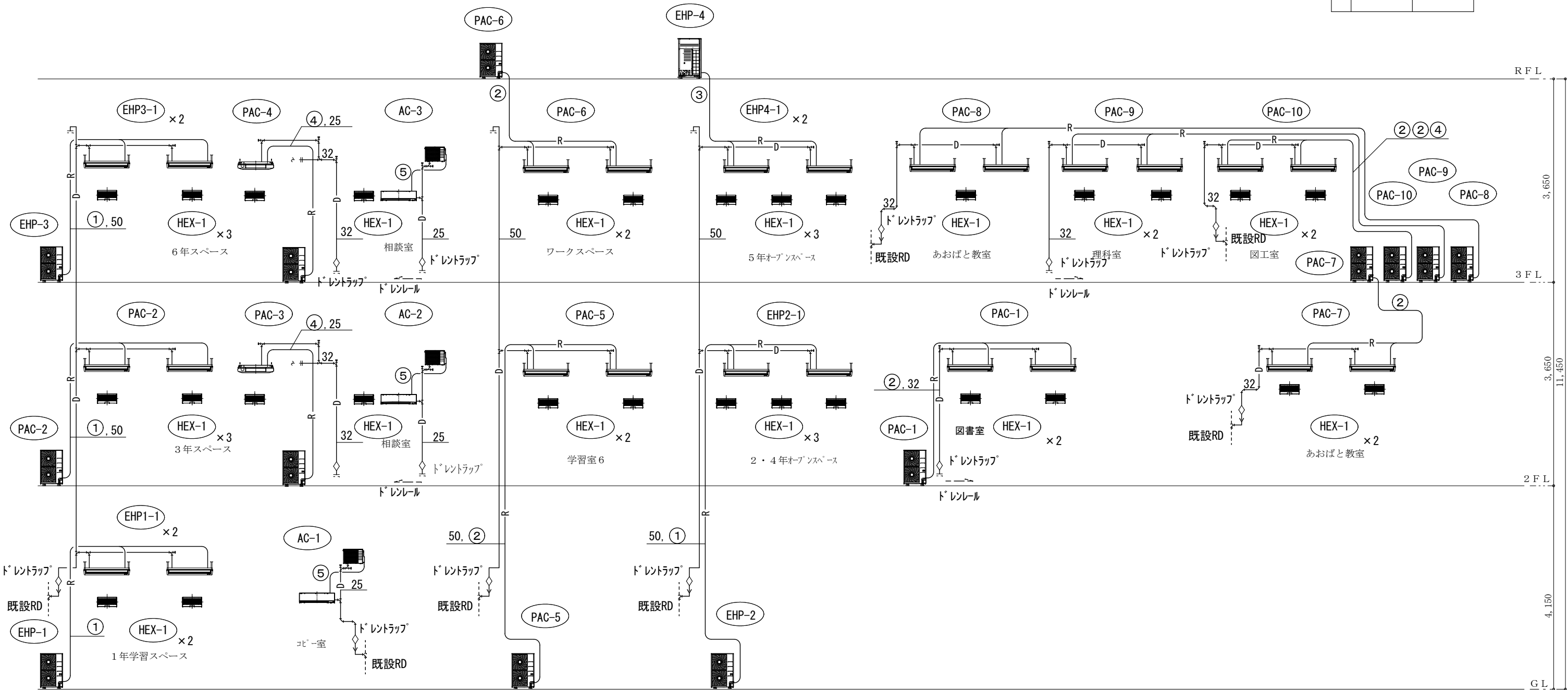
※全ての空調屋内機はインテリジェントコントローラーに接続可能なﾀﾞｲﾔﾞﾞﾀﾞｰを付属とする。  
※EHP屋内機には1対1でワイヤードリモコン付とする。  
※PACには屋外機台数1台に付き屋内機に1個のワイヤードリモコン付とする。  
※屋外機には『転倒防止ワイヤー』を付属。  
※空調機は公共建築仕様とする  
※『空調機付属7タイプ・フィルター』の無い機器は、『別置き7タイプ・フィルター』付とする。

大磯小学校特別教室等空調設備整備工事

図面名称	目付	図面番号
空調換気設備 機器表1		M-02
縮尺	縮尺	縮尺
N/S		

冷媒管リスト


	ガス管	液管
①	25.4φ	12.7φ
②	25.4φ	9.5φ
③	22.2φ	12.7φ
④	15.9φ	9.5φ
⑤	9.5φ	6.4φ





空調配管系統図


14


	ガス管	液管
①	25.4φ	12.7φ
②	25.4φ	9.5φ
③	22.2φ	12.7φ
④	15.9φ	9.5φ
⑤	9.5φ	6.4φ

※：  は浸透栓（200φ～500H・塩ビ蓋）を示す。

※：  部はトイレ末端に【トイレトラップ】を設け【間接排水口】にて最寄100φルーフ・レンへ接続。

※：  部はトイレ末端に【トイレトラップ】を設け土間コンクリート部にトイレレールを設へ、放流する。

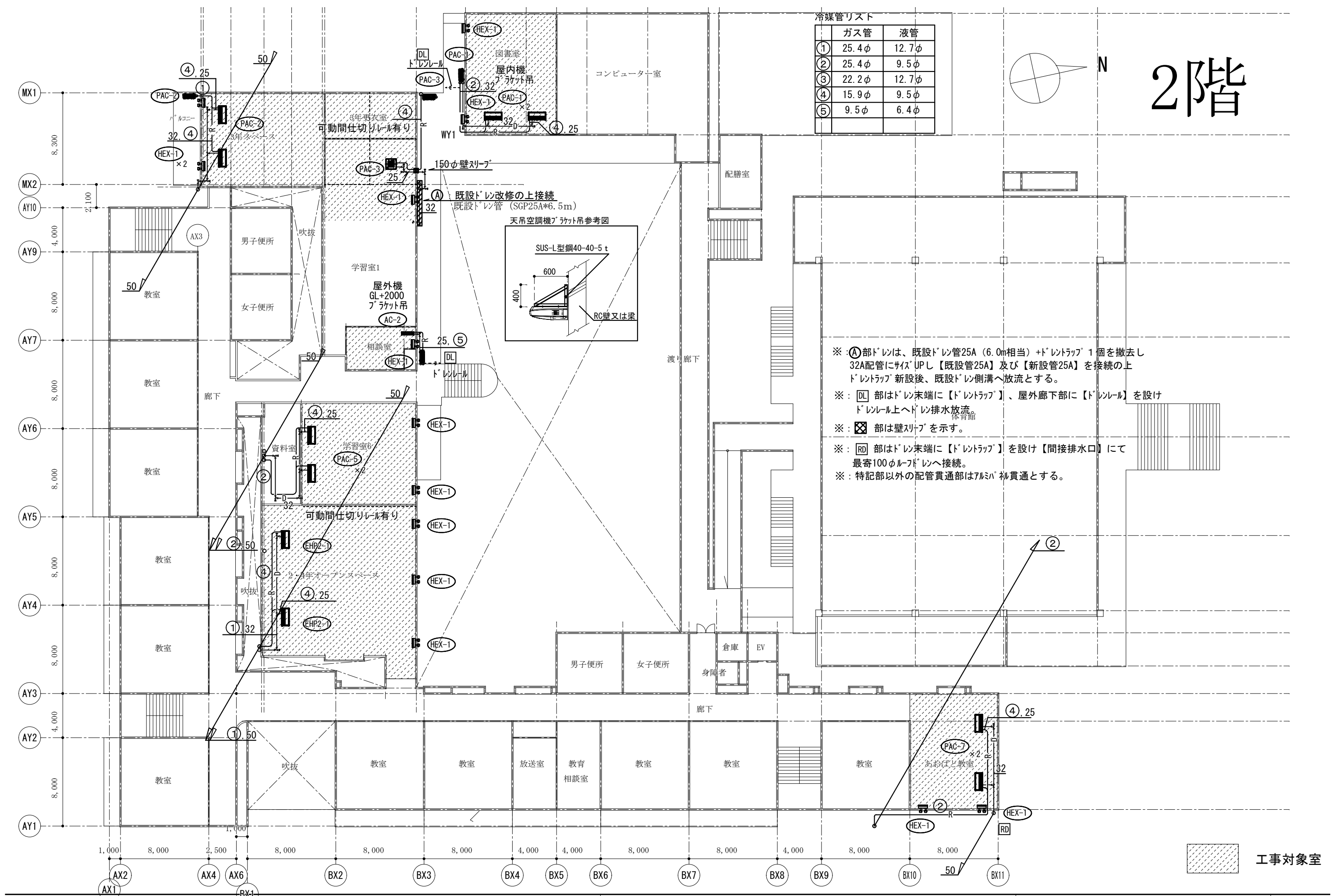
※：  部はトイレ末端に【トイレトラップ】を設け浸透櫓へ放流。

※：  部は壁スリーブを示す。

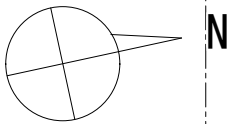
※： 特記部以外の配管貫通部はアルミ・鉢貫通とする。

工事対象室





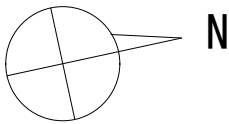
冷媒管リスト		
	ガス管	液管
①	25.4φ	12.7φ
②	25.4φ	9.5φ
③	22.2φ	12.7φ
④	15.9φ	9.5φ
⑤	9.5φ	6.4φ



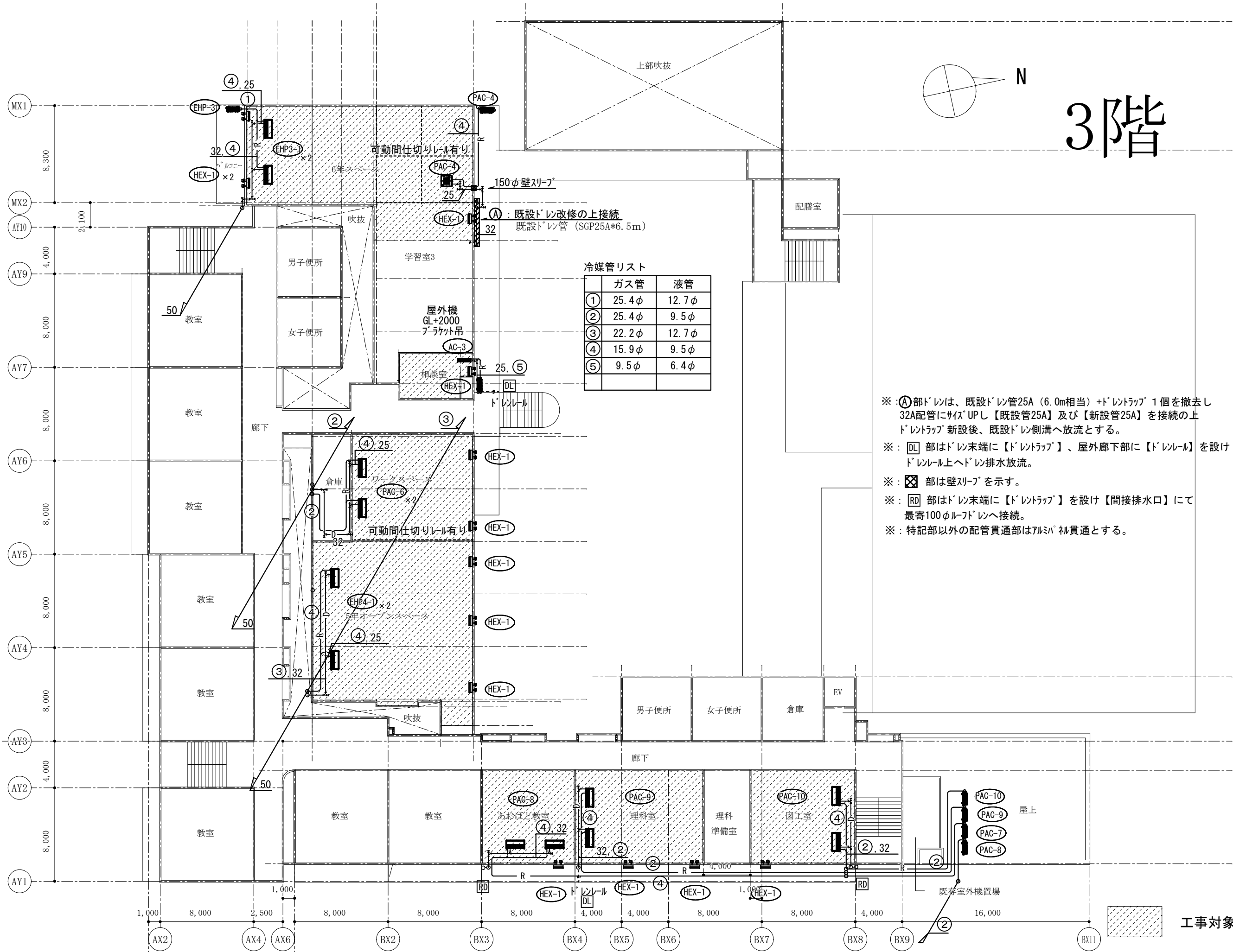
2階

- ※：④部ドレンは、既設ドレン管25A（6.0m相当）+ドレントラップ1個を撤去し32A配管にサイズUPし【既設管25A】及び【新設管25A】を接続の上ドレントラップ新設後、既設ドレン側溝へ放流とする。
- ※：DL部はドレン末端に【ドレントラップ】、屋外廊下部に【ドレンレール】を設けドレンレール上へドレン排水放流。
- ※：☒部は壁スリフを示す。
- ※：RD部はドレン末端に【ドレントラップ】を設け【間接排水口】にて最寄100φルーフドレンへ接続。
- ※：特記部以外の配管貫通部はアルミパッキン貫通とする。

工事対象室

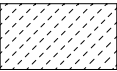


# 3階

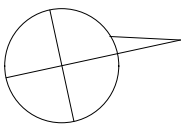
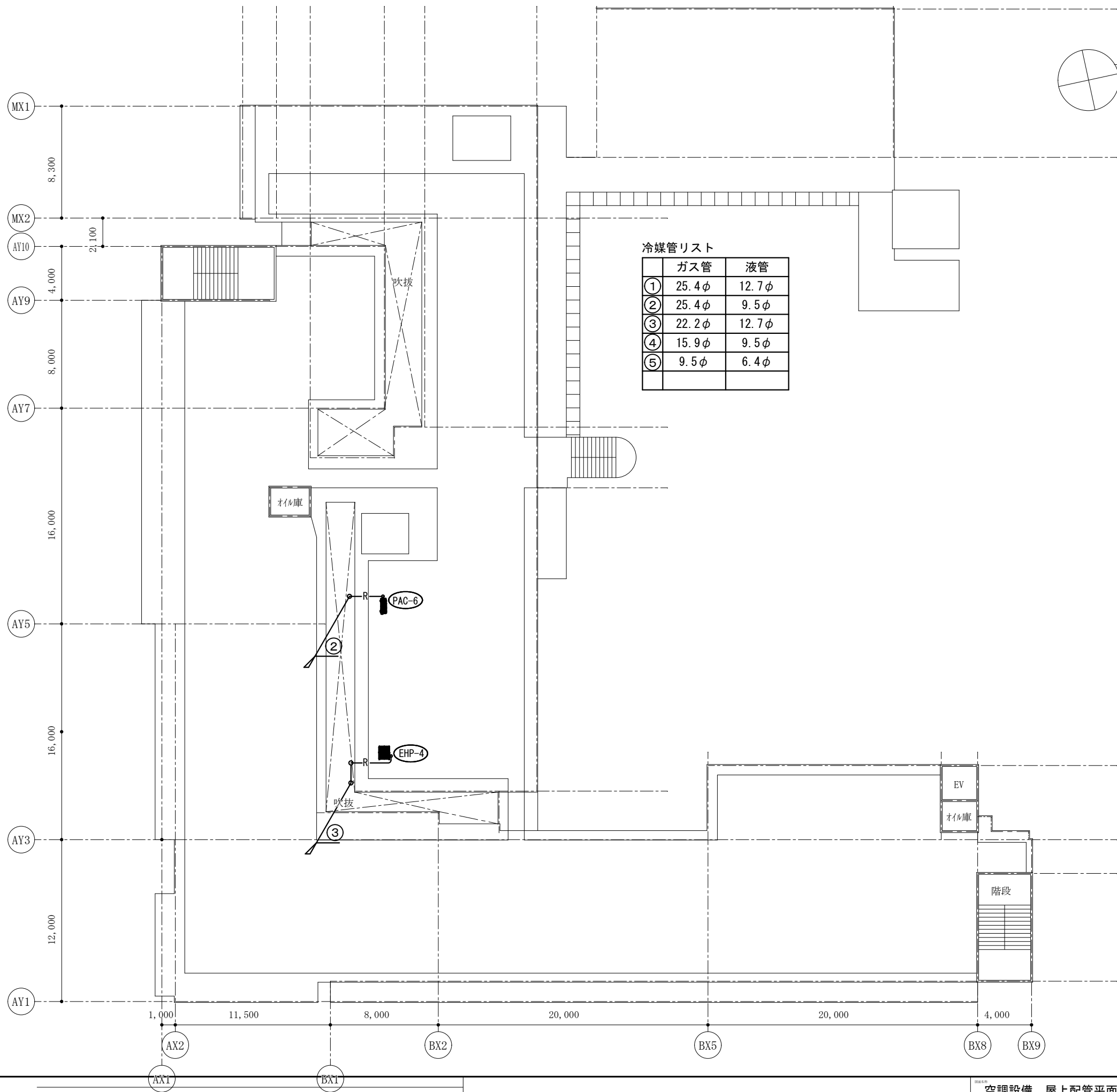


冷媒管リスト		
	ガス管	液管
①	25.4φ	12.7φ
②	25.4φ	9.5φ
③	22.2φ	12.7φ
④	15.9φ	9.5φ
⑤	9.5φ	6.4φ

- ※：①部ドレンは、既設ドレン管25A（6.0m相当）+ドレントラップ 1個を撤去し32A配管にサイズUPし【既設管25A】及び【新設管25A】を接続の上ドレントラップ 新設後、既設ドレン側溝へ放流とする。
- ※：DL 部はドレン末端に【ドレントラップ】、屋外廊下部に【ドレンレール】を設けドレンレール上ヘドレン排水放流。
- ※：☒ 部は壁スリーブを示す。
- ※：RD 部はドレン末端に【ドレントラップ】を設け【間接排水口】にて最寄100φルーフドレンへ接続。
- ※：特記部以外の配管貫通部はアルミパ 札貫通とする。



工事対象室



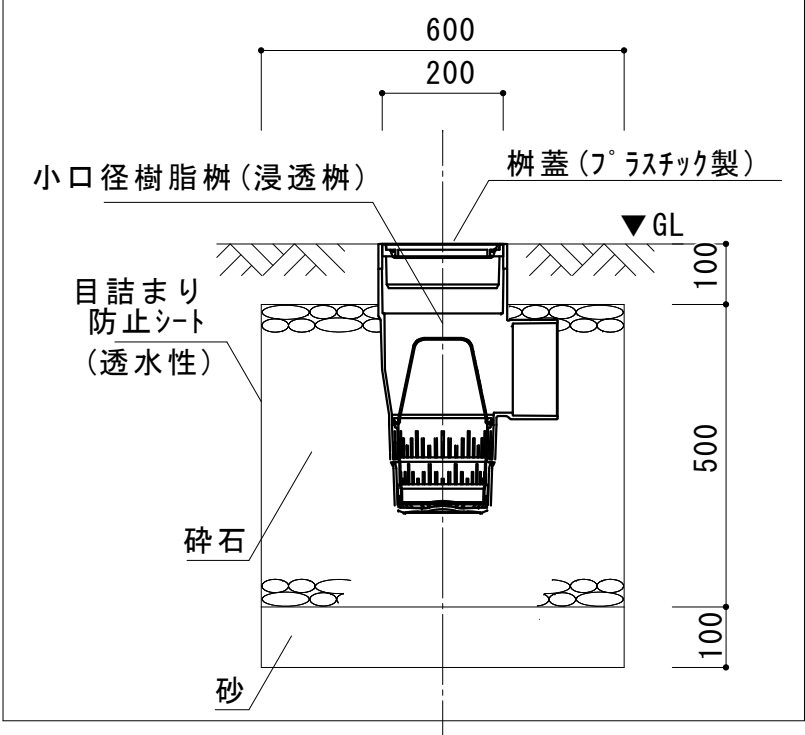
N

R階

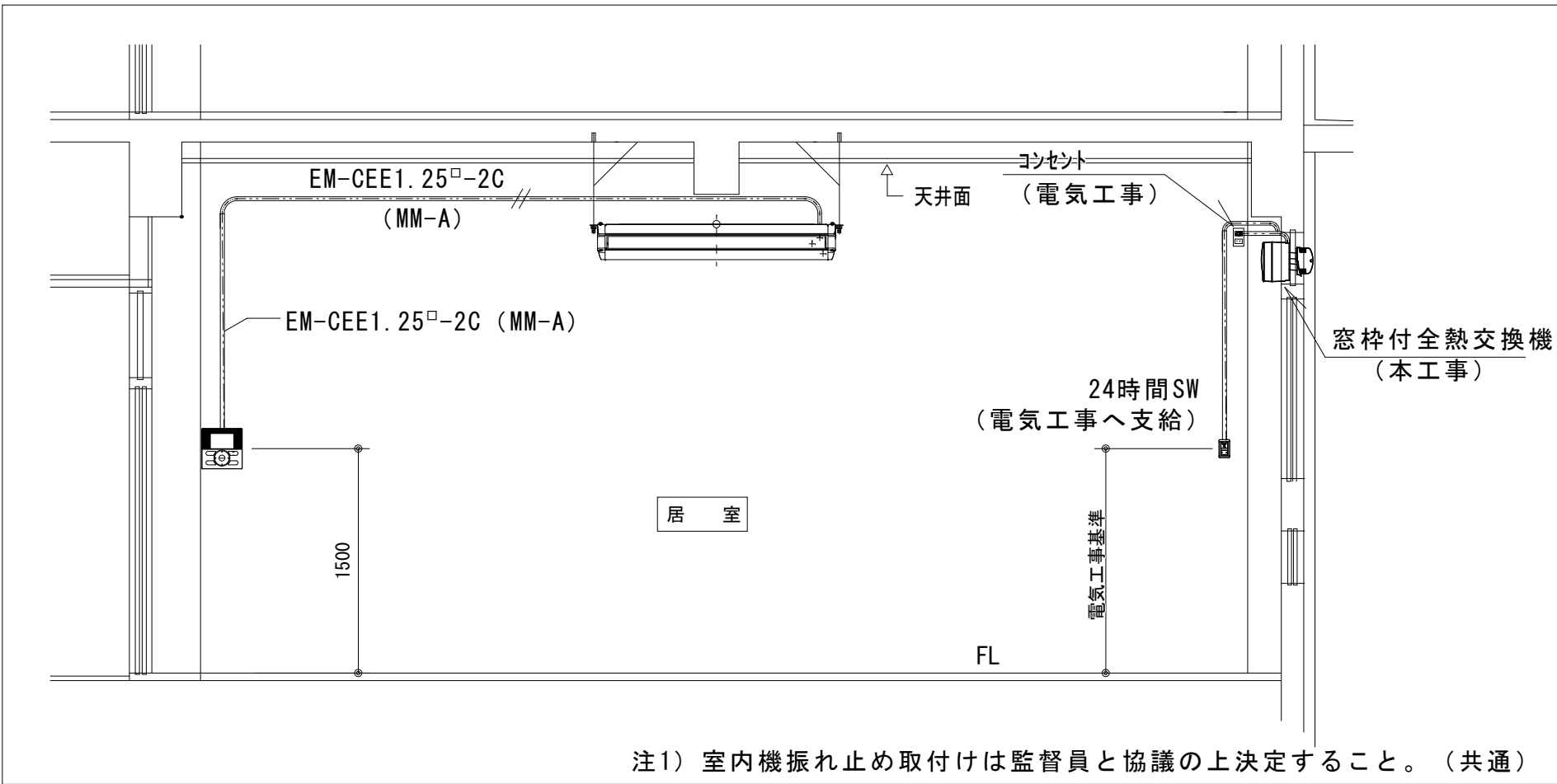
冷媒管リスト

	ガス管	液管
①	25.4φ	12.7φ
②	25.4φ	9.5φ
③	22.2φ	12.7φ
④	15.9φ	9.5φ
⑤	9.5φ	6.4φ

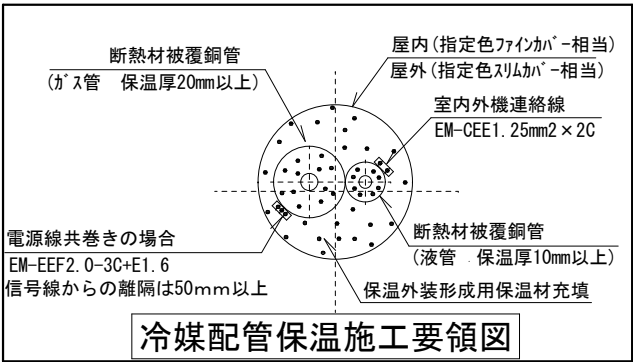
空調ドレン用 浸透枵参考図 N.S.



室内機リモコンSW取付要領図

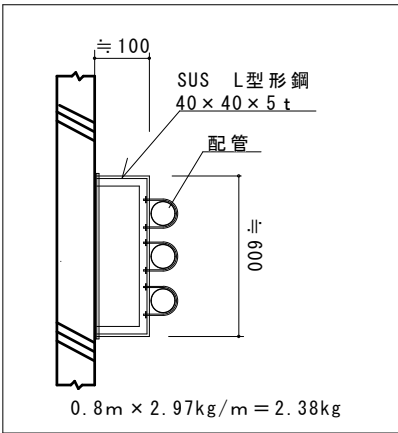


※照明、梁等に近接する空調屋内機は天井から適宜空間を設け吊下げとし、支障が無ければ天井面へ隙間なく吊下げ。

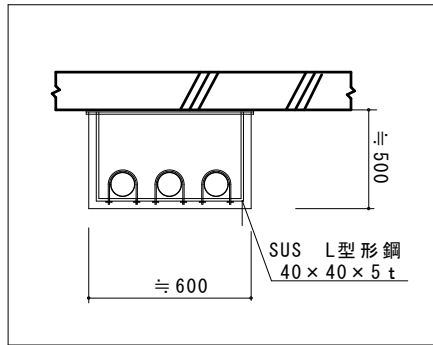


※EHPは屋内電源送り電気工事（冷媒共巻き）  
※PACは屋内電源送り本工事（冷媒共巻き）

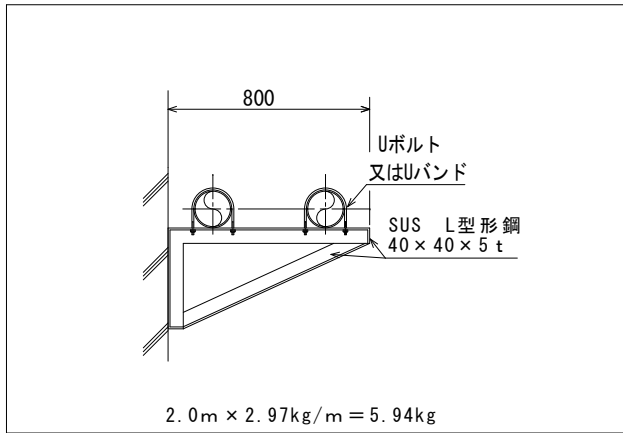
配管振れ止め材°-ト（参考1）





配管振れ止め材°-ト（参考2）



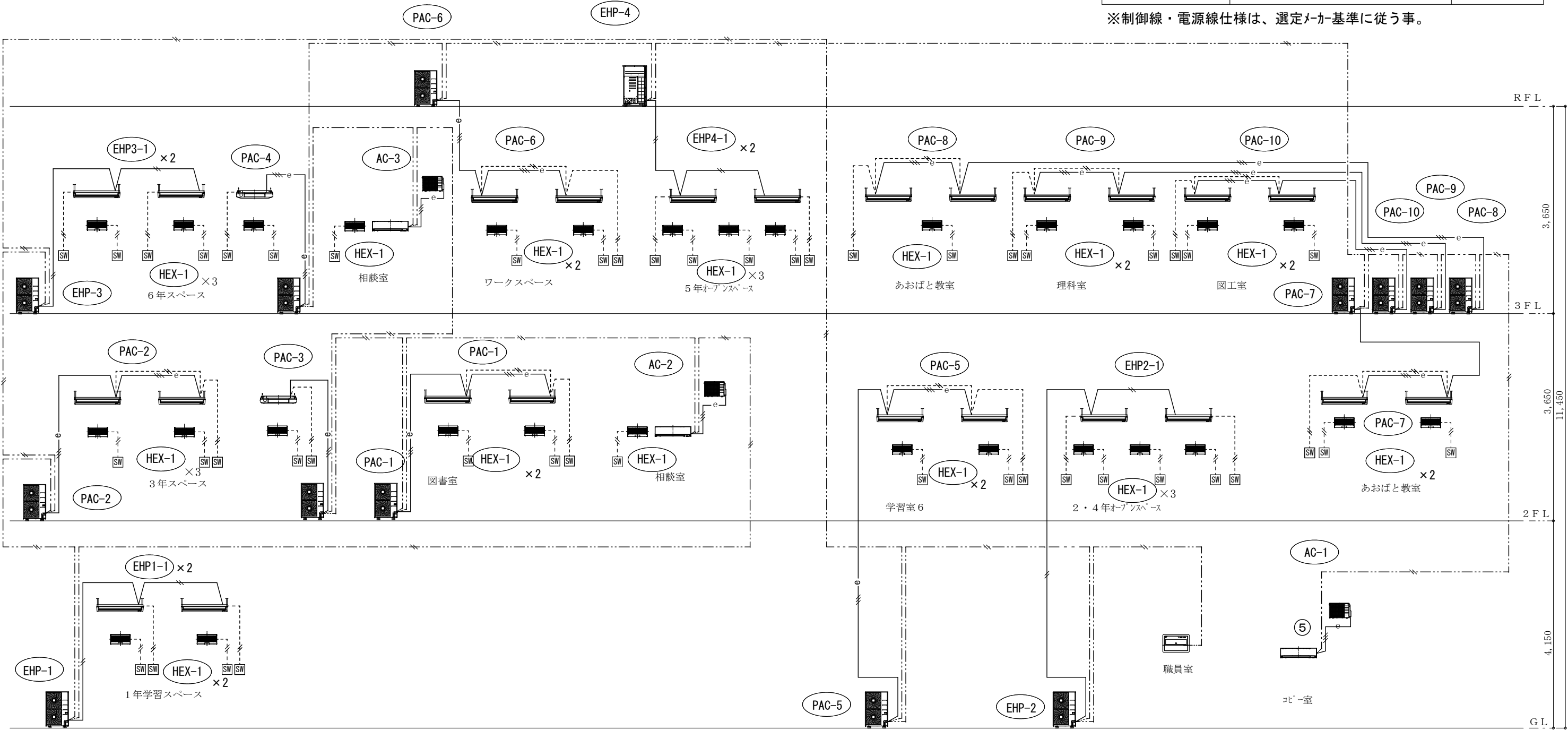
配管振れ止め材°-ト（参考3）



凡 例

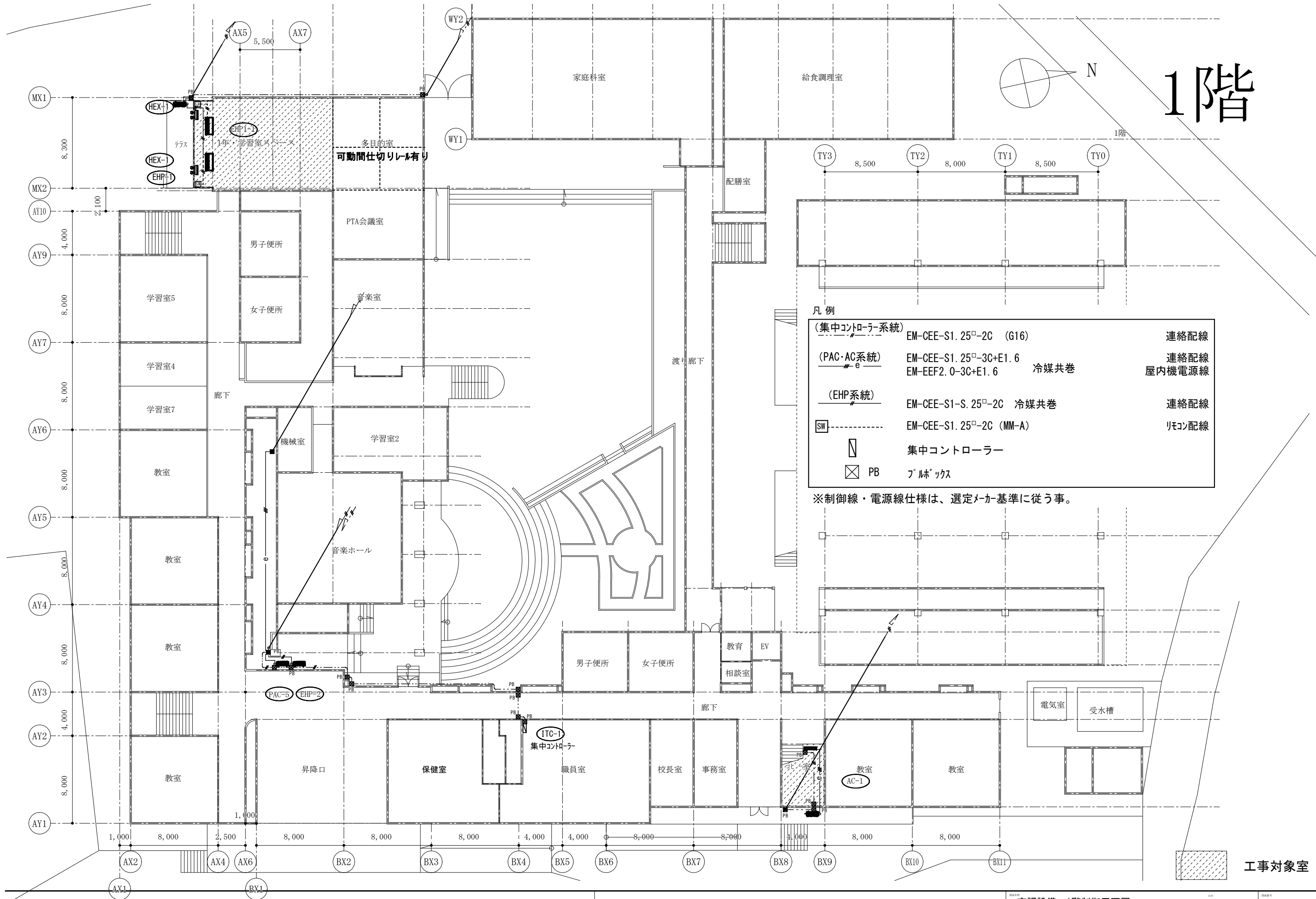
(集中コントローラ系統) ----- e	EM-CEE-S1.25□-2C (G16)	連絡配線
(PAC・AC系統) ----- e	EM-CEE-S1-S.25□-3C EM-EEF2.0-3C+E1.6 冷媒共巻	連絡配線 屋内機電源線
(EHP系統) ----- e	EM-CEE-S1-S.25□-2C 冷媒共巻	連絡配線
SW-----	EM-CEE-S1.25□-2C (MM-A)	空調機 リモコン配線 (本工事)
SW-----	EM-CEE-S1.25□-2C (MM-A)	全熱交換器 リモコン配線 (電気工事)
	集中コントローラー	
	ブルボックス	

※制御線・電源線仕様は、選定メーカー基準に従う事。



空調計装配線系統図

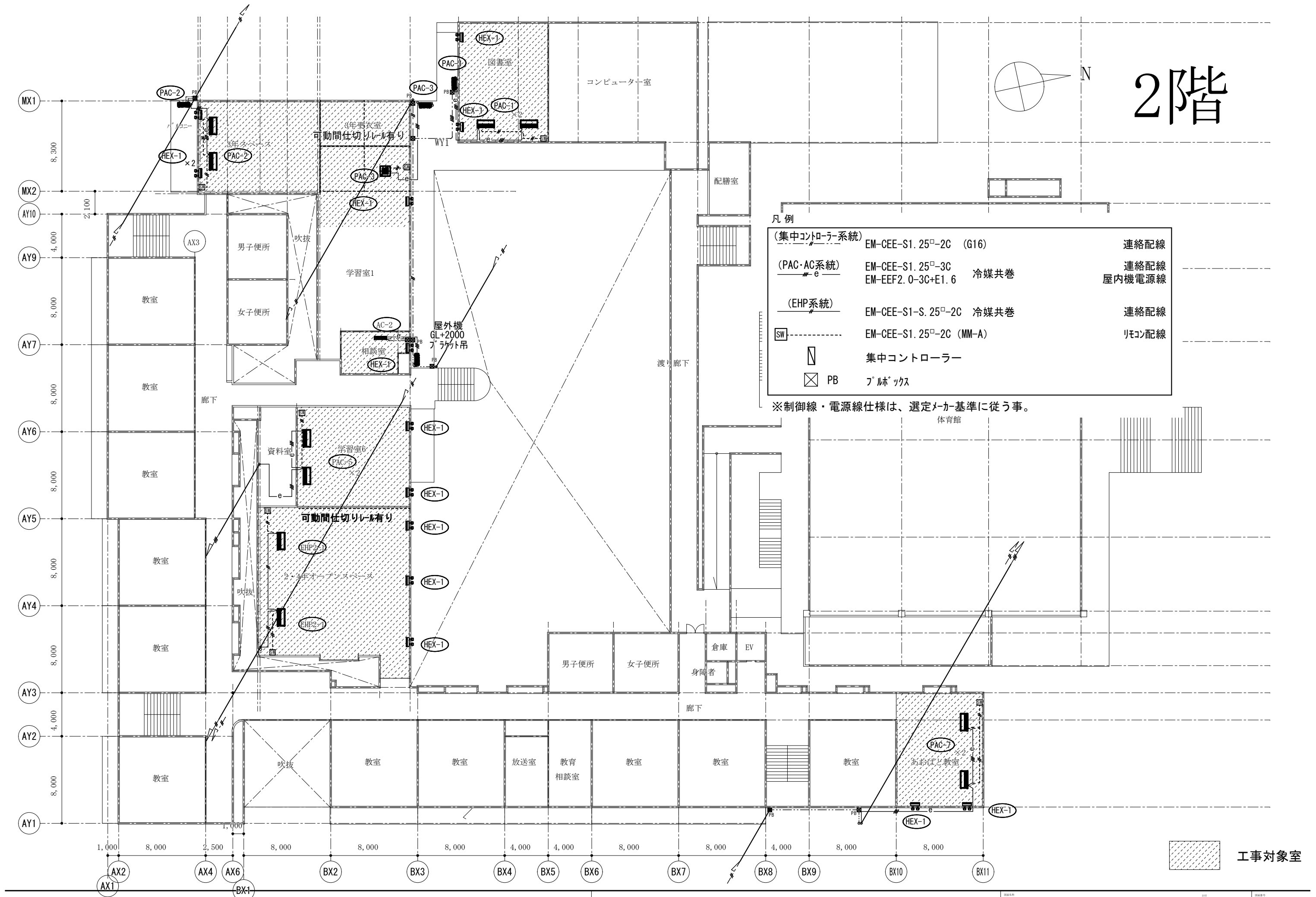
# 1階



凡 例		
(集中コントローラー系統)	EM-CEE-S1. 25 <sup>□</sup> -2C (G16)	連絡配線
(PAC・AC系統)	EM-CEE-S1. 25 <sup>□</sup> -3C+E1. 6 EM-EEF2. 0-3C+E1. 6	連絡配線 屋内機電源線
(EHP系統)	EM-CEE-S1-S. 25 <sup>□</sup> -2C	冷媒共巻 連絡配線
SW	EM-CEE-S1. 25 <sup>□</sup> -2C (MM-A)	リモコン配線
集中コントローラー		
PB	ブルボックス	

※制御線・電源線仕様は、選定メーカー基準に従う事。

# 2階

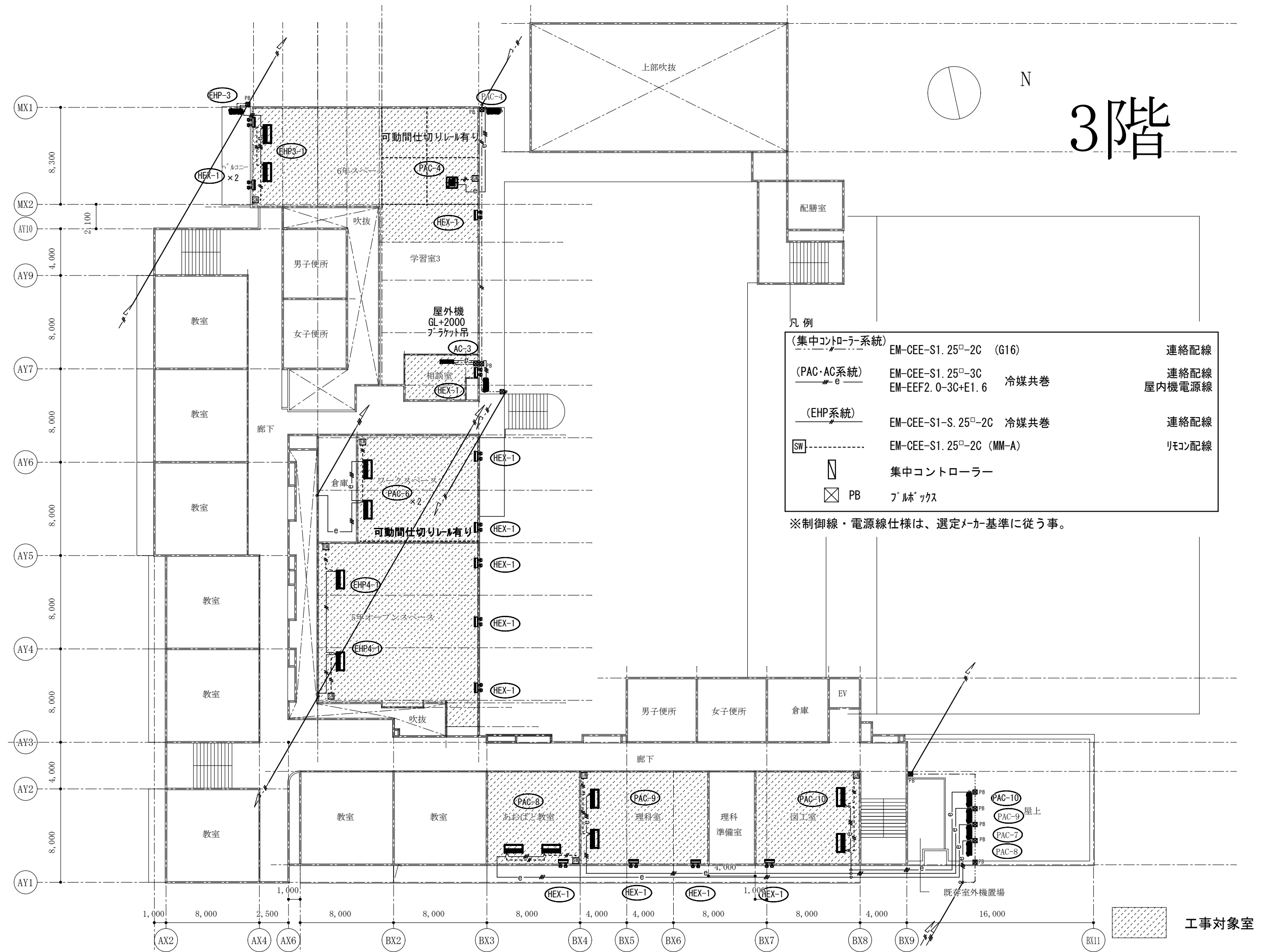


凡 例

(集中コントローラ系統)	EM-CEE-S1.25 <sup>□</sup> -2C (G16)	連絡配線
(PAC・AC系統)	EM-CEE-S1.25 <sup>□</sup> -3C EM-EEF2.0-3C+E1.6	連絡配線 屋内機電源線
(EHP系統)	EM-CEE-S1-S.25 <sup>□</sup> -2C	冷媒共巻 連絡配線
SW	EM-CEE-S1.25 <sup>□</sup> -2C (MM-A)	リモコン配線
集中コントローラ		
PB	フ ル ッ ク ス	

※制御線・電源線仕様は、選定メーカ基準に従う事。

工事対象室



# 3階

凡 例		
(集中コントローラ系統)	EM-CEE-S1. 25 <sup>□</sup> -2C (G16)	連絡配線
(PAC・AC系統)	EM-CEE-S1. 25 <sup>□</sup> -3C EM-EEF2. 0-3C+E1. 6	連絡配線 屋内機電源線
(EHP系統)	EM-CEE-S1-S. 25 <sup>□</sup> -2C	冷媒共巻 連絡配線
SW	EM-CEE-S1. 25 <sup>□</sup> -2C (MM-A)	リモコン配線
集中コントローラ		
PB	ブルボックス	

※制御線・電源線仕様は、選定メーカー基準に従う事。



